

AUDIO
HOME THEATER
SETTING

10年後も「買ってよかった」
と思える魅力のある逸品を



BEST SELECTION

2015-2016

Presented by IPPINKAN

掲載商品の定価表示は販売価格ではありません。
販売価格はお気軽にお問い合わせくださいませ。

逸品館1号館 TEL 06-6644-9101



あこがれのオーディオ製品を試聴して
その場で商談させていただきます!

HIGH-END AUDIO FAIR & 商談会

1/23^金 24^土 25^日

11:00~20:00 10:00~20:00 9:00~17:00

ハートンホテル南船場 B1フロア



音楽に浸りきる
至極の三日間

西日本最大級のオーディオ専門店『逸品館』が、
この冬もHIGH-END AUDIO FAIRを開催いたします。
ハートンホテル南船場のB1のフロアを貸し切り、全てのオーディオファンの皆様に、ご試聴とご商談の『特別なお時間』をご用意させていただきます。

約45畳のライラックでは、人気のハイエンド製品を「Customer's Choice(お客様がお選びになるシステム)」でお試しください(試聴用のソフトをご持参ください)。

約45畳のフリージアでは、代表清原が「Planner's Choice(逸品館が選ぶシステム)」のデモンストレーションを行います。

そして35畳~20畳の3室では、複数の人気メーカー製品を組み合わせ(例:スピーカー/FOCAL、アンプ/EARなど)オーディオ専門店ならではの展示を予定しております。

また約10畳の小部屋セロリでは、STAXをはじめ、各社の高級ヘッドホン、イヤホンをハイレゾでお楽しみいただけます。

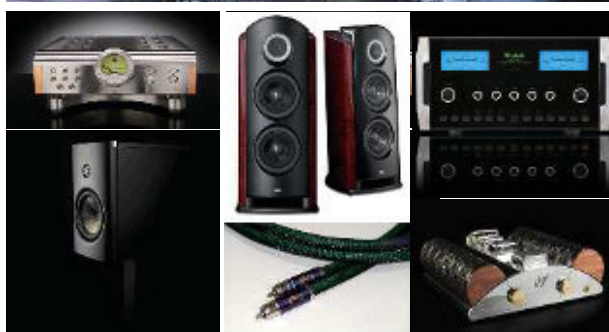
『逸品館』が主催する、大阪唯一の「HIGH-END AUDIO FAIR & 商談会」は2015年1月23日から3日間の開催です。

この機会にハイエンドオーディオの美しい響きを心ゆくまでお楽しみくださいませ。皆様のご来場をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

※今回は会場でのご購入・決済も予定しております。



会場では、cs放送が
聴けます。その場で
契約!アンテナ無料!



掲載しております写真はイメージです。当日機種等の変更もございますので予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

出展予定メーカー

Esoteric・Tannoy・Avant-garde

LUXMAN・D&M・TAD・B&W

エレクトリ(Magico・First Watt)

トライオード(Triode・Spendor)

ナスベック(Vienna Acoustics)

STAX(STAX)・Westone・Noble

Audio-technica(Audio-technica)

ロッキーインターナショナル(Focal・QUAD)

イースタンサウンドファクトリー(Thorens・Musikelectronic)

クリプトン(KRIPTON)・ROTEL(ROTEL)

メース(Harbeth・Dr.Feickert Analogue)

完実電気(ELAC・AURA)・ヒビノインターサウンド(PMC)

ヨシノトレーディング(EAR・Diapason)

逸品館(AIRBOW・Mcintosh・Dan Dagostino・HEGEL・JBL

Daniel Hertz・Sonus Faver・・・他)

イベントの詳細は随時WEBサイトに掲載してまいります。
お問い合わせは下記のお電話番号よりお願い申し上げます。



1号館

午前10:30~午後19:30

(定休日なし:年末年始及びお盆、臨時休業を除く)

〒556-0004

大阪市浪速区日本橋西1-7-28 常盤ビル1F

TEL:06-6644-9101(代表)

FAX:06-6644-6990



逸品館フェア

平素より格別のお引き立て御礼申し上げます。

逸品館のご利用誠にありがとうございます。この小冊子は毎年一度ご愛顧を頂戴しております皆様へ、25年間オーディオ専門店として弛まずより良い音を求めてきた私たちから、これからもより楽しくオーディオとお付き合いして頂けるようにとの願いを込めてお届けしております。

この冊子には、逸品館のおすすめサービスやおすすめ商品に加えて、「私達は、なぜ音楽を聞くのか？」という素朴な疑問への回答や「オーディオ機器の音質を改善するにはどうすればよいか？」という課題について、逸品館なりの考えを掲載しております。難解な部分や読みにくい点が多々あると存じますが、お目通しくだされれば幸いに存じます。

逸品館代表 清原 裕介



- | | | | | | |
|-----|-----|--|-----|-----|---|
| P 1 | ... | ご挨拶 | P39 | ... | Clock-generator & Equalizer
(クロックジェネレーター & イコライザー) |
| P 2 | ... | HIGH-END AUDIO FAIR & 商談会について | P40 | ... | Amplifier (アンプ) |
| P 3 | ... | 私達はなぜ音楽を聞くのか? | P43 | ... | Tube-Amplifier (真空管アンプ) |
| P 4 | ... | AIRBOWの挑戦 | P45 | ... | Analogue (アナログプレーヤー関連) |
| P 5 | ... | オーディオの発祥 | P47 | ... | PC& Network-audio
(PCオーディオ & ネットワークオーディオ) |
| P 7 | ... | 音質を改善し、音楽性を向上させるための
オーディオ製品の使いこなし術 | P51 | ... | ROTEL RDD-1580 製品試聴 |
| P 8 | ... | ステレオ再生では左右のスピーカーの
位置関係の精度が非常に重要 | P56 | ... | 代表ヨーロッパ周遊記(Vienna Acoustics本社訪問編) |
| P 9 | ... | ルーム・アコースティックスを調整する | P57 | ... | Headphone & Earphone (ヘッドフォン & イヤフォン) |
| P10 | ... | 位置調整よりも簡単なスピーカー音質改善術 | P59 | ... | 最新ヘッドホン 音質テスト |
| P11 | ... | ボードを使った音質改善術 | P63 | ... | Accessory (アクセサリ) |
| P12 | ... | Speaker (スピーカー) | P71 | ... | BD-player & Projector (BDプレーヤー & プロジェクター) |
| P18 | ... | TAD CE-1 音質インプレッション | P73 | ... | Screen (スクリーン) |
| P21 | ... | FOCAL ARIA Series/PMC Twenty 24 音質比較テスト | P75 | ... | AV-amp (AVアンプ) |
| P25 | ... | FOCAL New Chorus 700 Series 音質比較テスト | P77 | ... | 最新AVアンプ 比較試聴
(YAMAHA RX-A3040/Pioneer SC-LX88/ Marantz SR7009/
AIRBOW NR1605/Special) |
| P29 | ... | GRAHAM AUDIO LS-5/9
Cabasse EOLES 音質比較テスト | P83 | ... | AIRBOW 新製品「CLT-5」発売記念
ツイーターグレードアップ 下取りキャンペーン |
| P33 | ... | B&W 805SD Maserati Edition 音質比較テスト | P84 | ... | パーフェクト下取り交換システム |
| P36 | ... | CD-player (CDプレーヤー) | | | |

私達はなぜ音楽を聞くのか？

動物の中で「言葉」を持つのは人間だけであるとされています。では「音楽」を嗜むのは人間だけでしょうか？決してそうではありません。小鳥のさえずり、虫の声。動物の世界には様々な「音楽」が溢れています。もっと人間に近い動物では、ほ乳類の「ザトウクジラ」が雌の気を引くため雄が歌を歌い、雌のお気に召す歌が雄の間で流行することが近年分かってきました。言葉を持たない彼らは、「歌うこと」で感情を交わしあっているのです。

人間はコミュニケーションに「言葉」を使いますが、同じコミュニケーションの手段として「歌」と「言葉」の何が違うのでしょうか？言葉と歌の違いにこそ、人間が音楽を聞くヒントがあると私は考えています。

例えば数量や期日のように、はっきりした単位で示されるものは言葉でなければ明確に伝わりません。また科学技術や法律、そういった決められた手順を必要とする情報も言葉でなければ明確に伝わりません。物事を正確に伝えるツールとして、言葉はとても便利です。けれど正確無比な言葉も、話し方次第でニュアンスが変わります。「好き」という言葉を食べ物に向けるのか、愛する人に向けるのか、その状況で私達はアクセントや声色を変えて使います。動物が歌で感情を交わすように、動物が鳴き声で思いを伝え合うように、私達は今も音の変化を感情の変化に対応させて利用します。さらに大切なのは「覚えなければならぬ言葉」と違って、音の変化によるコミュニケーションは「生まれながら」に身につけていることです。言葉よりも以前から使ってきたコミュニケーションの手段である音楽は、私達の心に刻み込まれたコミュニケーションの手段だからこそ、年齢や性別、人種を越えて「平等」に伝わるのです。私達は様々なセレモニーや映画で音楽を使います。それは、言葉よりも音楽が感動をより深く、早く伝えられるからです。音楽は人種や性別、年齢を超え人々を平等に結ぶための大切なコミュニケーションです。言葉では伝わらない思いが心に直接響くからこそ音楽は、これほどまでに深い魅力を持っているのです。

オーディオ・ビジュアル機器は、単なる家電製品以上の価値を持ちます

美味しい料理を食べたとき、私達は幸せを感じます。良い音でよい音楽を聞いたときにも、私達は幸せを感じます。その充実感は例えようがないほど深く、そしてそれは瞬時に訪れます。音と映像は深い感動と共にあり、私達に生きる喜びと活力を与えます。良いオーディオ機器、映像機器は同じソフトから、より深い感動を引き出します。美味しい料理を食べたとき、すぐ良い音で音楽を奏でてくれる装置と出会ったとき、私達は涙するほど深い感動を覚えます。けれど、支払った対価に釣り合う喜びが得られなかったときの落胆は、それと同じくらい深いものです。逸品館は、時として人の人生を変えるほど大きな力を持つオーディオ・ビジュアル製品を単なる商品とは考えていません。

販売する商品を選びます

逸品館は商品ご検討段階から、導入後までこだわりのサービスをご提供したいと考えています。毎日触れる趣味の製品だからこそ、製品に触れる度に新鮮な喜びと深い感動を感じていただきたく思うのです。けれどオーディオ市場には、商品が山のようにあってどれを選ぶのが迷います。高額にもかかわらず性能の良くない製品もありますし、逆に低価格にもかかわらず驚くほど素晴らしい製品も見つけられます。その中から「自分にあったベストワン」をもつけるのはとても大変なことです。逸品館は設立当初より、お客様の視点から製品を厳しくチェックし「販売する商品」を選び「よりよい製品」をお届けしたいと考えています。

ご購入後のサポートを大切にしています

機器の購入前に「商品を選ぶ」のは、とても楽しい時間です。けれど購入した商品を「使いこなせた」ときの喜びまた大きいものです。接続方法、使い方、アフターサービス、何でもお気軽にお問い合わせください。逸品館は、商品をお買い上げいただいてからのサポートを大切にしています。

使いこなしのご提案をいたします

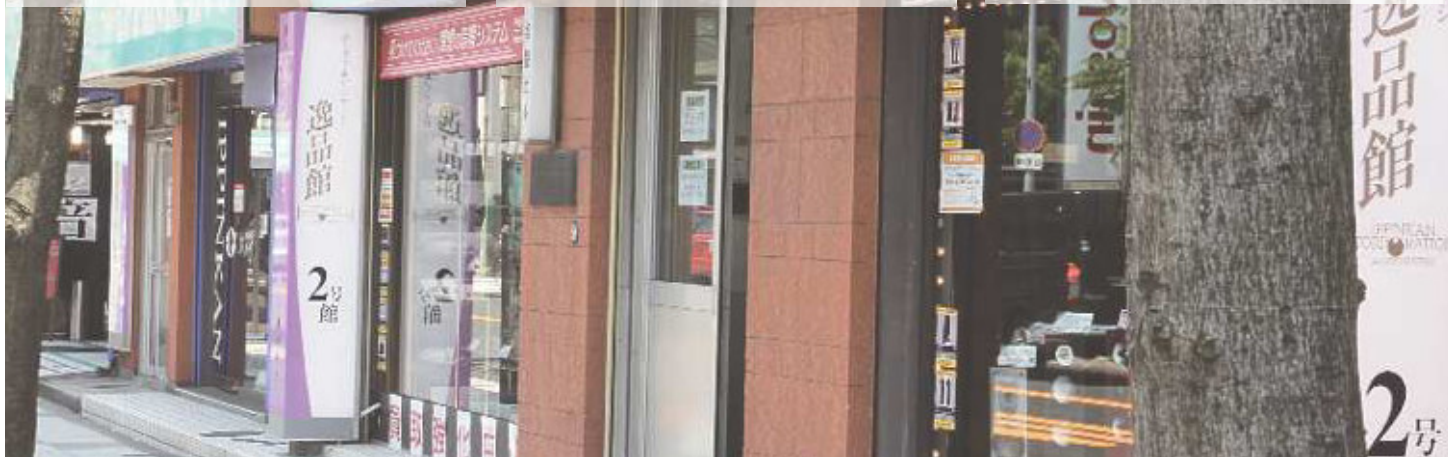
オーディオ・ビジュアル機器は使いこなしでその性能が大きく変わります。例えば付属品を別売りのケーブルに変える、設置状況を最適化するなどの方法で音質や音質を飛躍的に改善できるのですが、効率よく機器の性能を改善するにはノウハウが求められます。逸品館は、ハイエンドショウ東京などのオーディオイベントなどの場を借りて、「より良い使いこなし」をプレゼンテーションしています。それらの提案は、時には売り上げには結びつかないこともあります。けれどご購入いただいた機器を末永くご愛用いただくためのサポート、お客様がご自身の力でより良い音を引き出せたときの喜びをサポートすることは、専門店の大切な責任だと考えています。

オリジナルブランド AIRBOW を発売しています

長年、様々な製品を厳しく選別していると中には、「ここをもう少しこうすればより良くなる」あるいは、「こんな製品があればとても便利だ」と感じる場合があります。そういう気持ちから逸品館は「AIRBOW」というオリジナルブランドを作りました。お気に入りの音楽をもっと感動的な音で聴きたい。その思いは私達も同じです。そして、その夢を叶えたいという思いは、とても強いものです。そんな逸品館の「想い」から生まれた AIRBOW は、聞く人の心に感動を伝えるコンポーネントであり続けることを目標としています。

お客様の笑顔が最高のプレゼントです

利益を出すのがビジネスの本質ですが、逸品館は利益追求のため不必要な製品や、不要に高価な製品をお薦めしようとは思いません。それは「お客様と末永くお付き合いさせていただきたい」と考えるからです。私達にとって「お客様の笑顔」は、何よりのプレゼント。「逸品館で買って良かった！」と感じていただけるよう力を尽くしたいと考えています。



AIRBOW の挑戦

AIRBOW の挑戦

楽器とスピーカーが発生する「高音」には、大きな違いがあります。ツイーターのような薄い膜を持たないバイオリンやシンバルは、固体の表面が波打つことで高音を発生しています。固体表面が高速で波打つと、固体に接触している空気は急速に圧縮され、場合によっては音速を超える音波（衝撃波）が発生します。

音波が音速を超えると、レーザー光のように距離が離れても減衰しにくくなります。しかし、薄い膜を往復運動させて高音を発生させるスピーカーのツイーターでは、これほど急激な空気の圧縮が行われないため、距離が離れると高音が減衰します。

このような理由から、強い圧力を持つ楽器の高音と圧力の弱いスピーカーの高音は、質感違って聞こえます。この現象を改善するため、逸品館は楽器と同じ原理で圧力の高い高音を発生する装置を作り、波動ツイーター（CLT Series）という名称で 2000 年頃から発売を続けています（この冬、CLT-5 を発売）。

波動ツイーターを使うと、スピーカーの音は驚くほど生々しくなり、実在感を増します。この効果は他社のスーパーツイーターでは得られないものです。

昨年はパワーストーンを使った音質改善アクセサリ「Beat Stone」と、オーディオ機器を楽器と同じように響かせる「Beat Board」を発売しました。既知のオーディオ理論、電気理論の枠を超え、より良い音質とより深い感動を求めて新たな音楽再生への取り組みを続けるのが、逸品館オリジナルブランド AIRBOW の挑戦です。

オーディオ機器の音楽性とは？

逸品館は、Web に様々な機器のテストレポートを掲載していますが、この中で「音楽性」と言う言葉をよく使います。では「音楽性」とはどのようなものでしょうか？

高価な楽器は誰が弾いても「良い音」がしますが、高価な楽器を使えば「良い演奏」ができるわけではありません。なぜなら、楽器から出る音がどれほど綺麗でもそれが「変化」しなければ何も伝わらないからです。音楽は「感情」を伝えるもの。楽器の音が何を伝えるか？は、音がどれだけ繊細に変化するかで決め手です。

私達がオーディオで聞かなくてはならないのは「音質」ではなく、「音の変化」。つまり、楽器がどのように奏でられてい

るかが大切なのです。

あなたがお聞きになりたいものが「音質」ならば、高級なオーディオを選べばそれがかなうでしょう。けれどあなたがお聞きになりたいものが「音楽」なら、価格よりも装置の音楽性、つまり装置から出る音の変化の大きさに重点を置くべきです。

感動を共有するために

人が音楽を聞く理由。それは、感動の共有です。逸品館はオーディオ機器を「人と人を繋ぐもの」として考えています。オーディオ機器が奏でる再生音楽を絵画に例えましょう。絵心のない人間にどれほど素晴らしい画材を与えても、良い絵は描けません。けれど熟練した画家なら、チャコールペンシルとスケッチブックだけでも素晴らしい絵を描くことができます。オーディオ機器も同じ、どんな装置を買うかではなく、自分の装置からどんな音を出せるか大切です。

逸品館は、オーディオ機器の良否は価格や音質で決まるのではなく、より良い音楽を引き出したいと考えるお客様と、それをお手伝いする専門店の情熱で決まると考えています。

[AIRBOW NEW ACCESSORY]



Beat Stone Magma

販売価格 12,000 円（税込）

パワーストーンはオーディオに効くか？理由は分かりませんが、試すとかなり効果がありました。そこで様々な鉱石の「分子構造」や「形状」と「音質」との関連を分析し、音質と効果を最適化した 3 種類の「鉱石アクセサリ」を製品化しました。それが「Beat Stone」です。



Beat Stone Soul

（写真：中）

販売価格 8,500 円（税込）

Beat Stone Sky

（写真：右）

販売価格 5,500 円（税込）



CLT-5

販売価格 90,000 円（1 台・税込）

販売価格 180,000 円（ペア・税込）

厚みのあるカーボン振動板をさざ波のように振動させる（波動モーション）ことで、薄い膜を往復運動させる通常のツイーターでは得られない「衝撃波」を生み出す補助ツイーターです。ネットワークを内蔵し、スピーカーと並列に接続するだけでお使いいただけます。

オーディオの 発祥

音声の記録技術として誕生

録音再生技術は、1857 年、フランス人のエドゥアル＝レオン・スコット・ド・マルタンヴィル (Édouard-Léon Scott de Martinville) が発明したフォノトグラフが音を記憶する装置の最古のものとされています。その後 1877 年に発明王として名高いエジソンが、円筒形の筒に音を溝として刻み、それを再生する「鑑管レコード」を発表しました。しかし、体積が大きいことから普及には至らず、その 10 年後にベルリナーが円盤型レコード蓄音機を発明したことから、私達の知るレコードが生まれました。

日本では、1910 年に国産初の蓄音機「ニッポン・ホン」が発売され、1951 年に LP レコードが発売されます。その後 1982 年に SONY と Philips が合共同で CD を発売するまでの約 50 年がアナログレコードの時代です。

現在の携帯オーディオの走りは、1979 年に SONY が発売した「ウォークマン」です。据え置き型から携帯型へ、デジタル技術による機器の小型化も手伝って、現在の音楽との触れあいのほとんどが「携帯プレーヤー / ヘッドホン」に変わりつつあります。

音声の再生技術として発展

SP 時代の主な再生装置である「蓄音機」は音声を物理的に増幅するだけの能力しかなく、記録された音声よりも大きな音を出すことはできませんでした。しかし、アンプやスピーカーを使うことで（電氣的な増幅装置、すなわちオーディオです）生演奏よりも大きな音量で音楽が再現できる

ようになりました。生演奏よりも大きな音を出せるようになったことは、音楽再生における最大のターニングポイントとなりました。

なぜならば、音楽の感動（驚き）の大きさは音量に比例するからです。生演奏を超える音量により、オーディオは生演奏を超える表現力を獲得しました。大音量の実現は、アナログ記録がデジタル記録に変わったことよりもオーディオの歴史の中で遙かに重要です。

音楽を構成する要素

音楽は音を変化させることで「心象」を伝える技術です。人間が音楽に使う音の変化は、大きく分けて「高低」と「大小」そして「音色（色彩感）」が考えられます。すべての音楽は、音の「高低」・「大小」・「音色」の組み合わせで構成されます。オーディオ機器から再生される音楽や音を評価し、聞き分けるときにはこの「3つの要素の変化」を考えることが大切です。

音色とは何か

音の 3 要素のなかで「高低」、「大小」の概念は分かりやすいと思います。オーディオ的に表現するなら、それぞれは「周波数レンジ（再生帯域）」、「ダイナミックレンジ」という言葉に置き換えられます。しかし、残る一つ「音色」という概念は、オーディオの測定には存在しません。重要だけれど、注目されることのない「音色」という概念について説明します。

例えば、1 円玉、10 円玉、100 円玉の 3 種類の硬貨を用意して、1 円だけを手の中で振ると、鈍い「アルミ（純アルミニウム）」の音がします。10 円玉はそれよりも硬くて密度のある「青銅（銅 / 錫 / 亜鉛）」の音がします。100 円玉はさらに硬く響きの引き締まった「白銅（銅 / ニッケル）」の音がします。この「物質に固有の音」が音色の基本です。

この「固有の響き＝音色」を楽器に当てはめて説明しましょう。クラシックギターにはナイロンのゲージ（弦）を使いますが、仮にこのゲージを金属に変えるとギターの音は全く違うものになります。同じ高さ、同じ大きさの音を発生させても「ナイロン」と「金属」の音は違います。この音質感の変化が「楽器の音色」の基本ですが、楽器の音色はこのような楽器の材質だけではなく、演奏者のタッチ（楽器の弾き方）でも、大きく変化します。

音色は何を伝えるか

音色が何を伝えるかを考えるには、私達がなぜ音楽を聴くかを考えることが大切です。言葉というコミュニケーションが発明されるまで、私達は他の動物と同じように「鳴き声」で感情を伝えていました。音楽は当時の名残として、また言葉を使わない感情のやりとりの方法として残り、そして発展を続けてきました。音楽とは言葉に頼らない「感情のやりとり（感情的なコミュニケーション）」の方法なのです。さらに音楽は「一対一」のやりとりだけではなく、「一対多」、「多対多」のコミュニケーションとして大きく進化します。宗教的な儀式や冠婚葬祭に音楽が使われるのは、音楽が心（心象）を共有する手段として言葉よりも効率的だからです。

「音色」に考えを戻しましょう。それには「声色」を例に挙げると分かりやすいと思います。言葉はそれ自身意味を持ちますが、「声色」を変えることでその内容が変わります。「好き」、「嫌い」、「嬉しい」、「怖い」と言った感情を表現する言葉は、音色（しゃべり方）を変える事で伝える内容が変わります。食べ物の「好き」とラブコールの「好き」を同じ調子で発音する人はいないでしょう。ラブコールの好きは、より甘くより丁寧に「好き」を発音するはず。同じ言葉でも声の調子を変えることで伝わり方を変える。それが「声色」の概念です。「音色」とは、楽器から発生する音の調子を変えることで、伝えようとする感情を変える方法です。音色が伝えるのは、感情そのものです。

感動には二つの種類がある

喜怒哀楽を表す音にはそれぞれに対応する「音色」があると言いましたが、喜怒哀楽に属さない感情が存在します。例えば壮大な風景を見たときに感じる、言葉に言い表せない感動などがそれに該当します。この感動は、喜怒哀楽が一度に押し寄せ、それぞれの感情が「フラット（公平）に交わっている（入っている）」と考えられます。

すべての色が公平に混じった状態は、色で表現するならば「白」もしくは「透明」が該当します。

[逸品館 おすすめ ネットワークプレーヤー]

AIRBOW
NA8005 STUDIO

逸品館販売価格 208,000 円（税込）



オーディオ出力：RCA(アンバランス) 2.0Vrms(ステレオ) ●デジタル出力：RCA 同軸出力 / TOS リンク出力 × 各 1 ●デジタル入力：RCA 同軸入力 / TOS リンク光入力 × 各 1、USB / TYPE-A(フロント) / USB メモリー / iPhone 接続可、USB / TYPE-B(リア) / PC 接続可 ●消費電力：30W ●サイズ：440(W) × 105(H) × 336(D) mm ●重量：7.2 kg

オーディオ機器の音色

楽器と同じようにオーディオ機器にも固有の「音色」が存在します。スピーカーでは、ツイーターの材質で発生する音の音色が大きく変化します。薄い布を振動板に使うテキスタイル・ツイーターの再現する弦楽器の音色は滑らかで艶やかですが、硬い素材（アルミ、マグネシウム、ベリリウム、ダイヤモンド、チタンなど）を使ったハードドーム・ツイーターそれを再生するとより、硬くクッキリした音色に変化します。

これは先に硬貨の音色で説明したように、ツイーターに使われる素材が持つ固有の「音色」が再生音に影響するからです。オーディオ機器に使われる真空管やトランス、抵抗やキャパシタなどそれぞれのパーツの持つ「音色」も再生音に影響します。

音色と響きの関係

では私達は音のどの部分に「音色」を感じるのでしょうか。私は「響き」が深く関係していると思います。先ほどの硬貨の音色に話を戻しましょう。もし、それぞれの硬貨をゴムで覆うなどの方法で響かないようにして叩くと硬貨は同じような「コツン」という無個性な音しか発生しません。つまり、材質や形状によって発生する「響き」が「音色」の正体だと考えられます。弦楽器で音色を考えましょう。バイオリン、チェロ、コントラバス、あるいはピッコロとフルートのように、楽器には構造が同じでサイズの違うものが存在します。発音部で発生する振動が同じでも、共鳴体（胴）が異なれば、音色が変わるからです。また、同じ楽器で考えるなら高価なギターと普及品のギターに使われ

る「ゲージ（弦）」は同じですが、共鳴体（胴）の違いでそれぞれの音に良否が生じます。このように私達が感じる「音色」は、素材の「響き」と深い関連を持っています。

オーディオ機器を響かせる

先ほどスピーカーを例に挙げてオーディオ機器固有の音色を説明しましたが、スピーカーだけが例外でなくすべてのオーディオ機器は固有の音色を持っています。オーディオ機器は楽器の胴と同じように入力される振動、あるいは筐体に生じる振動によって複雑に共鳴し、音楽（入力される音）に新たな響きを与えています。もしオーディオ機器を楽器の胴のように「美しい音で共鳴させる」事ができるとすれば、オーディオ機器は入力される原音を超える「さらに美しい音」で音楽を再現できるはずです。

響きを音質改善に利用する

入力される音よりも出力される音をより良くする。EAR 912（真空管プリアンプ）を聞いた時、私はこの考えに気がつきました。先ほど説明したように、入力される音を「弦の発生する音」、出力される音を楽器から出る音と考えた場合、オーディオ機器を「胴（共鳴体）」として利用することで、オーディオ機器の響きにより音質を改善する事が可能です。改善という言葉が相応しくないなら、録音再生時に失われる響きを「補う」あるいは「補完する」と言い換えても良いと思いますが、オーディオのゴールは今まで考えていたような「原音忠実再生」ではなく、さらにその先、つまり「原音を超える世界」があると考えています。

付加した音色が音楽に与える影響

喜怒哀楽を色に例えた先ほどの話に戻ります。オーディオ装置が付加する音色（響き）が「黄色」であればその装置の音は明るく、「青色」であれば暗いイメージで音楽が再現されると考えられます。入力される音楽が「喜怒哀楽という色」を持つ場合、それぞれの装置はその色を変え感動の内容を変化させます。また、「透明（白）な感動」を伝えるために演奏された音楽を「色つきのオーディオ」で再現すると、透明感が損なわれてしまいます（あるいは白に色が付いてしまいます）。オーディオ機器が付加する色（響き）が強すぎると、音楽が伝える内容が変わります。演奏された音楽を大きく作り変えずに聞きたいとお考えなら、この部分には注意が必要です。逆に作り変えても構わないとお考えなら、響きの多い製品をお使いになると良いと思います。

生演奏と再生音楽の違い

録音再生技術を記録写真と風景画に例えましょう。記録写真は、目に見える情報を公平かつ精密に記録し再現します。風景画は、作者が選んだ情報をデフォルメして記録します。人間が介在しない記録写真に対し、風景画では人間が情報を取捨選択することが大きく違います。さらに色彩や対象物の形を変化させて描くことで、記録する（伝える）情報を作り変える（クリエイティブする）ことができます。人間が手を加えて作り上げた「複製（架空）現実」が芸術です。

オーディオでは収録の段階で、マイクの配置やミキサーやエンジニアの手による音の取捨選択で「作り変え」が行われ、さらに再生段階でもオーディオ機器の使い手により、再び取捨選択が行われます。

私達が耳にする再生音楽は、生演奏が再構築（デフォルメ）されたものです。オーディオとは演奏者・録音技術士・再生技術士（オーディオマニア）が合作で作りに上げた、新たな芸術なのです。

録音技術士や再生技術士が生演奏に改変を加えることを「良くない（冒涇）」と考える音楽家もいらっしゃいますが、「生演奏が持っていた芸術性をできるだけ損なわない」という取捨選択をすることで、生演奏を可能な限り損なうことなく再現することも可能です。いずれにしてもオーディオでは演奏者以外の介在を否定することができず、その第三者の見識が「音楽の再現性の決め手」となるのです。そういう意味でもオーディオによる音楽再生は「記録写真」にはなり得ず、「風景画」と同じと考えられます。



TAD R1Mk2

希望小売価格 3,500,000 円（1 本・税別）

CST ユニットは、驚くべき事に同一のユニットから 250Hz-100KHz という広帯域を再生可能です。TAD の技術の粋を結集して作られたこの優れたユニットが世界で始めて搭載された R1 は、従来のスピーカーとは次元の違う“クリア！”な音を聴かせてくれます。



位置調整よりも簡単な スピーカー音質改善術

ここまで主に「スピーカーの位置調整による音質改善術」をご紹介しました。しかし、このようなスピーカーの位置調整が難しいと感じるお客様には、もっと簡単に効果も高いスピーカーの音質改善術があります。それは、「置き台」の選択です。

オーディオボードの利用

スピーカーのキャビネット（筐体）は、ユニットの振動を受けて響きを生じます。ユニットを「弦」に例えるなら、キャビネットはまさしく「胴」です。多くの楽器は置き方や支え方（持ち方）で音が変わりますが、フロア型スピーカーも同様に「置き方」で音質が大きく変わります。

「置き方」で良くないのは、「柔らかいもの」、「響きの悪いもの」です。「柔らかいもの」とは畳やカーペットです。柔らかいものの上にスピーカーを置いた場合、中高音の明瞭度が上がり、低音がブーミーになります。ソルボセインやゴムのような柔らかいものをスピーカーの下に敷くのも良くありません。

「響きの悪いもの」とは、煉瓦やコンクリートブロックのような多孔質で響きが鈍い物質です。これらの上にスピーカーをのせると、やはり中高音の明瞭度が低く低音がブーミーになります。また音もスピーカーの周囲にまとわりついて音場が広がりにくいです。オーディオ用の硬質な台座として「御影石」が売られていますが、音が暗くなることが多く私はそれを好みません。

お薦めは、AIRBOW 人造大理石ボードやコーリアンボード。これらのボードは適度な強度と反発力を持ち、スピーカーやスタンドの下に敷くだけでスピーカーの音を驚くほど元気で明瞭にしてくれます。また、今年 Krypton から発売された天然木を使用したボード (AB-333) も響きの良いお薦めボードです。

スパイクが付いているスピーカーには、AIRBOW スパイクベースがお薦めです。頭頂部に凹みがある富士山のような形状の AIRBOW スパイクベースを皿形のメーカー純正スパイクベースと交換すると、スピーカーは俄然響きが良くなり、パワー感、音色の鮮やかさ、音の広がりが大きく向上します。

ブックシェルフ型スピーカーは、「スピーカー・スタンド」が重要です。メーカーが用意する専用スタンドでも、強度や響きの点で不十分なことがあります。逸品館お薦めのスピーカースタンドを一度お試しになりませんか？

セッティングの方向と効果を動画で確認

これらのセッティングについて詳しくは、ハイエンドショウ東京 2013 年に逸品館が実施したデモンストレーション動画を次のページからご覧頂けます。

http://www.ippinkan.com/event_news/highend2013-autumn/highend2013-autumn.htm

また逸品館の Ustream チャンネルにも詳しい動画を掲載しています。

<http://www.ustream.tv/channel/ippinkan>

[逸品館 おすすめ スピーカースタンド]

TIGLON

MGT-60S（ブラック）

希望小売価格 59,000 円（ペア・税別）

一聴した瞬間、言葉を失いました。IMAGE11/KAI2 から中型スピーカー並みの低音が出たからです。こんな小さなスピーカーからグランドピアノの低弦が再現され、シンフォニーのスケール感も出てくるではありませんか！中高域の密度が上がり、透明度が増します。低音がものすごく伸びるので、空間の広がりやスケール感が一気に倍増します。スタンドでこれほどスピーカーの音が変わるなんて！

TIGLON

MGT-60W（ブラック）

希望小売価格 85,000 円（ペア・税別）

開放的な一本足モデルに比べ、二本脚モデルでは音の密度感が高まり、低音の厚みや実感が増してきます。少し音が暗い傾向を感じますが、そのニュートラルな雰囲気は二本足モデルの魅力です。軽やかに響くのが一本脚、重厚な厚みが出るのが二本脚という感じで、音色の好みで選び分けることができます。

KRYPTON

SD-1(ペア)

希望小売価格 54,000 円（ペア・税別）

無垢材を使ったゴムランバー材支柱に Krypton 社製オーディオボードと同仕様の鉄球サンドが入ったベース部で構成される総重量 7.5kg の木製スピーカースタンド。スピーカーをしっかりと支えます。金属製スピーカースタンドとはひと味違う暖かい響きを楽しめる良品です。



音質を改善し、 音楽性を向上させるための オーディオ製品の使いこなし術

多くの販売店やメディアは、「スピーカーの置き方」について詳しい説明を行いません。しかし、御購入いただいたスピーカーの音質を十分に発揮していただくためには、スピーカーの正しいセッティングが不可欠です。

逸品館式スピーカーセッティング術は 効果絶大

スピーカーの位置調整で音が変わるのは、一般に説明される「リスニングルーム内での周波数特性の変化」によるものではありません。響きの良いコンサートホールでは、楽器が生きて鳴ります。これは楽器の直接音とホールの反射音（間接音）が助け合い、その音質を高めるからです。

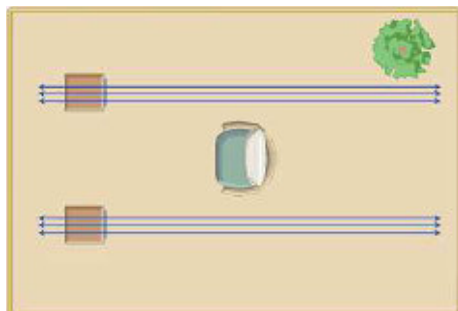
私達が自宅でオーディオを聞いているとき、スピーカーから調節耳に届く音は全体の半分に満たず、耳に入る 7 割近くの音が壁や天井からの反射音です。スピーカーから出る音（直接音）と部屋の反射音（間接音）の関係を改善することが「逸品館式スピーカーセッティング」の目的です。

一般家屋の部屋を模した「10/12/20/30 畳の 4 つの試聴室」を持つ逸品館は、それらを使い「ご自宅で音を良くできるスピーカーセッティング（オーディオ機器の使いこなし）」を長年研究しています。そのノウハウ水準は非常に高く、最近では主要なオーディオメーカーが開催する試聴会に逸品館のノウハウや AIRBOW のアクセサリーを取り入れるほどです。

逸品館推奨スピーカーセッティングを実施するだけで、あなたのスピーカーの音は数段改善します。

複数の音の交わりを整える

スピーカーから出た音はリスナーに届く前に左右が混じると同時に、壁や天井、あるいは床からも反射して届きます。複数の場所からリスナーの届く「バラバラの音」をスピーカーの位置を調整することで「その交わりを整える」ことが逸品館式スピーカーセッティングの基本的な考え方です。

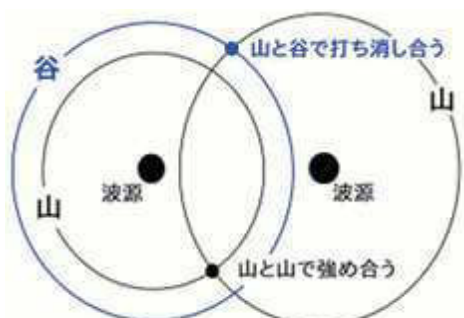


スピーカーと壁が正対していると、同じ場所で反射が繰り返され、悪いエコー（フラッタエコー）が生じる。

波紋とブランコの原理

音は目に見えませんが、それをイメージ化して考えることができます。波のないプール（あるいは浴槽でも構いません）の一点に指を入れて波を起こします。波は球状に広がり、プールの縁にぶつかって戻り、広がる波とぶつかります。広がる波と戻るとの波のぶつかるタイミングが良ければ、それぞれは過度に干渉せず水面に乱れた波は生じません。

スピーカーから発生する高音（1kHz 以上の比較的低い音から高音と考えて下さい）は、水面を広がる波と同じようにスピーカーから広がり、壁にぶつかって戻ります。音波は空気中を一秒間に約 340m 進みますから、1 秒のエコーが生じる部屋ならばスピーカーの音が消えるまでに、少なくとも部屋を 50 往復する事になります。音が反射して往復する間には、何度となく交差します。この音の交差する状況を先ほどのプールの水面に生じた波と同じように考え、それぞれの波が打ち消し合うのではなく、ブランコを押すように相互の波を助け合うイメージで交差されれば、音場の濁りが低減し音質の明瞭度が大きく増加します。

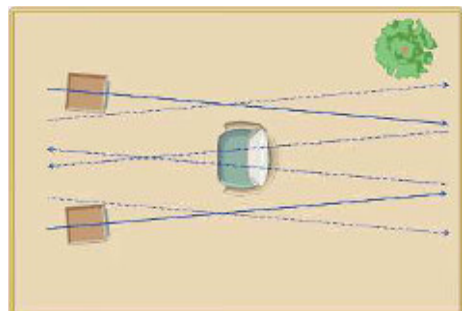


http://www.rinearn.com/simulation/interfering_wave.shtml

波の広がりをイメージするには、この WEB ページの情報が参考になると思います。

スピーカーと壁は正対させない

良い反射を得るには、スピーカーの角度をほんの少し内振り（約 5 ～ 20 度程度）にすれば大きな効果があ



スピーカーと壁が正対させないことで反射波は部屋を循環しながら減衰し、悪いエコーが生じない。

ります。その理由は単純明快です。スピーカーを壁に対して正対させると、スピーカーから出た音がスピーカー前方の壁と背後の壁の間を鏡に映る像のように繰り返して反射します。スピーカーの角度を少し内振り（場合によっては外振り）にすれば、壁と壁の間で繰り返して発生する反射が低減し音場の濁りが低減します。

スピーカーの高さ

お客様から多く寄せられる質問の一つに、「ツイーターを耳の高さに合わせなければならないか？」というものがあります。これは多くの雑誌や評論家がツイーターと耳の高さを合わせれば音が良くなると説明してからだと思いますが、高音は床や天井から反射して耳に届くため、よほど指向性の強いスピーカーでなければ、耳の高さにツイーターを合わせなくても高音が聞こえてくることはありません。

それよりも重要なのは「高音の広がりを妨げない」ことです。高音は床や天井のような「平面で反射する」と説明しましたが、スピーカーから最も近い平面は「床」です。スピーカーの高さを低くしすぎると、床面からの反射が過大となり音質が損なわれます。実際にスピーカーの高さを変えながら最適な高さを調べた結果、上下方向への音場の広がりを改善するためには、ツイーターが部屋高の上下 1/3 以内に入らないようにすれば良いことがわかりました。天井高が 2.3m の場合、それを 3 で割った約 76cm よりもツイーターが高く、また 152cm を超えないのがスピーカーの高さを決める基準となります。

スピーカーを 片側だけを鳴らして調整する

では、逸品館式スピーカーセッティングを実践しましょう。調整用の音源は「カンターテドミノ（逸品館で販売しています）」の 1 曲目をつかいます。ここで最も重要なのは「左右のスピーカーを同時に鳴らさない」ことです。

左右どちらかのスピーカーから音を出しながら、まずスピーカーを大きく前後に動かして「低音と高音の濁りが少なくなり、音がスムーズに広がって聞こえる位置」を探します。聞き分けのポイントは、スピーカーを動かしながら「スピーカーそのものの音を聞く」のではなく、「スピーカーから反射してくる壁の音」に注意して聞くことです。スピーカーを前後に数十センチ動かすと、部屋の音が濁るポイントと、部屋の音がクリアになる位置を発見できると思います。音がクリアになる「位置」にスピーカーを設置した後、スピーカーを少し左右に振って（最大で 30 度程度）さらに音がクリアに広がる「方向」を見つけます。

次に反対側のスピーカーに同じ調整を行った後、左右のスピーカーから音を出してください。調整前とは比べものにならないほど、音がクリアに広がってダイナミックレンジが拡大していることが分かるはずです。

ステレオ再生では左右のスピーカーの位置関係の精度が非常に重要

私が左右のスピーカーの相関関係がリスニングルームでの音の広がり大きな影響を及ぼすことを知ったのは、試聴室中でのスピーカーの移動です。試聴室のスピーカーは、何週間もかかってミリ単位で位置を調整し「最適な音の広がり得られる位置」へ設置していました。イベントなどで常設のスピーカーを移動するときは、デモンストレーション用のスピーカーに入れ替えた後、再びスピーカーを元に戻すために床に線を引きスピーカーを元通りに戻していましたが、しかし、どれほど精密に線を引いてもそこにスピーカーを戻しても、音が元通りにならないのです。スピーカーの移動前後の位置誤差が ±1mm 程度に過ぎないにもかかわらず音が元に戻らないのは、「左右スピーカーの部屋の中の位置」ではなく、「左右スピーカーの相関関係」が重要だと考えました。

位置だけでなく角度も精密に合わせる

例えば 1 枚のスクリーンに 2 台のプロジェクターの画像を完全に重ねるには、投影するプロジェクターの「向

き」が重要になります。プロジェクターの「前後位置が 1mm」程度ずれても画像は重なりませんが、角度が僅かに変わっただけで、スクリーン上の映像は重なりません。スクリーン上に 2 台のプロジェクターの映像を重ね合わせるのと同じ原理で、スピーカーから放出される音を「空間の一点で正確に交じ合わせ」られれば、音質が飛躍的に向上するかも知れないと考えました。そこでまずリスニングルームの任意の 1 点から左右のスピーカーまでの距離をメジャーで測定し、「スピーカーと任意の 1 点までの距離関係」を正確に合わせると、音の広がりが少し改善されました。さらにスピーカーの角度関係を合わせるため、目測でスピーカーの方向を合わせましたが、結果が思ったほどではありませんでした。そこで「角度と距離の関係を完全に整合させる」ため、レーザーと鏡と紐を使うような道具を考案しました。

レーザーセッター誕生

カメラの三脚にレーザーポインターを取り付け、ス

ピーカーに貼り付けた小さな鏡に向けてレーザー光を照射します。鏡から反射されるレーザー光をポインターに正確に戻るよう、スピーカーの角度を調節します。次に三脚に取り付けた紐を使って、レーザーポインターと鏡の距離を左右で同一にします。

この作業により、1 枚のスクリーン上に二つのプロジェクターから投影する画像を一致させるのと同じ精度で左右の「音」を重ねることが可能になります。

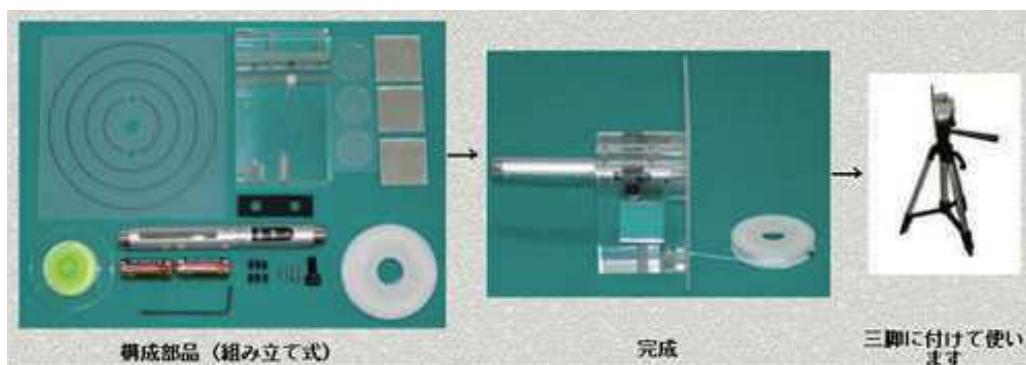
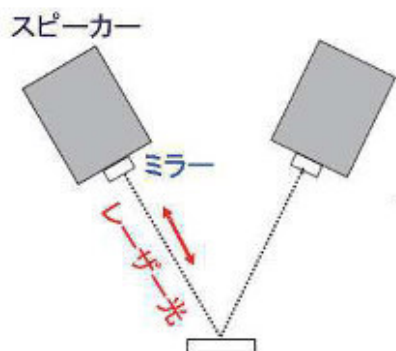
この方法でスピーカーを設置し、音を出したところ、スピーカーは見事に空間から消え、未だかつて経験したことがない「広大な音場空間」と「明瞭な定位」が実現しました。さらに「音楽の抑揚＝エネルギー感の再現」、「低音の深み」などあらゆる問題が大きく改善しました。その結果、大げさではなく、スピーカーの価格が一桁も二桁も上がったくらいの音質向上効果が感じられたのです。

AIRBOW 定番 レーザーセッター

レーザーセッター ADVANCE

販売価格 15,400 円（税込）三脚付き 19,500 円（税込）

スピーカーセッティングの必需品 "AIRBOW レーザーセッター ADVANCE" (別途カメラの三脚が必要です) レーザー光線を使って、スピーカーをミリ単位の精度で設置した時にスピーカーはその本領を発揮します。信じられないほど大きな効果がある、セッティングアクセサリです。



ルーム・アコースティックを調整する

スピーカーの位置調整とレーザーセッターの併用で音質は大幅に改善します。しかし、これらの方法では「部屋そのものの響き」は改善しません。ルーム・アコースティックの調整とは、様々なアクセサリーを使うことで「部屋そのものの響き」を改善することです。

定在波を軽減する

部屋の中で最も大きく発生する残響は、正対する壁（二つの平行面）の間で繰り返される「フラッターエコー」と呼ばれる残響です。フラッターエコーが発生すると、「特定の周波数（特定の高さ）の音の減衰が遅れ（残存し）、ドラムなどパーカッションの再生時に圧迫感や違和感が生じるようになります。スピーカーの前に立って手を叩いたとき、「キンキン」あるいは「ギンギン」という堅くて高い音のエコーが発生し不愉快に感じる場合はフラッターエコーが発生しています。

フラッターエコーを抑えるには、対向する壁面の両側あるいは片側の反射を小さくすることです。リスニングルームの最も大きい平行面は、壁と壁、床と天井の

二つです。床に畳が使われる日本間の場合は、「フラッターエコー」は比較的発生しにくいのですが、フローリング床の洋間では、天井と床の間で非常に強いフラッターエコーが発生します。天井を吸音するのは難しいので、このような場合吸音性の高いふかふかして毛足の長いカーペットをスピーカーの前に敷いて対策します。カーペットは横幅が「スピーカーの設置幅よりも大きく（1～2倍）」、縦（奥行き）が約1～2m程度の大きさでよいでしょう。床に敷く吸音材で最もお薦めなのは、ムートンです。スピーカーの直前にムートンを敷くと、透明感と広がり感の改善に大きな効果があります。

壁と壁の間で発生するフラッターエコーを抑えるには、カーテンを設置するのが効果的です。カーテンを付ける時は、レールをWにして「厚手と薄手のカーテンの両方」を設置しましょう。厚み（吸音率）の異なるカーテンを開け閉めすることで、ルーム・コースティックスが微調整できます。ただし、吸音措置も行き過ぎると、音質の明瞭度低下、躍動感の欠如、低音過

多になって音がもこもこする、などの問題が生じますから注意してください。

音の良いリスニング・ポジション

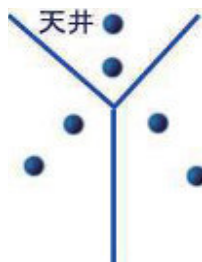
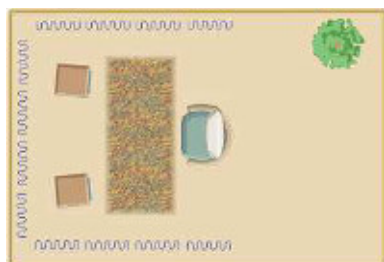
多くのリスナーはスピーカーに近づくことを嫌い、リスニング・ポジションを部屋の後方にとりがちです。しかし、スピーカーから離れれば離れるほど「直接音（スピーカーそのものの音）」が小さくなり、「反射音（壁からの反射）」の影響が強くなります。汚れた反射音ではなく、ピュアで澄み切ったスピーカーの直接音をよりしっかり聞くには、スピーカーに一歩近づいて音楽を聴いてみましょう。

壁のコーナーからの反射を抑える方法

天井のコーナー部分には、壁に反って流れる音が集まりぶつかり合って、コーナー部分で集まりコーナーを中心に（メガホンの原理を想像して下さい）「圧迫感のある残響音」を発生させます。この「天井のコーナー」からの残響を低減するには下のような商品と方法が効果的です。

各社から発売されているコーナータイプの吸音材を天井の四隅に設置する。（設置は必ず、一対のコーナー又は全部のコーナーに行ってください）

オーディオ用のルームチューン材が高価に感じられる場合には、直径1～3cmのフェルトを代用しても大きな効果があります。例：セメダイン/フットタック 日曜大工用品店などで販売されています。



吸音反射パネルを利用する

カーテンやカーペットを使ったルーム・アコースティックの調整は、簡単でさほどコストもかかりません。しかし、コンサートホールのように「豊かな残響」を得ようとする場合は、吸音はできるだけ控え目にして「良質な反射（良質な間接音）」を得なければなりません。リスニングルームの音響を「コンサートホール」に近づけるには、「音響パネル」を使います。一般的に音響パネルは「壁と並行」に設置するように説明されますが、壁に対して角度を付けてパネルを設置し「スピーカーの音を部屋の中で循環させる（音の方

向を変える）」のも有効な使い方です。

スピーカーから出た音は、リスナーを通過し背後の壁で反射してスピーカー背後の壁に届き、リスナーの前後を挟むように「フラッターエコー」が発生します。パネルを使ってこの悪い反射を取り除くには、スピーカー後方の壁両端部に音響パネル（赤パネル）を設置することが効果的です。使用するパネルの高さは、1.2～1.5m程度必要ですが、このパネルの設置により主に左右方向への音の広がりが改善します。さらに中央の定位感を向上させ、前後方向への音の広がりを深めるため、スピーカー背後の壁中央に「逆V字型」に

音響パネルを設置すると左右の音が分離され、中央壁面からの直接反射が軽減する事で中央の定位感が向上し、奥行きが出ます。しかし、逸品館が発見した最も効果の高いパネルの設置位置は、スピーカー中央前方です。この位置に吸音パネル（黒パネル）をⅡ字型に設置すると左右から後方への音の広がりが驚くほど大きく改善します。いづれにしてもパネルを使うルーム・アコースティックの調整では、頭で考えても正解にはほど遠い場合が多いので、実際に色々な場所や角度をお試しになられてその場所を見つけることが重要です。



KRIPTON AP-R100

定価
80,000 円（税別）

自立させて使用します。リスニングルームには必需品です！
定在波を効果的に抑え、音の広がりを大きく向上します。



SA-LOGIC LV1500

販売価格
77,500 円（税別）

ブーミーなミッドバスを吸音して音場の濁りを取り、空間の透明感を向上します。
KRIPTON の AP シリーズとの相性が抜群です。組み合わせることで音質や音の広がりがさらに向上します。

Speaker

TAD

所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために

R1/Mk2

オススメ

CE-1

オススメ



CST ユニットが搭載された R1/Mk2 は、従来のスピーカーとは次元の違う“クリア！”な音を聴かせてくれます。



TAD の考える理想を追求した意欲的なスピーカーです。位相の揃った自然な広がりを持つ音は「CE1」でしか出ません。

TAD がフラッグシップとして生み出した R1/Mk2 は、波面の乱れにこだわり抜いて作られています。その目的を達成するため高域～超高域のタイムアライメントを完全に整合させるのが CST ユニットです。

CST ユニットは、驚くべきことに同一のユニットから 250Hz-100KHz という広帯域を再生可能です。TAD の技術の粋を結集して作られたこの優れたユニットが世界で始めて搭載された R1/Mk2 は、従来のスピーカーとは次元の違う“クリア！”な音を聴かせてくれます。

R1Mk2

3号館
展示中

定価 7,000,000 円

CR1Mk2

定価 3,700,000 円

E1(ブラック)

定価 2,100,000 円

E1(ウォールナット)

3号館
展示中

定価 2,000,000 円

CE-1

テスト
レポート

動画

定価 1,600,000 円

TSM2201-LR

テスト
レポート

動画

1号館
展示中

定価 OPEN



販売できることに喜びと誇りを感じられる、数少ないブランドの一つです

MAGICO の高度なコンピューターシミュレーションによる設計と究極の性能を実現するための惜しみない素材の投入により、従来のスピーカーの概念を覆す恐るべき音質を実現しています。高域は超高解像度でニュアンスが豊かですが、冷たくなく暖かい音質。低域も超高解像度でベースの音階やうねりが驚くほど細かく正確に再現されます。こんな低域は今まで聞いたことがありません。そのサウンドは世界最高峰と表現して差し支えない、比類なき優れた水準に仕上がっています。

S5 (M-COAT High Gloss)

動画

定価 4,600,000 円

S5 (M-CAST Satin finish)

動画

定価 4,000,000 円

S3 (M-COAT High Gloss)

定価 3,800,000 円

S3 (M-CAST Satin finish)

定価 3,200,000 円

S1 (M-COAT High Gloss)

テスト
レポート

定価 2,000,000 円

S1 (M-CAST Satin finish)

テスト
レポート

定価 1,600,000 円

Q7

定価 25,000,000 円

Q5

定価 10,000,000 円

Q3

定価 6,200,000 円

Q1

3号館
展示中

動画

テスト
レポート

定価 3,800,000 円



Q7

オススメ

現代最新のスピーカーからさらに 10 年以上先を行くのが、マジコ Q Series です。これ以上の高忠実 HiFi スピーカーは、現在存在しないと断言できます。販売できることに喜びと誇りを感じられる、数少ない製品の一つです。

S5

カーボン・ナノチューブを使った世界で唯一のウーファーユニット、ベリリウムを振動板に使ったツイーター。ハイブリッドの金属エンクロージャーも採用されています。



販売価格は全て逸品館特価になっています。詳しくは 06-6644-9101 までお電話くださいませ。



音楽再現能力において比類のなきコストパフォーマンスを有する

平面ユニットの中央にツイーターを搭載したオリジナルの同軸平面ユニットに加え、スキャンスピーク社で新開発されたセラミックツイーターをも搭載した画期的な設計のスピーカーです。音質は、ウィーンアコースティックらしい滑らかさと繊細さ、高い透明感を維持しながらセラミックツイーターの働きで、これまでにはない切れ味の良さが実現しています。広がりがある浸透力がある。低音から高音までしっかり再現される素晴らしいスピーカーです。

THE MUSIC

動画 3号館 展示中 テスト レポート

定価 3,200,000 円

LISZT

NEW 動画

定価 2,000,000 円

Beethoven Concert Grand

3号館 展示中 テスト レポート

定価 800,000 円

Beethoven Baby Grand-SE

1号館 展示中 テスト レポート

定価 650,000 円

Mozart Grand-SE

テスト レポート

定価 450,000 円

Haydn Grand-SE

1号館 展示中 テスト レポート

定価 250,000 円

THE MUSIC

オススメ

LISZT

NEW



仕上げ、音質、価格と3拍子揃った、自信を持ってお薦めできるスピーカー

GRANDE UTOPIA EM

ARIA926

オススメ



Chorus706

オススメ



Focal のミドルクラススピーカー“Aria”シリーズ。「高性能自社開発ユニット」を搭載することで高い評価を得てきたメーカーである Focal。“Aria”シリーズは最新の技術を組み込んで開発された新ユニットを搭載しています。例えるならば「カシミア」のようなふわりとした肌触りの軽さと体を芯から温めてくれるようなウォームな音質です。

エントリーモデルの“Chorus”シリーズの音は明るく力強い、音楽を楽しく躍動させます。

Focal の「実質主義」がその表現力に現れ、組み合わせるコンポーネントやジャンルを選ばないフランス製品らしい「情緒の深さ」も合わせ持った表情で楽しめます。

GRANDE UTOPIA EM

定価 22,000,000 円

SCALA UTOPIA/V2

定価 4,200,000 円

ELECTRA 1028BE

3号館 展示中 テスト レポート

定価 1,200,000 円

ARIA948

NEW

定価 600,000 円～

ARIA936

NEW

1号館 展示中

定価 470,000 円～

ARIA926

NEW

1号館 展示中

テスト レポート

定価 380,000 円～

ARIA906

NEW

1号館 展示中

定価 162,000 円～

Chorus726

NEW

テスト レポート

定価 256,000 円～

Chorus716

NEW

1号館 展示中

テスト レポート

定価 212,000 円～

Chorus714

NEW

テスト レポート

定価 170,000 円～

Chorus706

NEW

1号館 展示中

テスト レポート

定価 106,000 円～

Chorus705

NEW

テスト レポート

定価 86,000 円～

B&W Bowers & Wilkins

現代ハイエンドを代表するトップ・ブランド



802Diamond オススメ

802 Diamond は、800 Series Diamond のなかでも 2 ヘッドを備えた小型モデルです。広大なスケールと透明感を実現し、音楽愛好家たちが長年にわたって愛してやまないスピーカーです。

CM6S2

PM10 から採用のトゥイーター・オン・トップ方式を導入した、CM シリーズブックシェルフモデルのフラッグシップ機。805 シリーズの様なリッチな表情でお楽しみ頂けます。



CM1S2

CMS2 シリーズは B&W 社の中核を成すモデルです。フラッグシップモデルの CM10 にのみ搭載していた新開発ユニットを全てのモデルに適用し、大幅な表現力の向上を実現しました！



CM10S2

CMS2 シリーズにおけるフラッグシップモデル。最大の更新はリニューアルされたネットワーク部。より力強く表情豊かになりました。

800Diamond	定価 3,400,000 円～	CM10S2	定価 600,000 円～
802Diamond 3号館 展示中	定価 1,920,000 円～	CM9S2	定価 370,000 円～
803Diamond	定価 1,360,000 円～	CM8S2	定価 280,000 円～
804Diamond	定価 1,040,000 円～	CM6S2	定価 300,000 円～
805Diamond	定価 560,000 円～	CM5S2	定価 180,000 円～
805SD Maserati Edition 1号館 展示中 テスト レポート	定価 1,500,000 円	CM1S2	定価 128,000 円～

TANNOY 音質は「レトロ」それこそがタンノイの良さ。音楽を豊かに聴かせてくれます

プレステージシリーズの系譜に新風を吹き込んだ先進のシステム、KENSINGTON-GR(ケンジントン)。しかし、そのスリムなプロポーションから放たれる音楽は、時代を超えて継承されるタンノイの響きそのものです。またDC10Tiは新設計のチタン・トゥイーターを搭載し、様々な楽器や、アーティストの息づかいまでも再現します。

KENSINGTON GR

限定モデルのブラック色も取り扱っております。



DC10Ti

NEW



WESTMINSTER ROYAL GR	定価 5,300,000 円
CANTERBURY GR	定価 2,900,000 円
KENSINGTON GR	定価 1,680,000 円
TURNBERRY GR	定価 900,000 円
STIRLING GR	定価 760,000 円
DC10Ti	定価 1,080,000 円
AUTOGRAPH MINI 1号館 展示中 3号館 展示中 テスト レポート	定価 300,000 円

逸品館は下取り交換応援中！高く買います！安く売ります！この機会に買い換えをご検討ください！



逸品館がずっとお薦めしている”ストレート・サウンド”の最高峰

MB2 SE

動画

テスト
レポート

PMC は初期のモデルと比べると、ほぼ 2 倍近く高価になりました。もちろんそれに見合うだけ質感と音質は大幅に向上しています。賛否が分かれるのは、そのデザインではないだろうかと思えます。各社のスピーカーのデザインがよりインテリアにマッチする高級感を感じさせる方向に変わりつつある中で、MB2SE/IB2SE 共に初期のデザインをほぼそのまま踏襲しています。それは PMC が採用する「トランスミッションライン構造」のためでしょう。デザインを取るか、音の良さを取るか、この相反する命題に対し PMC は潔く「音」を取ったため、モデルチェンジで「形状」が変えられないのです。磨き抜かれた音の美しさを持つ MB2SE と IB2SE の音質は、同価格帯の他メーカー製品とは一線を画する魅力が感じられます。

1号館
展示中テスト
レポート

TWENTY21

Twenty シリーズの音質は、従来からの PMC ファンのご期待を決して裏切らない「高音質」とふわりとした美しい響きが見事に両立した、心地よい「楽器的な音質」に仕上げられています。業務用途で磨かれた高性能と家庭用に求められる寛容さを見事にマッチさせ、独特の高品位なサウンドを作り出した PMC の技術力は数多あるスピーカーメーカーの中でも群を抜いています。Twenty は PMC ファンの皆様だけではなく、すべての音楽ファンのご期待に添える素晴らしいスピーカーだと思います。

3号館
展示中テスト
レポート

TWENTY24

定価改訂 (値上げ) 予定あり < 時期未定 >

BB5 SE

定価 5,500,000 円

MB2 SE

動画

テスト
レポート

定価 3,400,000 円

IB2 SE

動画

テスト
レポート

定価 2,700,000 円

DB1/GOLD

1号館
展示中

定価 180,000 円

TWENTY24

3号館
展示中テスト
レポート

定価 650,000 円

TWENTY23

1号館
展示中

定価 440,000 円

TWENTY22

テスト
レポート

定価 380,000 円

TWENTY21

1号館
展示中テスト
レポート

定価 290,000 円

Sonus faber

イタリアの至高。それはフォルムも、サウンドも美しい

VENERE2.5

SonusFaber の”Venere シリーズ”は、従来の美しい仕上げをそのままにバリュープライスを実現したお薦めモデルです。音質は、従来の SonusFaber らしい響きを生かした音楽的な鳴り方を基本に、ワイドレンジでフラットなバランスに仕上げられています。



イタリアの美しい歌姫「SonusFaber」。

最大の特徴はその美しいフォルムと仕上げの良さ。部屋のインテリアとしても十分に通用する「居心地の良さ」を求めて作られた、質感と素晴らしいデザインは、他のオーディオメーカーとはひと味もふた味も違います。

音も同じく、ディスクに刻まれた「音」を克明に暴くような鳴り方をせず、ディスクに記録された「音楽」を表情豊かに楽しく歌わせます。

OLYMPICA2

従来の SonusFaber の製品と Olympica は、まるで正反対の性格を持っているようです。

Olympica の長所はスッキリ伸びた明瞭な高域と、押し出し感と量感のある低域です。



VENERE3.0(ウッド)

テスト
レポート

定価 620,000 円

VENERE3.0(ホワイト・ブラック)

定価 560,000 円

VENERE2.5(ウッド)

定価 490,000 円

VENERE2.5(ホワイト・ブラック)

定価 400,000 円

VENERE2.0(ウッド)

定価 300,000 円

VENERE2.0(ホワイト・ブラック)

定価 260,000 円

VENERE1.5(ウッド)

定価 230,000 円

VENERE1.5(ホワイト・ブラック)

定価 180,000 円

OLYMPICA3

定価 1,860,000 円

OLYMPICA2

定価 1,400,000 円

OLYMPICA1

定価 880,000 円



伝説のサウンド、再び

LS3/6



まるで現実のコンサート会場に放り込まれたような、懐の深い音色。
決して押しつけがましくはなく、訴えてくるように聞こえます。
歴史が育んだ素晴らしい音楽スピーカー LS-3/6 は、肩肘張らずに毎日
音楽を聞き続けられる、特にクラシックを深く理解するお客様にお薦め
したい、素晴らしいスピーカーです。

LS3/5aV2

オススメ



オーディオのイロハを知り尽くしたマニアにも、これからオーディオ
に入ろうとお考えの初級マニアにも、絶対の自信を持ってお薦めでき
るのが LS-3/5aV2 です。なぜなら、このスピーカーの音こそオーディ
オのスタートであり、オーディオのゴールなのですから！

LS3/6	テスト レポート	定価	700,000 円
LS3/6/Limited		定価	750,000 円
LS3/5aV2	3号館 展示中 テスト レポート	定価	280,000 円
LS3/5aV2/Limited	1号館 展示中	定価	300,000 円

AB2	テスト レポート	定価	300,000 円
AB2/Limited		定価	340,000 円

Harbeth

MONITOR20.1

「オーディオは価格じゃない」と気づかせてく
れたスピーカー、そして、逸品館を「セレクト・
オーディオショップ」としてスタートさせる
決心をさせてくれたのが HARBETH なのです。
それから20年近くの年月が流れ、私が望んで
いた HARBETH の音が蘇りました。それが
「MONITOR20.1」です。

1号館
展示中

テスト
レポート



お値段は、
お問い合わせください

Graham

LS-5/9

無闇に特性を追うことなく、昔ながらのこだ
わりの再現を目指しそれを実現している
LS-5/9 は高額な最新スピーカーが忘れてきた
「情熱」を聞かせてくれます。ヨーロッパの歴
史が育んだクラシックや、イギリスの代表的
な Popシンガー Beatles.1960-1980 年にクラ
イマックスを迎えた音楽文化を是非このス
ピーカーで味わって欲しいと思います。

テスト
レポート



LS-5/9 定価 650,000 円～

Acoustic Design

AD-35a (ペア)

「AD35a」は「LS3/5a」に、「AD36」は「LS3/6」
に合わせて作られた専用スタンドです。
仕上がりも音質も抜群で、価格も安い！
底板にはウェイトが埋め込まれ、高さ調整ができ
るスパイクが付いています（スパイク受け付属）。
サイズが合えば、他のスピーカーに使っても魅力
的なスタンドだと思います。



AD-35a (ペア) 定価 85,000 円
AD-36 (ペア) 定価 90,000 円

audio pro

安くても驚くほど良い音

AVANTO シリーズ

オススメ



レンジが広く、クッキリした音が透明に広がります。
音を音楽を聞いていて嬉しくなるようなこの感覚は、Audioproの初代名機 Image Series を彷彿とさせます。
仕上がりも美しく AVANTO はこのクラス敵なしの素敵なスピーカーです。

センタースピーカー

FS-20	1号館 展示中	動画	定価 100,000 円	C-20	1号館 展示中
S-20	1号館 展示中	動画	定価 30,000 円		定価 24,000 円



自然で有機的なドイツ製

ME25

3号館
展示中

※写真は特別色。標準色は、ブラックです。

ME160		定価 2,268,000 円
ME100	テスト レポート	定価 736,000 円
ME25	3号館 展示中	定価 422,000 円

Subwoofer & CenterSpeaker



何よりもクリアなセリフ再生

IMAGE11/KAI2(1 本)

オススメ

テスト
レポート

IMAGE11/KAI2 は小型スピーカーらしく、明瞭度の非常に高いサウンドが特徴です。音楽の持つ躍動感やエネルギーをストレートに表現し、特に楽器のアタックの再現性はあたかも生楽器を聴いているようで、スピーカーが鳴っているというストレスを全く感じさせません。

センタースピーカー

IMAGE11/KAI2(1 本)	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格 22,100 円
IMAGE11/KAI2(ペア)	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格 42,000 円

audio pro

サブウーファーのベストセラー

B2.27MK2

テスト
レポート

オススメ



レスポンスの良さと指向性の緩やかさ、設置のしやすさ、サブウーファーに求められるすべての要素を高レベルで実現した B2.27 の後継モデル "Mark2" が登場しました。どこに置いても違和感が少なく、スピーカーとの繋がりも抜群です。

サブウーファー

B2.27MK2	1号館 展示中	販売価格 75,600 円
----------	------------	---------------

B&W Bowers & Wilkins

B&W スピーカーとベストマッチする、超低音

ASW-DB1



DB1 は、Bowers & Wilkins がこれまでに製作したなかで最も進化したサブウーファーです。ホームシアターに最適な DB1 のパワーは明白ですが、クリーンかつ最速な性能は、音響愛好家たちのハイファイ・システムの要求を十分に満たします。

サブウーファー

ASW-DB1(ピアノブラック)	定価 582,857 円
ASW-DB1(チェリー/ローズ)	定価 552,381 円
ASW-610(ブラック)	定価 95,238 円
ASW-608(ブラック)	定価 71,429 円

センタースピーカー

CMCS2	1号館 展示中	定価 100,000 円～
CMC2S2		定価 155,000 円～

スピーカー 音質インプレッション TAD CE-1

TAD CE-1

希望小売価格

¥1,600,000 (ペア) スタンド別売り 18万円 (ペア)

型式: 3ウェイ バスレフ ブックシェルフ型 ●スピーカー
構成: 3ウェイ方式 ●ウーファー: 18cm コーン型 ●ミッド
レンジ/トゥイーター: 同軸 14cm コーン型/35cm ドーム
型 ●再生周波数帯域: 34Hz~100kHz ●クロスオーバー周
波数: 250Hz, 2kHz ●出力音圧レベル: 85dB (283V・1
m) ●最大入力: 200W ●公称インピーダンス: 4Ω ●ユニッ
ト極性 ●低域 (+)、中域 (+)、高域 (+) ●外形寸法: 290
mm(W) x 524mm(H) x 446mm(D) ●質量: 30kg ●付属品:
ショートケーブルx2、クリーニングクロス

TADの終わりにき挑戦

CE1 (Compact Evolution 1) はその名の通り、現在発売されている「E1/Evolution1」のコンパクトモデルです。しかし、CE1のメーカー希望小売価格160万円(スタンド込みなら178万円)は、E1の200万円と比較して「コンパクト」ではありません。現在、スピーカーの売れ筋は「フロア型/トールボーイ型」が主流で、各社が発売する「ブックシェルフ型/スタンドが必要なモデル」はほとんど売れていません。フロア型と価格の近いCE1は、販売店から見て「売りにくい」スピーカーです。では「なぜ？」TADは売りにくいと分かりながら「CE1」を作ったのでしょうか？それは、CE1が「今までのスピーカーとは違う製品」だからです。

世界最高レベルの技術を持つTADの「今までになかった製品を作りたい」という新たなチャレンジから、CE1は生み出されました。

CE1の概要・CSTの搭載

TADの音作りのコンセプトは、「ディスクに収録された音をありのままに再現すること」です。

このシンプルな難題の新たな解答となるべく生まれたのが、コンパクトスピーカー「CE1」です。では、なぜCE1はコンパクトでなければならないのでしょうか。それを知るために、今一度スピーカーの「理想」を復習します。

1. 点音源：音はできるだけ狭い範囲から発生させたい。

ユニットの距離が離れると各ユニットからリスナーまでの伝達距離に違いが生じ、音が届くタイミングがずれてしまう(位相がずれてしまう)。

2. 周波数帯域を広げたい。

人間が感じる音は身体(皮膚)で感じる周波数を含めると、0-100kHzと非常に広い帯域を持つ。

この二つの課題を実現するには、「点」から「すべての周波数の音」が発生させられる、「点音源」がスピーカーの理想だとわかります。

しかし、物理的な問題から、低い音を発生するには面積の広い振動板(大口径ウーファー)が必要とされ、高い音を発生するにはレスポンスの良い振動板(小口径ツイーター)が求められます。この矛盾をどのように工夫して両立するか？これがスピーカーに与えられている課題なのです。

CSTとは

スピーカーに求められる「点音源」を実現するため、TADは「CST」と呼ぶ「同軸ユニット」を開発しました。まず、CSTについて書かれたTADのHP説明文章を抜粋して掲載します。

(1) TAD CE1は位相の一致したポイントから、広帯域にわたって指向性をコントロールして再生する中高域用の同軸スピーカーユニット「CST ドライバー」を搭載しており、安定した定位と自然な音場空間を再現します。ミッドレンジのコーンにより、同軸配置されたトゥイーターの指向特性を制御し、トゥイーターとミッドレンジのクロスオーバーにおける位相特性と指向特性を一致させることで、全帯域で自然な減衰特性と指向放射パターンを両立し、CSTドライバーのみで250Hz~100kHzという超広帯域再生を実現しています。

(2) トゥイーターに独自の蒸着法で加工したベリリウム振動板を、ミッドレンジには軽量で高内部損失のマグネシウム振動板を採用。トゥイーターに、軽量で剛性に優れたベリリウムを独自開発の蒸着法で成形した振動板を採用しています。コンピュータ解析による最適化手法「HSDOM (Harmonized Synthetic Diaphragm Optimum Method)」を用いて形状設計し、分割振動とピストンモーションの最適バランスを導き出すことで、100kHzまでの超広帯域再生を実現しています。ミッドレンジには、内部損失の高いマグネシウム振動板を採用することで、材料固有の共振音の影響を排除し、歪みの少ない音を再生します。

CE1に搭載されたCSTは、35mm口径ベリリウム振動板を採用するツイーターと、140mm口径マグネシウム(Reference Seriesが搭載するCSTユニットでは、ウーファーもベリリウムが使われます)振動板を使うTADオリジナルの同軸2Wayユニットです。このユニットは、140mm口径同軸の小さな範囲から「250Hz-100kHz」という広帯域の音を再現できる世界でも他に類のない素晴らしい性能を持っています。直径140mmという小さな「円の中」から、250Hz-100kHzの広帯域を再現できるCSTは、現在世界で最も「点音源」に近いユニットなのです。さらりと書くと「CST」はこのようなユニットなのですが、詳細を見るとTADはこのユニットのために、世界初の新技術を数多く開発し、投入していることが分かります。

蒸着工法による、ベリリウム振動板

CSTのツイーターには35mmという「大口径」のユニットが使われますが、通常これほど大きい振動板を使う場合、ツイーターの高域限界は「20kHz」程度になります。最近テストしたAudax社の34mm口径のソフトドーム型ツイーターを採用する、「Graham Audio LS-5/9」の周波数特性上限は「16kHz」でしかありませんでした。ではなぜCSTは、LS-5/9とほぼ同じ口径のユニットを使うにも関わらず、100kHzという超高域までフラットに再生できるのでしょうか。

その秘密は、ユニットの軽さとマグネット(磁気回路)の強さにあります。軽い振動板に強力な磁気回路を組み合わせ、質量あたりの駆動力を向上させることで、物理法則に抗える「レスポンス」が得られるのです。CSTが使う「ベリリウム」は、常温で安定して存在する「最も軽い金属」です。ベリリウムの元素番号は「4」で比重は、1.85。B&Wが使うダイヤモンド(炭素)は「6」で比重は、3.52。ベリリウムの重さはダイヤモンドの約半分です。最も「軽い振動板」は、「ベリリウム」でなければ作れません。

TADは、さらに「ベリリウムの加工法」にも特殊な工法「蒸着法」を使います。ツイーターに使われる「薄いドーム形状に金属を加工」するときは、通常「圧延(金属を薄く伸ばす)」したあとプレスして形を整えます。しかし、この方法では「金属の厚みの均一性」と「加工応力(プレス状態から元に戻ろうとする)の残留」による変形などに問題が残ります。TADがCSTに採用している「蒸着法」とは、「銅板で作った型にベリリウムを何層にも蒸着(ベリリウムの蒸気を吹き付けて膜を生成する)させる」方法です。ガラスに息を吹きかけると、ガラス表面で域に含まれる水分が液化してガラスが曇ります。この時のガラスを銅板に、ガラス表面をぬらす水分をベリリウムと考えてください。もちろん、ベリリウムは銅板表面で液

テストレポートで紹介している商品の希望小売価格の表示は全て税別となっております。

体ではなく、固体の薄い膜として生成されます。このように銅板の型に何度もベリリウムの蒸気を吹き付け、ベリリウムが必要な厚みに達したら、「銅板だけを溶かして」ベリリウム振動板を取り出します。

通常の圧延法ではなく TAD が使う蒸着法で作られれたベリリウムの振動板は、驚くべき高精度の均一性（厚みだけでなく密度も）を実現できるだけでなく、加工応力もまったく残りません。さらに圧延法の場合は、「水平方向」に並ぶ金属結晶が、蒸着法では「垂直方向」に並ぶため、内部損失が大きくなる（振動板が響かない）という特徴も備えます。現在実現可能なツイーターの素材として、ベリリウム蒸着法で生み出された振動板を超えるものはありません。こうして作り出された「軽くて強い振動板」に、最も強力な磁石＝ネオジウムが組み合わせられたのが、CST のツイーターユニットです。

実はツイーターの高域特性を改善するもっとも簡単な方法があります。それは「振動板を小さくする」ことです。しかし、ツイーターの振動板を小さくするとツイーターが低い周波数を再生することができなくなり、ウーファーとのクロスオーバー周波数を高くしなければなりません。クロスオーバー周波数が高くなると、ツイーターとウーファーの指向性の不一致、音色の不一致、歪みの増大など、音質に大きな問題が発生します。だから、LS-5/9 は高域特性を犠牲にしても大口径のツイーターを使うのですが、CST であれば高域特性を犠牲にすることなく、ツイーターを低音まで使うことができるのです。

すでにお気づきの方もいらっしゃると思いますが、ツイーターとウーファーのクロスオーバー付近での問題を改善するためには、ツイーターの低音特性だけではなく、ウーファーの高域特性も改善しなければなりません。ウーファーの性能向上の方法も、ツイーターとまったく同じで、「軽い振動板 + 強力な磁気回路」の組み合わせが一番です。TAD は、CE1 などの「Evolution Series」には「マグネシウム合金」、R1 などの「Reference Series」には「ベリリウム合金」と振動板を使い分けることで、コストと音質の両立を実現しています。

こうして作られた CST のクロスオーバー周波数は、「2kHz」という低さです。クロスオーバー周波数が低い CST は、ツイーターとウーファーの整合性に優れ、音色の一致、指向性の一致に非常に優れた特徴を持っています。ただし、CST を搭載するスピーカーは「100kHz」という非常に高い周波数まで精密に再生するため、通常のスピーカーよりもセッティングによる音質の違いが大きくなります。正しく「セッティング」された CST ユニットの採用する TAD のスピーカーをお聞きになれば、小型スピーカーのような「精緻な定位」と「自然な音の広がり」が実現することがわかりになると思います。

現在発売されている「高額スピーカー」の多くがいまだに昔ながらの「材料」で作られていることに比べ、TAD のスピーカーはそれより少なくとも 10 年以上（25 年近く）先を進んでいます。既存の材料を集めデザイン重視で「美しいスピーカー」を作ることはさほど難しいことはありません。しかし、TAD はあえてそれをせず、日本人らしい「物作りの魂」をこめて製品を開発しています。TAD は一台のスピーカーのために、このような「革新的技術 / 核心的技術」の開発を実現しました。そこには世界でも最も進んだ日本最先端技術と、それに賭ける「物作りの魂」が宿っています。

MACS ウーファー

圧倒的な高い技術力から生み出された CST に比べるとウーファーは「割と普通」ですが、それでも「ただ者」ではありません。CE1 が採用するウーファーには軽量で高剛性なアラミド繊維の織布と不織布を何層にもラミネートした振動板が採用されています。このような積層コーン紙を使うユニットは他社にも多く見られますが、MACS がそれと異なるのは「コーン紙とセンターキャップを一体成形」していることです。

一般的に使われるウーファーの振動板は、センターキャップとコーンが「分割」して作られた後で「接着」されています。これは生産効率とコストによるものですが、MACS にはセンターキャップとコーンを「一体化（継ぎ目なし）」して作られています。詳しい工法は省きますが、MACS がつかう「継ぎ目のない振動板」は、一般的な振動板に比べ「強度」と「振動伝達」が優れています。強度が高く軽い振動板と強力なネオジウムマグネットを使用した T ポール型磁気回路の採用により、小さな振幅から大きな振幅まで均一で高い駆動リアリティを実現する MACS は、より豊かな低音再生とクリアな中低域再生を TAD のスピーカーにもたらしめます。

SILENT エンクロージャー

スピーカーの要となる「ユニット」は揃いました。次に重要なのは、それを収める「箱」。すなわちエンクロージャーです。スピーカーのエンクロージャーは、できるだけ共振しないものが求められます。そういう意味では Magico が採用する「金属エンクロージャー」が一番理想に近いかも知れません。しかし、それではコストがかかりすぎるため、TAD はあえて「木材」をエンクロージャーに使います。

CE1 のキャビネットは高剛性の樺（バーチ）合板を骨組みに使用し、内部損失の高い MDF（Medium Density Fiberboard：中質繊維板）材と組み合わせることで高い強度と低共振を実現する「SILENT エンクロージャー」構造を採用しています。さらに CE1 ではエンクロージャーの左右の側板に、10mm 厚の高剛性アルミパネルを装着することで、キャビネットの共振がさらに小さくなっています。

こうして完成した「鳴かないエンクロージャー」を高性能な測定機器を用いて測定し、高度なシミュレーション解析と厳格なヒヤリングテストにより最適な吸音材を選定して効果的に配置することで、音像・音場に悪影響を及ぼすエンクロージャーの共振と内部定在波が徹底的に排除された「SILENT エンクロージャー」が CE1 には採用されています。TAD が使う木製のエンクロージャーは、金属エンクロージャーよりも低コストで、それに迫る性能を実現しているのです。

ポートシステム “Bi-Directional ADS”

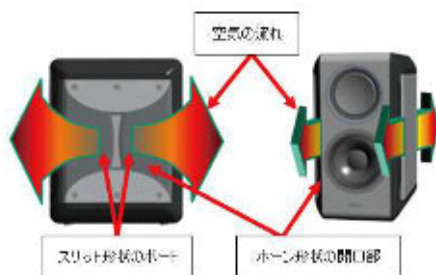
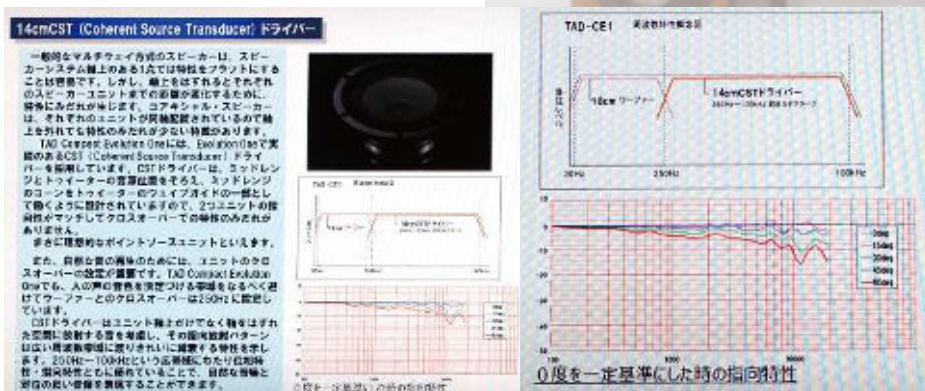
ここまでの解説では、なぜ「CE1 は、コンパクトスピーカーでなければならないのか？」が、まだ完全には見えてこないと思います。しかし、これから説明しようとする「Bi-Directional ADS」により、その理由が明快におわかり頂けると思います。

「CE1 はスリット形状のポート（ダクト）をエンクロージャーの両サイドに設置し、開口部をホーン形状にすることで、滑らかな空気の流れを実現するポートシステム “Bi-Directional ADS” を搭載しています。大振幅時のポートノイズを低減するとともに、ポートからの内部定在波の漏洩を抑制することで、レスポンス良く豊かな低域を再生します。また、ポートの開口部を前後・左右対称にレイアウトすることで、ポート駆動による振動を打ち消し自然な低域を再生します。」

TAD のホームページには、このように記載されていますが、この重要な新技術についてこの解説では「足りない」と感じるにので、この技術についてさらに詳しく説明します。

この解説の最初に、スピーカーの理想は「点音源」だと書きました。密閉型のエンクロージャーを採用した場合、ユニット以外の部分からは低音が発生しないので、点音源に近づきます。しかし、より小さな体積（面積）から、より豊かな低音を発生しようとする場合、ウーファーユニットの背後に発生する低音も利用できる「バスレフ型」の方が有利です。また密閉型の場合、ウーファーが前後に動くことでエンクロージャーの空気が減圧 / 圧縮されることで、ウーファーのストロークを阻害する力が発生しますが、バスレフの場合は空気が逃げるのでそれがありません。密閉型か、バスレフ型か、それを選ぶのは難しいのですが、TAD は CE1 で “Bi-Directional ADS” という解決策を見いだしました。

多くのバスレフ型スピーカーは、エンクロージャーの一面にバスレフポートを設けます。たとえばフロア型スピーカーの場合、「前」、「後」、「下」のいずれかの面にバスレフポートを設けますが、これでは「バスレフポート」とウーファー・ユニットの距離が離れる、バスレフポートの位置に偏りが生じる（前もしくは後だけに低音が出る）という問題が発生します。これ



を解決するためには、ウーファーのユニットを左右側面に配置するという方法も考えられますが、ユニットを取り付けるためエンクロージャー側面に大きな穴を開けなければならない、エンクロージャー剛性の低下による共振が生じます。またウーファー・ユニット取り付け位置が左右になると、スピーカーの周囲にものが置けない（スピーカーの周囲を広く取らなければならない）という問題も生じます。しかし、CE1 が採用するポートシステム “Bi-Directional ADS” を使うことで、これらの問題が解決できるのです。

スピーカーから良好な低音を発生させる重要なポイントは、「スピーカーの左右から低音を発生させる」ことです。逸品館では「ユニットが左右に配置されたサブウーファー audio-pro B227MK2」をお薦めしていますが、これは経験上ユニットが左右に取り付けられたサブウーファの音質が圧倒的に優れているからです。ウーファー・ユニットを左右に取り付けると、エンクロージャーを中心に低音が「球面状」に広がるようになります。ユニットを片側に付けたサブウーファーと、両側に取り付けたサブウーファーを聞き比べれば、球面状に広がる低音＝無指向性の低音の素晴らしさがすぐに分かります。この「球面波（無指向性の低音）」をバスレフ型スピーカー（エンクロージャー）から生み出すのが、エンクロージャーの左右にポートを設けた CE1 のポートシステム “Bi-Directional ADS” なのです。

“Bi-Directional ADS” 本来の目的は、上述したように「均一の低音をスピーカーから発生させる」事にありますが、さらに次のような音質改善技術も使われています。

スピーカーキャビネット内での定在波の発生を考えた場合、最も大きく定在波が発生する「左右 / 上下 / 前後の平行面」にバスレフポートの穴を開けるのは、最も大音量の定在波がバスレフポートから外に出てしまうため望ましくないと考え、TAD は CE1 でキャビネット内部の定在波が最も小さくなる「左右の中央」にバスレフポートを設けました。またポートでの風切り音の原因となる、剥離流の発生を根本から抑えるために、ヒョウタン型の特殊なポート形状を採用しました。CE1 で特徴的な「左右のアルミパネル」は、ポートから吹き出す低音に共振しない強度を備える「10mm 厚（木材にすると 35mm を超える強度）」の無垢アルミ材へ変わったためですが、木材よりも強度の高いこのアルミ材は、キャビネット強度の向上にも大きく寄与しているのです。

日本人らしい細やかな工夫と知恵が凝縮された、コンパクトスピーカー

それが CE1 なのです。

CE-1 の音質

TAD CE1 は発売前に行われた、展示店向け発表会で聞くことができました。



ご覧のように試聴会が行われた部屋はカーペット敷きで各機器はその上に直接設置されています。CE1 の特長である「良質な低音」の再生を狙い、スピーカーは部屋のコーナー（角）を中央にして設置されていました。このコーナーを挟んでスピーカーを設置する方法は、ミュンヘンの TAD ブースでも採用されていました。

ミュンヘン TAD ブース

アンプには C600/M600 が使われ、ソースは PC/USB→DA1000/S-PDIF→D600 という贅沢な構成とコーナーを使ったセッティングの効果で、CE1 の存在感は完全に消え、目の前の空間にステージが綺麗に定位していました。

E1 に匹敵するほど低い帯域から聞きとれる低音は、バスレフとは思えない応答性の高さと、密閉型では得られない量感が見事に両立していました。

E1 と比べて、キャビネットが小型化されているためか、CST らしい中高音の広がりにはさらに自然に感じられました。

ただ、デッドな部屋で CE1 を鳴らしていることと、M600 をカーペットに直置きしている影響から高音が吸収されすぎて「色彩感」と「高音の切れ味」が若干不足して感じられたのが残念でした。CE1 は TAD が考える理想のスピーカーを追求した、意欲的な新製品です。その音を聞くまでは、存在すら否定的に考えていた「CE1」ですが、その音を聞いた後では「この位相の揃った音（時間軸が揃った自然な広がりを持つ音）は CE1 でしか出ない」と思えるようになりました。決して安くなく、形もやや奇妙？（ごめんなさい）な CE1 ですが、それが奏でる音は紛れもなく本物です。こんなスピーカーは、TAD でなければ作れません。恐るべきポテンシャルを秘めた高性能スピーカー CE1 をどのように鳴らすのか？ R1 Mark2 同様 CE1 も、そしてすべての TAD 製品は「使い手の腕」次第で、出る音が変わります。優秀な道具は、使い手を選ぶ。そんな高性能が CE1 には宿ります。



台北 TAD ブース

左から、逸品館代表：清原、TAD スピーカー開発者：アンドリュウ、ジョーンズ氏、台湾ディストリビュータ代表：Shannon Yu Shi Yang 氏（台北にて）

スピーカー 音質比較

FOCAL Aria Series PMC Twenty 24

FOCAL

Aria 926

希望小売価格 ¥380,000 (WN・ペア)

希望小売価格 ¥420,000 (BHG・ペア)

形式：3Way・パスレフ方式●ユニット：
高域：25mm/TNF.AL.MGL 逆ドーム
中域：165mm×1、低域：165mm×2
●能率91.5 dB/2.83V/1m●クロスオー
バー：290Hz/2400Hz●周波数特性：
45-28kHz●インピーダンス：8Ω●サイ
ズW294×H1035×D371(mm)●重量：
25Kg(1 台)●仕上げ：WN：ウォール
ナット BHG：光沢ブラック



PMC

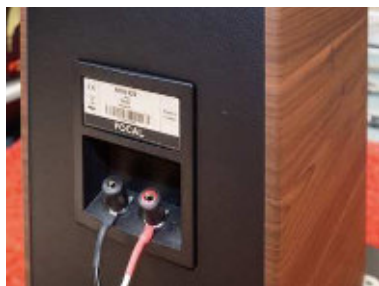
Twenty 24

希望小売価格 ¥650,000 (ペア)

形式：2Way トランスミッションライン
方式●ユニット：高域：27mm/ シルク
ドーム 中低域：170mm×1●能率：90
dB/1W/1m●クロスオーバー：1800Hz
●周波数特性：28-25kHz●インピーダ
ンス：8Ω●サイ ズ：W184×H
1028×D419(mm)●重量：21Kg(1 台)

Aria Series の特長

フォーカル社は元来「高性能ユニットを開発」し、それを自社製品に搭載することで高い評価を得て成長してきたメーカーです。これまでもポリガラスに始まり、K2 サンドイッチ、W サンドイッチ、ケブラー、チタン、ベリリウム、アルミニウム - マグネシウムなど数々の優れた振動板を採用してきました。世界には数多くのスピーカーメーカーがありますが、ドライバーユニットまで自社生産するメーカーは少数です。フォーカル社は Aria900 シリーズのためにまったく新しい素材を使うスピーカーコーンを開発しました。それが Aria900 シリーズに始めて採用された、グラスファイバーで天然素材のフラックス（亜麻繊維）をサンドイッチした振動板（F サンドイッチコーン、フレームには誇らしげな "Made in France" の文字が！）です。



Aria900 シリーズはブックシェルフ型の「906」トールボーイ型の「926、936、948」の4製品がラインナップされます。仕上げはブラックハイグロスとウォールナットの2種類でガラスの天板と合成皮革仕上げのフロントバッフルが採用されています。また、見えない背後にまで皮が張り込まれている所などに、Aria に対する Focal 社の熱意を感じました。スピーカーの入力は、シングルワイヤリングです。

「Aria906、926、936」はそれぞれ6.5インチのFサンドイッチコーン採用バス・ミッドレンジを各1基、3基、4基搭載しています。「Aria948」には8インチFサンドイッチコーンのバスドライバー 2基が搭載され、ツイーターにはいずれもポロンエッジの25mmTNF アルミニウム/マグネシウム合金製逆ドームトゥイーターが搭載されています。パスレフポートはすべてのモデルでフロントに開口部が設けられ、壁などの影響を受けにくいように配慮されています。トールボーイ型のベース部には独立したプレートが装着され、スパイクとスパイクベースが付属します。



使用した機材



Marantz SA14S1



Marantz PM14S1

Aria Series のラインナップと主な仕様

FOCAL
Aria 906

形式：2Way・バスレフ方式●ユニット高域：25mm/TNF AL.MGL 逆ドーム 中・低域：165mm×1●能率：89.5dB/2.83V/1m●クロスオーバー：2800Hz●周波数特性：55-28kHz●インピーダンス：8Ω●サイズ：W225×H390×D250mm●重量：8.5Kg(1台)●仕上げ：WN/BHG
希望小売価格 ¥162,000 (WN・ペア)
希望小売価格 ¥192,000 (BHG・ペア)

FOCAL
Aria 926

形式：3Way・バスレフ方式●ユニット：高域：25mm/TNF.AL.MGL 逆ドーム 中域：165mm×1、低域：165mm×2●能率：91.5dB/2.83V/1m●クロスオーバー：290Hz/2400Hz●周波数特性：45-28kHz●インピーダンス：8Ω●サイズ：W294×H1035×D371(mm)●重量：25Kg(1台)●仕上げ：WN：ウォールナット BL：光沢ブラック



希望小売価格 ¥380,000 (WN・ペア)
希望小売価格 ¥420,000 (BHG・ペア)

FOCAL
Aria 948

形式：3Way・バスレフ方式●ユニット：高域：25mm/TNF.AL.MGL 逆ドーム 中域：165mm×1、低域：210mm×2●能率：92.5dB/2.83V/1m●クロスオーバー：280Hz/2600Hz●周波数特性：37-28kHz●インピーダンス：8Ω●サイズ：W371×H1150×D420(mm)●重量：35Kg(1台)●仕上げ：WN：ウォールナット BHG：光沢ブラック

希望小売価格 ¥600,000 (WN・ペア)
希望小売価格 ¥660,000 (BHG・ペア)



希望小売価格 ¥470,000 (WN・ペア)
希望小売価格 ¥530,000 (BHG・ペア)

形式：3Way・バスレフ方式●ユニット高域：25mm/TNF.AL.MGL 逆ドーム 中域：165mm×1、低域：165mm×3●能率：92dB/2.83V/1m●クロスオーバー：260Hz/3100Hz●周波数特性：39-28kHz●インピーダンス：8Ω●サイズ：W294×H1150×D371(mm)●重量：29Kg(1台)●仕上げ：WN：ウォールナット BHG：光沢ブラック

FOCAL
Aria 936

PMC Twenty 24 の外観と特徴

The base unit The tweeter



品に共通する 24dB/oct の遮断特性を持つ PMC オリジナル・クロスオーバーユニットが使われています。スピーカー入力端子には高級なものが奢られ、入力は PMC の伝統に従い Bi-Wire (Bi-AMP) 対応となっています。

そして PMC ならではの「トランスミッションライン」は Twenty シリー

ズにも採用され、サイズを超える重低音が再現されます。トランスミッションラインの開口部は前面下部に設けられ、設置がやりやすくなっています。



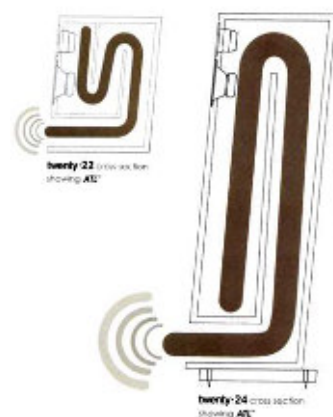
搭載されているツイーターは高級家庭用モデルの Fact シリーズと同じ SEAS 社との合同開発によるソフトドーム型が採用されていますが、口径は異なります。ウーファーは Twenty 21 に 140mm、Twenty 22 では 170mm 口径の軽量コーン型が採用されています。このウーファーユニットは Twenty Series 専用として開発されています。ネットワークには PMC 全商

Twenty シリーズではサラネットの取り付けが「マグネット方式」となりツイーターとトランスミッションラインの開口部にグリルが設けられ、サラネットを外した状態でも良好な外観と高い安全性を保ちながら音楽を再現することができます。



スピーカー 音質比較

FOCAL Aria Series PMC Twenty 24



トランスミッションライン構造図

PMC Twenty 24 音質テスト



Michael Jackson/ アルバム：ヒストリーパス
ト、プレゼント・アンド・フューチャー
ブック 1/ 曲：Billy Jean

低音の量感はそこそこですが、膨らまず引き締まっています。高音は明瞭ですが、輪郭に髭が付いたように少しチャラチャラしています。マイケルの声は抑えめで、ニュートラルからやや重い感じです。余計な響きの少ない、無駄のない美しい音でマイケルが鳴ります。全体的に知的な印象で精密に組み立てられた音楽を聞いている感覚です。弾けるような煌びやかさや派手さはないのですが、聞いていると不思議に身体の奥が熱

くなります。車に例えるなら、ドイツ車の乗り味に似ているでしょうか？音はクールですが表現は決してクールではない。決められた枠の外に出ることなく、その範囲内で安心して弾けられる感覚でマイケル・ジャクソンが鳴りました。



Nora Jones/ アルバム：Come Away With Me
曲：Cold Cold Heart

ウッドベースの一番低い部分、空気が静かに揺れるような「ウッドベースの胴の音」ができていません。スペック上はかなり低い周波数まで再生されるTwenty24 ですが、低音が少し軽くまた若干希薄な感じがします。セットで40万円強の実売価格を考えるならば、中高音は合格ですが低音はもう少し出て欲しい感じです。しかし、低音が少し薄いのは試聴にPM14S1を使ったのも原因しているかも知れません。

ピアノはプレゼンス、音色の色彩感共に美しく、カラフルなサウンドです。ノラの声は適度に湿っていて、女性らしい色気も感じます。

マイケルではほんの少し大人しく感じた音でしたがノラ・ジョーンズでは湿り気を感じさせながらも、明るくチャーミングな音に感じられます。JazzとPMCのマッチングは思ったよりも優れていて、緻密でクールな表情ながらもチャーミングな音でノラ・ジョーンズが鳴りました。



Hilary Hahn/ アルバム：Violin Concertos 曲：Bach Concerto

Marantz の 14S1 のセットを他メーカーの製品と比較するならば、音のバランスと音楽のナチュラルな再現性に優れていると思います。

「ステージの大きさ」はもう少し頑張っ欲しい感じもありますが、録音に問題のある「グラムフォン」のソフトでこれくらい音が広って、楽器の音がほぐれて鳴れば十分音楽を楽しんでいただけたと思います。コンサートマスターと伴奏、バイオリンとチェロ、コ

ントラバスの対比も正確に再現される理知的で整理された音がバッハという曲に実に良くマッチして、納得の音質でコンチェルトを楽しむことができました。

総合評価

PMC TWENTY24 は決して音が明るいスピーカーではありませんが、Marantz 14S1 との組み合わせでは意外にそれが明るく快活に良く鳴ります。国産コンボの最も弱い「音楽のバランス」に優れているのが 14S1 の最大の魅力だと思います。外観の美しさに見合う音の良さと、デザインセンスの高さに見合う音楽的なバランスの良さを合わせ持った良いコンボだと思いました。Twenty24 は、スペックから想像するほど低音が「ゴリゴリ」出てくるスピーカーではありませんが、ゆったりと広がる低音（オルガンや交響曲の低音のような）

はスペック通りにシッカリ出てくる感じです。たった170mm の口径のウーファーを使う 2Way 方式から、ここまで低い周波数を再現できるのは PMC オリジナル技術、トランスミッションラインのなせる技です。2Way のまま低域の周波数帯域を広げるメリットは、中高域のきめ細やかさと音質感の高さ、音色の調和の素晴らしさに表れます。下手なマルチウェイスピーカーでピアノを再現すると、各帯域での「楽器の音色」が変わってしまい一体「どのメーカーの楽器が使われているのか？」判別できないことがあります。このよう

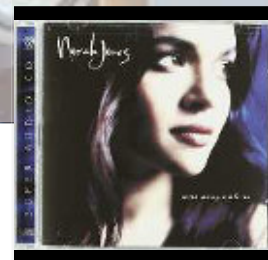
なスピーカーでは音楽が正確に再現されず、生演奏とはまったく異なる感覚で音楽が再現されてしまいます。その点、帯域分割を一度しか行わない 2Way という方式と、27mm と 170mm というユニット口径の近さ（口径が近ければ近いほど再生される楽器の音色が調和しやすくなります）から得られる PMC ならではの「精度の高さ」には、何時この製品を聞いても舌を巻かれます。オーディオ機器をあくまでも「録音の正確な再現」と考えるなら、PMC を超えるスピーカーはないと確信します。

Focal Aria926 音質テスト



Michael Jackson/ アルバム：ヒストリー・バスト、プレゼント・アンド・フューチャーブック 1/ 曲：Billy Jean

Twenty24 とくらべスベックではかなり見劣りする Aria926 ですが、実際に聴いてみると低音の量感が大きく増してベースが前に出てきます。Aria926 だけを聞いているときはあまり意識しなかったのですが、TWENTY24 と聞き比べると「バスレフ部分の膨らみ」がはっきりと聞こえます。また中音のやや低い部分に若干の曇りを感じますが、この部分がエンクロージャー（箱）の鳴きが見事に制御された PMC



Nora Jones/ アルバム：Come Away With Me 曲：Cold Cold Heart

Twenty24 ではやや物足りなかった、ウッドベースの低音が



Hilary Hahn/ アルバム：Violin Concertos 曲：Bach Concerto

明るく楽しい音で、快活にバッハが鳴ります。しかし「箱鳴き」のためなのか、空間の濁り（濁った響き）は、Twenty24 よりも若干増したようです。バイオリンの音はしなやかで優しく

TWENTY24 とバスレフ方式を採用する Aria926 の違いでしょう。しかし、その膨らみは音質を損ねるほどのものではありません。またこのような良い響きはアンプのラウドネススイッチの働き、音楽のボリュームを増加させる方向に働きますから音量を絞った時に中低音が痩せないという魅力が出ると思います。マイケルの声は Twenty24 とほとんど同じ音量（このソフトは全体的にマイケルの声が小さめ）でぐいぐい前には出ませんが、高音の切れ味と明瞭感では Aria926 が Twenty24 を上回ります。これは、ツイーターの振動板に金属が使われているか（Aria926）布が使われているか（Twenty24）の違いでしょう。もちろんそれぞれ一長一短あり、どちらが良いとは断定しかねます。全体的な音の出方は構成が似ている B&W の CM Series に近い方向ですが、Aria926 は B&W よりも中低音の量感が豊かで（中低音に適度なサービス感がある）、高音も B&W よりもしなやかで暖かい印象です。

Aria926 ではしっかり再現されます。また、低音が増えたことで雰囲気の高さ、空気感まで感じられます。Twenty24 で聞くノラ・ジョーンズは、ステージで歌っているノラをやや離れた場所で聞いている感覚でした。Aria926 ではそれが目の前でライブを聴いている感覚に変わります。SA/PM14S1 と Twenty24 の組み合わせもそれほど悪くありませんでしたが、Aria926 との組合せはそれをグッと上回り、まるで違う CD プレーヤーと

暖かい雰囲気です。チェロとバイオリン、コントラバスの対比は Aria926 を Twenty24 が超えていましたが、低音の量感と音の広がりでは Aria926 が Twenty24 を凌駕します。ただ、この低音の量感や音場の広がり感、組み合わせるコンボ（アンプ）との相性や、部屋の広さや環境などのルームアコースティックに大きく影響されますから、今回の評価は「相対的なもの」とお考え下さるほうが安全だと思います。PMC が明らかに focal より優れているのは、楽器の倍音の緻密さです。Twenty24 で聞く弦楽器の倍音は、

Aria926 の奏でる音楽は、フランス料理のようです。「バター」の濃さは中低音のしっとりした量感、香りの良さは高音の切れ味に相当するでしょう。やや濃くねっとりした音ですが、食事と違い音はそう言うものを聞き続けても身体に害がなく、胸焼けもしません。だからこういう脂っこい音は、特性を重視するあまり痩せてしまった音しかでないスピーカーよりも断然良いと思います。高音がたくまろやかなのも、神経質にならず良いと思います。マイケルジャクソンを聞いていて、時々「静」と「動」の対比を強く感じます。それはマイケルが時には神経質なまで精密に音楽を組み立て（静）、また時に驚くほどの躍動感（動）でそれを弾ませるからでしょう。この対比の大きさはマイケルならではのようです。PMC はマイケルの魅力を「静方向」から、Focal は「動方向」からそれぞれ引き出したように感じました。

アンプを聞いているように感じました。文句なしによい音です。また、この鳴り方から想像すれば、B&W と SA/PM14S1 の組み合わせも悪くはないはずです。ピアノの響き方、ノラ・ジョーンズの息吹、そういう「ブラサルファ」が加わった、色っぽく厚みのある暖かい情緒豊かなサウンドでノラ・ジョーンズを艶やかに楽しめました。

まるでパイ生地のようにみっちり重なり合っているように感じました。それに比べると Aria926 が奏でる倍音は数が少なく、パイ生地がバームクーヘンに変わるイメージです。響きの密度感も Twenty24 が Aria926 を上回り、価格差とPMCの精度の高さを感じさせられました。しかし、音場の広がり感やコンサートホールの雰囲気は、Aria926の方が「それらしく」再現されるので、どちらが良いと判断することができません。好みやコンボ、部屋の音響特性とのマッチングでお選びいただければと思います。

総合評価

最近一時ほどの「売れ筋」ではなくなった PMC の原因は「デザイン（外観）」が原因ではないかと感じています。それは、65 万円（ペア）の Twenty24 が 2Way 2Speaker なのに対し、約 40 万円（ペア）の 926 が 3way 4Speaker と見た目の豪華さが明らかに違うからです。しかし、スピーカーの性能を考えるとたった二つのユニットから 28-25000Hz の非常に広い再生周波数帯域を実現する Twenty24 のスペックは、他のスピーカーを圧倒していることがわかります。例えば、今回比較した Focal Aria 926 はよりサイズが大きく 4 つのユニットを搭載するにもかかわらず、45-28000Hz と再生周波数の下限が Twenty24 よりもかなり高くなっています。「低域（再生周波数帯域の下限）」を比較するなら、Aria 926 の上級モデル Electora 1028BE は 34Hz、B&W 802Diamond でさえ 34Hz ですから Twenty24 がいかに優れたスペックを持っているかわかります。Twenty24 が 2Way の小型トールボーイデザインにもかかわらずこれほど低い周波数まで再生できるのは、PMC 独自の「トランスミッションライン」方式を採用しているからです。「トランスミッションライン」とは、キャビネット内部に仕切りを設けることでユニットとキャビネットのサイズを超える優れた低域再生方式ですが、PMC はそれを採用するため角張った四角い形状から逃れられないのです。結果として PMC は価格を超える優れた音質を持ちながら、他社製品のように現在のトレンドである曲面を「外観に使えない」問題を抱えます。しかし、柔らかな曲面が流行しつつある一般的なスピーカーの「デザイン有利性」に逆行してまで、

2Way という最小のユニット数での再生周波数帯域拡大にこだわる PMC には、2Way ならではの「小型キャビネット採用による余計な響きの少なさ（音場の透明感の高さ）」と「帯域分割が少ない 2Way 方式による質感の高さ（録音された音に最も近い音質を持つ）」が魅力です。この他社スピーカーにない独自の魅力を持つ Twenty24 は、今回の試聴でも磨き抜かれた音の美しさで Aria926 を圧倒しました。では Aria926 は、Twenty24 に劣るのでしょうか？それは、また違っています。オーディオは絶対性能ではなく、好みで選ぶものだからです。最近私は「オーディオ機器は響くべきである、オーディオ機器の作る響きは音楽そのものである」と主張していますが、Aria926 はこの考えにうまく当てはまります。スペック上の再生周波数帯域こそ Twenty24 に敵わない 45Hz ですが、箱が響くことで Aria926 の「低音感」は TWENTY24 を凌ぎ、ウッドベースの音などはよりそれらしくリッチに聞こえました。また、キャビネットの響きに助けられ、音の広がり感や躍動感も秀でています。スタジオモニターとして音楽評価に使うのではなく、家庭用として音楽鑑賞にスピーカーを使うことを考えるならば、Aria926 のほうが Twenty24 よりも満足度は高くなるでしょう。Focal と同じ設計思想から生み出された、イギリスを代表するモニタースピーカー B&W 製品と Aria 926 を比較するのであれば、Aria926 はよりカジュアルで情緒豊かなサウンドに仕上げられています。これはイギリス人とフランス人の違いが音に現れていると考えられま

す。理詰めのイギリスの音が B&W で、リベラルで情緒的なフランスの音が Focal です。また、B&W よりも明るく楽しい音で音楽を聞かせてくれるイタリア Sonus Faber の新製品 Venere との比較では、Aria 926 の響き（キャビネットの響き）がより高密度で上質に感じます。それは、もしかすると“SonusFaber: Maid in China”, “Focal: Maid in France”の差が音に出るのかも知れませんが、あるいはユニットそのものから製造する Focal の技術力の高さによりなせる技なのかも知れません。逸品館がお薦めするヨーロッパのスピーカーブランド、PMC、B&W、Focal のそれぞれの違いを「布生地」に例えましょう。PMC は「ファインシルク」、音の表面はきめ細かく滑らかで触れると一瞬冷たく感じますが、それに慣れると懐の深い暖かさを感じられます。B&W は「ファインコットン」、からりとしてさっぱりした肌触りの良い音で PMC より乾いた音です。Focal は「カシミア」でしょうか、ふわりとした肌触りの軽さを持ち、身体を芯から温めてくれる HOT な音質です。Focal 新旧の比較では、Aria Series は従来モデルよりもエンクロージャーの響きが増しているように感じます。大型スピーカーのような大らかでゆったりとした鳴り方はとても魅力的です。名器と呼ばれるスピーカーの一つに Tannoy Arden がありますが、Aria926 の中低域のボリューム感と高域の明瞭度感の高さから感じる魅力は、Arden を上手く鳴らせた音に共通するように思いました。Aria 926 はフランス製品らしく、スイートで色気のあるスピーカーでした。

スピーカー 音質比較

FOCAL New Chorus 700 Series

FOCAL Chorus 726

希望小売価格 ¥256,000 (RW・WNペア)

希望小売価格 ¥276,000 (BHG・ペア)

形式: 3Way・パスレフ方式 ●ユニット: 高域:
25mm/TNF.AL.MGL 逆ドーム
中域: 165mm×1、低域: 165mm×2
●能率: 91.5dB/2.83V/1m ●クロソーパー:
300Hz/3000Hz ●周波数特性: 49-28kHz ●イン
ピーダンス: 8Ω ●サイズ: W222×H990×D343
(mm) ●重量: 23.5Kg(1台) ●仕上げ: RW: ロー
ズウッド WN: ウォールナット BHG: 光沢ブラッ



New Chorus 700 Series の特長

実質主義

多くのスピーカーメーカーは、自社製品に使用するスピーカー・ユニットを ScanSpeak などのユニット専門メーカーから供給を受けています。あるいはユニットメーカーと共同で OEM ユニットの開発を行い、それを使います。Focal 社は自社製品に使用するユニットの設計・製造を自で行える、数少ないスピーカーメーカーの一つです。NewChorus700Series にも、Focal が設計・製造する"Made in France"の Focal 自製ユニットが採用されます。さらにキャビネットの設計、外観デザイン、アッセンブリーを含めすべてがフランスで生産される、NewChorus700Series は「100% Made in France」の製品です。

"France" と聞けば、フランス料理やパリコレなど、ファッションや料理を思い浮かべ、優れた工業製品を輸出しているイメージはありません。しかし、今を去る約 130 年前の 1887 年に"エッフェル塔"を建設し、世界で唯一の超高速旅客機"コンコルド"をとばし、超特急鉄道"TGV"を走らせるなど、欧州でもその技術力はトップレベルにあります。車に目を向けると、ドイツやイギリスがベンツ、BMW、ロールスロイスなど高級ブランド車を生産するのにに対し、フランスはプジョー、ルノー、シトロエンなどの大衆車を得意とするなど、生み出す製品の性格が異なります。Focal のスピーカーも「実質主義」を引き継ぎ、イギリス B&W よりも安くても良い製品を市場に送り出しています。「実質主義」を標榜する Focal 社と「安くてもいい!それが大阪」をモットーとする逸品館には、どこか共通点を感じます。そういう「大阪の実質主義眼」で Focal を見れば、実に巧みな設計とデザインが行われている事に気付きます。

Focal 社のスピーカーは、最上級モデルは振動板に「ベリリウム」が、Aria/Chorus には「アルミ・マグネシウム合金」が振動板に使われる、自社製の逆ドーム型ツイーターが使われます。NewChorus700Series には、彼らが"TM2"と名付けた、最上級モデルで培われたノウハウにより設計された特殊なサスペンションを持つアルミ・マグネシウム合金製逆ドーム振動板を採用する 25mm 口径ツイーターがすべてのモデルに使われています。この優れたツイーターの採用により、NewChorus700Series の全モデルは、このクラスのスピーカーの水準を超える細やかで色彩感のある艶やかな高域を再現します。



キャビネット

Chorus には 25mm 厚の MDF キャビネットが使われています。フロントパネルはそれよりも強固に

対策され、不要な定在波を発生しない非並行型キャビネットが採用されています。後ろに向かってスピーカー幅が狭くなる非並行サイドパネルを Focal は、すでに 30 年以上前から採用しています。キャビネット内部には、共鳴と共振の抑制、キャビネット強度の向上を目的とした「リブ (内部補強材)」が使われています。優秀なキャビネットを与えられた Chorus は、このクラスのスピーカーの水準を超える量感と密度感を兼ね備えた、良好な低域を再現します。

ツイーター



ウーファー

Chorus700Series のウーファーマテリアルは、Aria に採用された 0.04mm のグラスファイバーで 0.4mm の植物繊維系素材をサンドイッチした "F Sandwich Cone" でなく、従来と同じグラスファイバーと高分子樹脂素材が組み合わされたコーン紙が使われます。ウーファーマテリアルの口径は 130mm/165mm の 2 種類、さらに口径 165mm のミッドレンジユニットが準備され、モデルによりそれらが単独で、あるいは組み合わせられて使われます。軽く強度が高く適度なダンピングを持つ、New Chorus のウーファーはレスポンスに優れ、音楽を楽しく弾ませます。

NewChorus700Series の入力端子は、バナナプラグ対応シングルワイヤーです。トールボーイ型の 714/716/726 には高さ調整可能なスパイク (先端保護キャップ付き) とスパイクを使いたくない時に、スパイク用ねじ穴に取り付けて使える小さなゴム脚が付属します。



入力端子 (左)/付属品 (右)





使用した機材



Marantz PM8005



Marantz SA8005



audioquest Red Rever

Aria Series のラインナップと主な仕様

FOCAL
Chorus 705

形式：2Way・バスレフ
方式●ユニット高域：
25mm/TNF ALMGL 逆
ドーム 中・低域：
130mm×1●能率：
89dB/2.83V/1m●クロスオーバー：
3000Hz●周波数特性：
65-28kHz●インピーダンス：
8Ω●サイズ：W190×H
315×D227mm●重量：
5.7Kg(1台)●仕上げ：RW/WN/BHG

希望小売価格 ¥86,000 (RW・WN・ペア)

希望小売価格 ¥98,000 (BHG・ペア)

FOCAL
Chorus 706

形式：2Way・バスレフ方式●ユニット：
高域：25mm/TNF ALMGL 逆ドーム
低域：165mm×1●能率：90 d
B/2.83V/1m●クロスオーバー：
3000Hz●周波数特性：55-28kHz●イン
ピーダンス：8Ω●サイズ：W220×
H390×D263(mm)●重量：8.2Kg(1台)
●仕上げ：RW：ローズウッド WN：
ウォールナット BHG：光沢ブラック

希望小売価格 ¥106,000
(RW・WN・ペア)希望小売価格 ¥120,000
(BHG・ペア)FOCAL
Chorus 714

形式：2.5Way・バスレフ
方式●ユニット：高域：25mm/TNF ALMGL 逆ドーム 中域：
130mm×1、低域：130mm×1●能率：91 dB/2.83V/1m
●クロスオーバー：300Hz/3000Hz●周波数特性：
52-28kHz●インピーダンス：8Ω●サイズ：W200×H
900×D268(mm)●重量：16Kg(1台)●仕上げ：RW：ロー
ズウッド WN：ウォールナット BHG：光沢ブラック

希望小売価格 ¥170,000
(RW・WN・ペア)希望小売価格 ¥192,000
(BHG・ペア)希望小売価格 ¥212,000 (RW・WN・ペア)
希望小売価格 ¥234,000 (BHG・ペア)

形式：2.5Way・バスレフ方式●ユニット
高域：25mm/TNF ALMGL 逆ドーム 中域：
165mm×1 低域：165mm×1●能率：91.5 d
B/2.83V/1m●クロスオーバー：300Hz/3000Hz●
周波数特性：50-28kHz●インピーダンス：8
Ω●サイズ：W221×H950×D308(mm)
●重量：20.5Kg(1台)●仕上げ：RW：ローズウッ
ド WN：ウォールナット BHG：光沢ブラック

FOCAL
Chorus 716

Focal New Chorus 726 音質テスト



Hilary Hearn "Bach Concerto"

上級モデルの Aria926 と比べると、Chorus726 はよりメリハリが強く音質がクッキリしています。また音色が Aria よりも明るく、全体的に快活な印象を受けます。音場も大きく広がり、立体感に富ん

出すような音で第一楽章が聞けました。

続けて聞く第2楽章は第1楽章の快活さとは逆に、静かで情緒的な沈み込みが求められます。コントラバスのパートは重厚で深く鳴りますが、暗くなりません。バイオリンソロのパートの音色は繊細で女性的ですが、強い憂いを秘めるような音ではありません。十分に情緒的ですが、その中に女性的な優しさと明るさを感じさせる音で第2楽章をさらりと鳴らしました。

Chorus726 は明るく快活で人気の高い B&W と同じ方向性の HIFI 基調の明瞭なサウンドが特長ですが、フランス製品らしく B&W より明るく、独特な艶を持つ音色で音楽を情緒的なテイストを込めて鳴らしました。



Madonna "The Immaculate Collection" から Like a Virgin

この曲では新しく採用された "INV2" ツィーターの良さが光ります。

高域の切れ味が抜群で、一皮むけたような明解で楽しい音。ボーカルは抜けが良い。

く、発音のはっきりと聞き取れ、その内容に説得力があります。ベースラインも膨らまずリズムカラムにベースが鳴り、打ち込みの音もクッキリと鮮やかに彩りを添えます。

高音、中音、低音の各パートが明解に分離され、正しくハーモニーを奏でるので音楽が実に楽しく躍動します。細かい説明など不要な、聞かばすぐにわかる楽しい音でマドンナが鳴りました。

でいます。低域も膨らみません。

弦楽器の高音は Aria よりややきつく、金属的に感じられますが決して不愉快な音ではありません。メリハリが効く高音は、一小節、一小節の区切りを明解で元氣よく奏でバツハをリズムカラムに鳴らします。バイオリン、チェロ、コントラバスの分離も非常に明解でわかりやすく、音楽に合わせ身体が動き



orange pekoe "10th Anniversary Best Album SUN&MOON" から やわらかな午後

マドンナでリズムラインが歯切れ良く鳴ったように、この曲でもシンバルやドラムが綺麗に鳴りま

す。
Chorus726 の高音は、ViennaAcoustics のようなデクスタイルドーム型ツイーターを採用するモデルと比べると、確実に芯が強く明瞭で明解です。確かにクラシックギターの音がやや「金属弦」を使っているように硬く、響きもやや硬質に聞こえることがありますが、一般的な金属ツイーターよりも音は流暢で艶があります。また、同じメタルドーム型ツイーターを搭載する B&W と比べると、その高音には艶がありエッジ

も必要以上に立たずボーカルの子音が不要に荒れません。
3 曲を続けて聴きましたが、その明瞭で明瞭、明るくて快活な性質はジャンルを問わず変わりませんでした。実際に音楽を楽しく聞かせてくれるスピーカーだと思います。スベックこそ控え目ですが、低音も驚くほど良く出ますし、HiFi〜シアターと用途を問わず、またジャンルも問わないその性格は家庭用としてベストに近いと思います。

Focal New Chorus 716 音質テスト

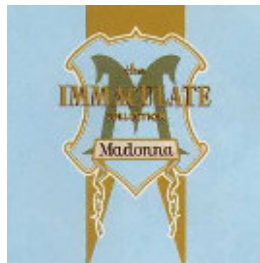


Hilary Hearn "Bach Concerto" 今回届けられた Chorus 700 Series の試聴機は、726 は「突き板仕上げ」、716 は「ピアノブラック（ブラックハイグロス）塗装 + レザー仕上げ」と外観が違います。通常スピー

カーの音色は、表面に薄く張られる突き板の材質だけではそれほど大きく変化しませんが、ユニットの音をダイレクトに反射するパッフルが硬質な突き板から、軟質なレザーに変わると音が変わるはず。Chorus716 はその影響か、726 に比べ高音が僅かに柔らかく柔軟に感じられます。弦楽器の高音も 726 よりも少し柔らかく、より有機的な色合いを濃く感じますが、それは耳をそばだてて注意深く聞き比べて始めてわかるほどの小さな違いですから、仕上げと音質の違いにそれほど神経質になる必要はなさそうです。

しかし、見た目の印象は突き板仕上げとピアノブラック&レザー仕上げで高級感にかなり大きな差を感じます。2色用意される突き板仕上げは木目も美しく上質ですが、表面に使われているウレタン系?のクリア塗装の影響か、表面がビニールコートされているようにも見えます。コートが厚い分耐候性には優れるのですが、オイルフィニッシュのような自然な木の質感がやや薄くなっています。見た目の印象を大切

になさるなら、ピアノブラック&レザー仕上げのブラックハイグロスモデルの高級感がより高くお勧めです。
肝心の音質ですが、926 と比べて最低域の量感が僅かに減じられているものの、音楽を聞いている限りスピーカーが一回り小さくユニットが一つ少なくなった影響はほとんど感じられません。音調や分離感、立体感にもほとんど差がなく、ヒラリー・ハーンを聞く限り 716/726 は、「どちらでも良い」というのが正直な感想です。



Madonna "The Immaculate Collection" から Like a Virgin

ヒラリー・ハーンではそれほど違いを感じなかった 716/726 の違いが、この曲でははっきりします。パッフルに貼り付けられた人工皮革の効果でしょう。うか?マドンナの声が一段と柔らかく、女性らしい肉付きの良さを感じさせる音に変わります。より肉声に近くなるイメージです。打ち込みのシンバルの高音も立ち上がりのアタックは少し優しくなりましたが、余韻が滑らかに後を引きリズムが流麗になりました。

ウーファーが一つ減り、キャビネットが小さくなったにもかかわらず低音（ベース音）の量感や音階の明瞭度は、726 とほとんど変わりません。逆に 726 よりも聞こえない領域に近い重低

音の量感が少なくなった分、マンションなどの音漏れが気になる場面では使いやすくなっていると考ええます。
726 の突き板仕上げのメーカー希望小売価格 ¥128,000 (税別・1 本) と 716 のピアノブラック&レザー仕上げのメーカー希望小売価格 ¥117,000 (税別・1 本) とその差は僅かです。音の差も非常に小さく、仕上げの好みもありますが、私は迷わずウーファーが一つ少なく、より使いやすいであろう Chorus716 を選びます。この曲でも 716 と 726 の低音の違いはほとんど意識されません。逆に余韻は低音が無くなった分だけ、中高域の透明感と分離感がさらに上昇しているようにさえ感じます。



orange pekoe "10th Anniversary Best Album SUN&MOON" から やわらかな午後

726 で少し気になったギターの金属的な感じが緩和されていますが、このあたりパッフルの材質差が出ているのかも知れません。パーカッションは若干湿っぽくなりますが、ボーカルはより柔らかく人間が歌っている肉声に近く感じます。仕上げにより音が多少違うことを考慮して、ボーカル系のソースならピアノブラック&レザー仕上げ、器楽曲系のソフトがメインなら突き板仕上げ、とお聞きになる音楽のジャンルで仕上げを選ばれるもの良さそうです。

Focal New Chorus 714 音質テスト



Hilary Hearn "Bach Concerto" Chorus 700 Series が見事だと思えるのは、使用するユニットの口径とキャビネットの容量が変わっても、スピーカーの基本的な性能や音色がほとんど変化しないことです。前 Chorus Series がそうであっ

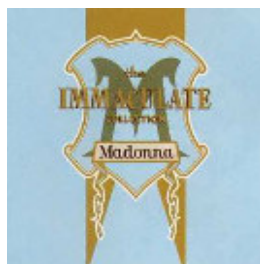
たように、口径が異なるサイズのウーファーやスコーカーを同一のツイーターと組み合わせるときには、再生される楽器の質感や音色が変わり、モデル毎に特長が出ます。それが大きいと善し悪しに変わりますが、前作では感じられたその善し悪しが漸進型の Chorus 700 Series ではトールボーイ 3 機種を聞き比べる限り、感じ取れません。

しかし、716 の 165mm から 714 で 130mm とサイズダウンされたスコーカーとウーファーの影響が音に顕著に現れます。バイオリンの音が少し細くなり、コントラバスの音がチェロに近くなりました。コンサートホール、楽団、楽器のサイズが少し小さくミニチュア的に感じられます。ユニットとキャビネットのサイズダウンと正確に比例して、楽団が縮小されました。

しかし、その縮小スケールは非常に正確なので、しばらく聞いているとサイズダウンが気にならなくなります。8 畳以下

のお部屋でスピーカーを選ばれるなら、またどちらかと言えば小音量で音楽をお聞きになれることが多いなら、ユニットが小さくキャビネット容量も少ない 714 をお選びになることで、上級モデルよりも「精緻」に音楽をお楽しみいただけると思います。

714 はトールボーイと言うよりは、ブックシェルフに近く、濁りがより少なく癖もないニュートラルなサウンドでヒラリー・ハーンを鳴らしました。



Madonna "The Immaculate Collection" から Like a Virgin

低域はしっかりと弾みますが、ボリューム感は減少しました。ボーカルも一回りスケールダウンして、可愛くキュートな声になりました。中低域の力感とボリューム感が若

干低下しますが、帯域内でのバランスは向上しています。716/726 はボリューム豊かなライブサウンドでマドンナを鳴らしました。714 はそれよりも引き締まった、Studio の緊張感を伴う音でマドンナを鳴らします。

Focalらしい艶と上々に溢れる 716/726 に対し、B&W の持ち味である理知的な感覚を少し強くしたモデルが 714 です。



orange pekoe "10th Anniversary Best Album SUN&MOON" から やわらかな午後

この曲でも 714 は、716/726 が持っていた「空気が動くようなリアルなライブ感」が薄くなっています。

716/726 は身体を包み込むようなリッチな音場を実現し、ライブを聴いているイメージでこの曲を鳴らしました。それらと比べると 714 は、間接音よりも直接音のエネルギーが強く「場の雰囲気」よりも「楽器の存在感」がより強くなります。その結果、イメージがライブからスタジオへと変化します。

トールボーイの 3 モデルを聞き比べて、726 が最もライブ感と雰囲気感が濃く、716 はそれに続きます。714 はこの 2 機種とは少し違って、スタジオで音楽（演奏家）と対峙しているような、モニター音が強くなります。

私は、ライブ感とスタジオ感の両方を「中庸」ではなく「両立」させている 716 がトールボーイで最もお勧めだと思いますが、リスニングルームの大きさ、音楽をお聞きになる音量、現在お使いの装置との相性、お好みの音楽のジャンルなどに合わせて、マッチするモデルをお選び頂ければと思います。

Focal New Chorus 706 音質テスト



Hilary Hearn "Bach Concertos"
2Way スピーカーのウーファーク径が 100mm を超えるとツイーターのつなぎ目に異質な感じが覚えることが多くなるのですが、165mm という大口径のウーファを搭載するにもかかわらず、706 のツイーターとウー

ファの繋ぎの良さには驚かされます。
NewChorus700Series のスペック表を見ると、モデルにかかわらずツイーターは 3000Hz、ウーファは 300Hz でオーバーラップされていますが、通常同じ口径のユニットを使った場合でも、モデル毎にオーバーラップする周波数（クロスオーバー周波数）は変えられているのが普通です。Focal でも上級モデルの Aria ではモデルに応じてクロスオーバー周波数が変えられています。Chorus でそれを変えていないのは、「面倒だった」からではなく、「変える必要がなかった」からと考えます。
706 を聞いてみると、搭載する 165mm 口径のウーファが上限の 3000Hz までしっかり高域を再生していることがわかります。多くの場合、ウーファの口径が 100 ~ 130mm を超えると高域の音色が鈍くなり、ツイーターの鋭い音と質感（周波数特性ではなく）が繋がらなくなることが多いのですが、NewChorus700Series がウーファに採用するグラスファイバー樹脂ハイブリッドユニットは、通常のウーファが再生できない高域まで歪みなく再生することが可能で見事にツイーターと繋がります。さらに新型「INW2」ツイーターは、クロスオーバーが設定される下限の 3000Hz よりもさらに低い周波数でも歪みなく再生する能力を持っているはずで

す。3000Hz 一定”というネットワークの数値は、Chorus が採用したウーファ / スコーカーがその周波数よりも余裕のある下限 / 上限を再生可能な非常に優秀なユニットである証だと思います。

706 は大口径ウーファを採用する 2Way とは思えない自然な音の繋がりが魅力です。低域はトールボーイの 714 とそれほど変わらなく感じたので、スペック表で確認すると 714/43Hz・706/47Hz と僅差でしたが、再生される低域もほぼその数字に比例し、706 でもコントラバスのパートがきちんと再現されます。

精緻さや立体（定位）感の正確さで、キャビネットが大きいトールボーイはブックシェルフに一歩譲ります。また、714 からユニットの数が 3 つから 2 つに減り、ネットワークによる帯域分割数が 1 つ減ったことで、706 は 714 よりもさらに自然で深みのある音を出しました。

706 は外観こそブックシェルフですが、その枠を超える帯域再現能力と、音楽表現能力を持つ良いスピーカーです。



Madonna "The Immaculate Collection" から Like Virgin

165mm の大口径ウーファを搭載する威力で、低域がしっかりとリズミカルに弾みます。十分な量感のある低域が再現され、ブックシェルフ型スピーカーを聞いているとは思

えません。また、714 ではやや細身に感じたマドナの音が 706 で再び太さを取り戻しました。また「キャビネット（エン

クロージャー）の紙のような低級な響き」はまったく感じられず、価格以上の質感の高さを実感できます。

これまでの経験では、2Way スピーカーに使われるウーファの口径は 130mm が最も良好で、それ以上大きくなると音が鈍くなりました。しかし、新しい Chorus Series は良い意味で例外です。706 は搭載する 165mm ウーファとツイーターの繋がりが良好で、その段差をまったく感じさせません。もしかすると 130mm 口径ウーファを搭載する 705 よりも繋がりがよいのかも知れません。それはこの後で試聴する 705 を聞けばわかるでしょう。706 は価格と外観から受け取れるイメージを超えて、とても良くできたブックシェルフスピーカーでした。



orange pekoe "10th Anniversary Best Album SUN&MOON" から やわらかな午後

イントロ部のベースの低音の量感と密度の高さに驚かされます。Tiglon のスタンドとの相性にも優れ

るのかも知れませんが、このクラスのブックシェルフとは思えないほど豊かな低域が出ます。

バスレフによる低域に膨らみや遅れも感じられず、キャビネットもしっかり作られているのでしょう、不要に膨らんだ響きも感じられません。

2Way の良さと伴奏との分離に優れ、実に自然な声でオレンジ・ペコが歌います。伴奏とボーカルのタイミングもピッタリと合い、リアルで楽しいサウンドでオレンジ・ペコが鳴りました。

Focal New Chorus 705 音質テスト



Hilary Hearn "Bach Concertos"
714 で感じたように、ウーファの口径が 130mm だと弦の音が少し細くなります。しかし、低音は意外にしっかり出てきて、コントラバスのパートもきちんと再現されます。

706 よりも一回り小さい

705 ですが、それでも小型スピーカーと聞いて我慢しなければならぬ部分はほとんどありません。高音も澄み切って美しく、弦楽器の倍音が鮮やかに再現されます。

全帯域での音速感が統一され、見事な低音、中音、高音のタイミング感の一致に小型口径のウーファを使うメリットを感じます。しかし、706 は 165mm 口径の大型ウーファを搭載するにもかかわらず音速を見事に統一していましたから、705 では 706 よりも中音が痩せ（厚み感の低下）することが気になりました。

一般的な他社製品と比べると水準以上の出来でとてもよい音なのですが、706 の 165mm ウーファのゆとりある音を聞いてしまった後は、設置場所さえ許すのであれば 706 を使いたいと思いました。



Madonna "The Immaculate Collection" から Like Virgin

705 と比べ明らかに低域が不足し、打ち込みのベースの音量が小さくなりました。

歯切れ良く、はっきりした音ですが、エネルギー感や躍動感も 706 からか

なりダウンします。

705 のピアノブラック&レザー仕上げモデルは、外観も美しくデザインにも優れています。しかし、706 との価格差を考えると 706 が買い得に思えます。また、706 ではサイズが大き

ざると感じられる場合には、705 よりも小さいサイズで音の良い PMCDB1 や、割り切った低域に魅力を感じる AIBOW IMAGE11/KAZ などをお薦めします。



orange pekoe "10th Anniversary Best Album SUN&MOON" から やわらかな午後

イントロ部の低音は、思ったよりもシッカリ出ます。ボーカルはやはり少し線が細く、さらに悪いことに力強さが失われました。

綺麗な音ですが、706/716/726 が持つような力強さ、躍動感の強さが感じられず、しょぼしょぼ鳴っているイメージです。

Chorus700Series のお薦めは、165mm 口径ウーファを搭載する 706/716/726 の 3 モデルで決定です。

また、716/726 をフロントに使うサラウンドをお考えの場合、リアスピーカーには同じ 165mm 口径のユニットを搭載する 706/714/726 が音色が統一されるのでお薦めです。

試聴後感想

各モデルの試聴レポートに感想を交えたので、改めて試聴後感想をお読みいただく必要はありませんが、Focal Chorus 700Series のお薦めは 165mm 口径ユニットを搭載する 706/716/726 の 3 モデルです。

この 3 モデルの音は明るく力強く、音楽を楽しく躍動させま

す。組み合わせるコンポーネントやジャンルを選ばず、わかりやすい「良い音」が出せますが、フランス製品らしい「情緒の深さ」も合わせ持ちドライになりすぎません。この点がイギリス製品の B&W との違いです。

外観の好みがあると思いますが、ピアノブラック&レザー仕

上げの質感が一段と上質に感じました。音楽を身近に楽しませてくれるオーディオ機器として、Focal 700Series は高く評価できるお薦めスピーカーです。

スピーカー 音質比較

Graham Audio LS-5/9 Cabasse EOLE3

Graham Audio LS-5/9

希望小売価格 ¥650,000 (ペア)~

形式：2Way・バスレフ方式ブックシェルフ型●ユニット：高域：34mm/ ソフトドーム 低域：200mm/ ポリプロピレンコーン●能率：87dB/1W/1m ●クロスオーバー：不明●周波数特性：50-16kHz / ±3dB●インピーダンス：8Ω●サイズ：W280×H460×D275 (mm)●重量：14Kg(1台)●仕上げ：チェリー、ローズ、エボニー



Cabasse EOLE3

希望小売価格 ¥40,000 (1台)

形式：2Way・密閉方式球形型●ユニット：高域：29mm/ ソフトドーム 低域：100mm/ ポリプロピレンコーン●能率：90dB/1W/1m●クロスオーバー：4000Hz●周波数特性：150-22kHz●インピーダンス：8Ω●サイズ：最大径130(mm)●重量：1.3Kg(1台)●仕上げ：ホワイト、ブラック



Graham Audio LS-5/9 外観と特長

今回で紹介する LS-5/9 は、LS と名付けられたイギリス国営放送局「BBC」が厳格な規格を定めた放送局仕様のモニタースピーカーです。LS-3/5a は、あらゆる音楽を芸術性はそのまにサイズだけをコンパクトに聞かせる、まるで「盆栽」のような美しく凝縮された音楽感を持ったのに対し LS-5/9 は、LS-3/5a の精密で美しい世界観はそのままに、さらにリスナーに音楽が語りかけてくるような「暖かさ」と「濃さ」を与えられたスピーカーです。

LS-5/9 の特長は LS-3/5a をそのまま大型化したようなユニット構成にあります。ウーファーには、艶・厚み・暖かさに優れる「Polypropylene」を振動板に採用する 200mm 口径のユニットが採用されています。LS-3/5a よりも大口径のウーファーとの繋がりを考え、中音の再現性に優れる 35mm の大口径ツイーターが採用されていますが、このため LS-5/9 の再生周波数特性は「50Hz ~ 16kHz/±3dB」と現代スピーカーとしてはあり得ないほど高域の再生周波数帯域が狭くなっています。しかし、これは当時の LS-5/9 のスペックとまったく同じです。



入力、バイワイヤーに対応する LS-3/5a とは違って、シングルワイヤリングです。サラネットは、はめ込まれているだけなので簡単に外れます。



AIRBOW NA8005 Studio

接続は、audioquest RJ-45G を使用



楽曲は、CD を WAV ファイルでリップしたデーターを使いました。



AIRBOW PM11S3/Ultimate



iCat HTPC Player Windows 8.1

Focal electra 1028BE 音質テスト (比較対象)

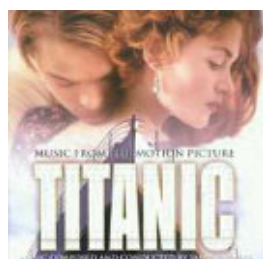
イギリスに本拠を構える Graham Audio が復刻した LS-5/9 は、果たして本来の味わいを現代に蘇らせてくれるのでしょうか？まず、今回の比較対象として選んだ「Focal 1028BE」から聞き始めました。



Focal electra 1028BE

希望小売価格 ¥600,000 (1 台)

形式: 3Way・パスレフ方式フロア型 ●ユニット:
高域: 27mm/ ベリリウム逆ドーム 中域:
165mm/ コーン 低域: 165mm/ コーン × 2 ●
能率: 91.5 dB/1W/1m ●クロソーパー:
350/2200Hz ●周波数特性: 34-40Hz ●インピー
ダンス: 4Ω (最小 3.5Ω) ●サイズ: W264×H
1100×D350(mm) ●重量: 33Kg(1 台) ●仕上げ:
バサルト、スレートグレー、シャンパーニュ



Original Sound Track "TITANIC": Never an Absolution

静寂の中からバグパイプの音が天に向かって立ち上ります。続いてド〜ンという低い音が後方に広がり、ボーカルが祈りを捧げる雰囲気

で中央にビシッと定位します。

タイタニックのサウンドトラックは、正確無比な PMC をモニタースピーカーとして作られました。聞いているスピーカーは Focal ですが、まるで PMC で聞いているような精緻な音です。

冷たすぎることはなく、明るすぎることもなく、癖のないニュートラルなサウンドで 1028be が鳴りました。



荒井由美 "MISSLIM": 海を見ていた午後

この曲は昨日同じ条件で聞き、レポートを書きました。一夜経っても印象はほとんど同じです。

本来 Focal はもう少し情感がある熱い音を出しますが、今回ソースに浸かっている PC/ ネットワーク・プレーヤーは CD と違ってよい音響(歪み)を発生しないため、音楽の表情や雰囲気(「盛る」要素)が少なくなります。USB 接続では NA8005 Studio は CD プレーヤー

とほとんど変わらない滑らかで暖かく、ヒューマニズムに溢れる音を出しますが、接続をネットワークに変えるとモニター的で精緻な音になります。聞こえてくる音は驚くほど細かく、S/N 感も高く、低音も非常に良く出ますが、少しクールな印象です。

1028be がこういう情感をやや抑えたクールな音で鳴ることを始めて知りました。



Hilary Hearn "Bach Concerto"

2 曲を聞いた後アンプのボリュームを変えずにこの曲を再生すると、かなり音が大きく聞こえます。

一般的にクラシックの演奏は Pops などと比

べて「ダイナミックレンジ (最大音量と最小音量の差)」が大きく、最大音量を基準に録音レベルを設定すると最小音量はスピーカーに耳を近づけないと聞こえないほど小さく、「普通」に録音すると Pops と比べて平均音量レベルが小さくなります。だから、このソフトのように音が大きくなるのは不自然です。

ではなぜこのソフトの音量が「大きい」のか説明しましょう。私達がもっぱらオーディオで音楽を聞く環境は、コンサートホールほど静かではありません。そのため交響曲を普通に録音すると、「弱音部」の音が小さすぎて聞こえなくなってしまいます。この問題を避けるため、レコーディングエンジニアはマスタリング時に「コンプレッサー」という機械を使って、大きな音がある程度以上大きくならないようにリミッターを入

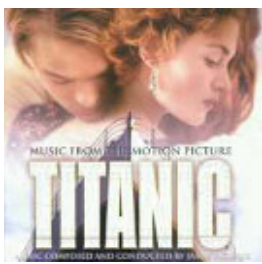
れ、小さい音が持ち上げる(大きく)なるように音量を調整します。このヒラリー・ハーンのバッハコンチェルトは、コンプレッサーが必要以上に使われているため、再生音量が大きいのです。

オーディオマニアは「圧縮音源 (MP3 など)」を嫌います。しかし、このヒラリー・ハーンのソフトのように SACD であってもマスタリング時にコンプレッサーをかけ過ぎれば、音源圧縮と同じ原理で音質が劣化します。結果として SACD でありながら、その音質は「圧縮音源」とさほど変わらなくなります。録音とマスタリングは、一般家庭での再生環境を十分に考慮して行わなければならない。しかし、残念ながら最近のグラムフォンだけではなく、数々の賞を取っている著名なレコーディングエンジニア (サウウンドに取り組む沢口工房など) でも、こういった基本的な問題を認識していないエンジニアが多く、優秀録音と言われながら実際には聞くに堪えないソフトが多いことです。またハードウェアでは、富士通テンが発売する「イクリプス」は開発エンジニアが「録音の悪いソフトで我が社のスピーカーは良い音が出ない」と断言していますが、録音の良いソフトが非常に少ない環境でそのように作られたスピーカーでどのようなソフトを聞けば、音楽が楽しめるのでしょうか。そういう私も AIRBOW の初期には、ソフトの善し悪しに大きく依存する音作りを行っていました。その結果出てくる音は聞くに耐えないほど硬く、潤いのないものになって音楽を楽しむ事ができなくなったのです。そういう経験から、今は「心地よく音楽を聴ける音質」を目指しています。オーディオ業界だけにかかわらず、日本の大企業で従事するエンジニアの多くが大きな勘違いをしています。技術を自慢するような開発ではなく、もっと広い視野を持って人に優しい技術を開発して欲しいと思います。

話を戻します。AIRBOW の「CD プレーヤー」でこの曲を聞くと 1028be はコンプレッサーの影響をほとんど感じさせず、生演奏に近い音の広がりや演奏の陰影を描き出します。しかし、ネットワーク接続で NA8005 Studio を使うと、良い意味での音の甘さ(響き)が少なくなり、ソフトをヘッドホンで聞いているような比較的小さな空間に音が凝縮されるような印象を受けます。

タイタニックの試聴では、1028be が PMC のように「モニター的に」鳴ることを経験しました。このソフトでもそれは同じです。ストレートと言えばストレート。面白みがないと言えば、面白みがない。そういう真っ直ぐな音で 1028be が鳴りました。

Graham Audio LS-5/9 音質テスト



Original Sound Track
"TITANIC": Never
an Absolution

音が出た瞬間に、一般的な 2Way スピーカーと比べ高域特性が「劣る」事が聞き取れました。早速カタログで確認すると、再生周波数帯域は 50-16kHz と明らかに狭いです。CD のスペックは 20kHz、SACD やハイレゾ、DSD では 50kHz を超え

ますから、LS-5/9A はそれを反映できるスペックを持ちあわせていません。しかし、聴感上で高域限界が少し狭いことは、逆に人間が最も敏感な「中域」に音楽表現を凝縮する効果があります。現代的高性能スピーカーの中では、「ラブリー」な音を出す部類に属する 1028be ですが、ネットワーク・プレーヤーとの接続では、少し無機的でクールな音になりました。LS-5/9A はそのクールさを見事に消し去り、最上級の CD プレーヤーでこの音楽を聞いている雰囲気を感じ出します。低域の再生周波数帯域の限界もそれほど伸びていませんが、圧倒的な中域の濃さがそれを補います。楽器や

人間の声に「魂」が宿ったような鳴り方は、聞いている人間を音楽の世界に引き込みます。脳裏に映画のワンシーン、ワンシーンが走馬燈のように浮かんで消えて行きます。音楽を上手く鳴らす能力としては、Stirling Broadcast LS-3/5a に似ているのですが、Graham Audio LS-5/9 はそれよりもさらに「濃く」、音楽を圧倒的な表現力で再生します。

この音こそ、音楽を聞くための音。高性能と引き替えに現代のオーディオ機器が忘れがちな重要なエッセンスを持つ LS-5/9 は、音楽を聞く味わいをグッと凝縮した魅力的な音でタイタニックを鳴らしました。



荒井由美 "MISSLIM": 海を見ていた午後

NA8005 Studio を USB 接続で聞いた心地よさと、ネットワーク接続で聞いた精緻さが上手くミックスされています。

細かい音が聞こえますが、それが音楽鑑賞の邪魔になりません。ボーカルは抑揚が大きく、表情がきめ細やかです。スペック上の周波数帯域やダイナミックレンジは縮小しているのかも知れませんが、音楽表現のダイナミックレンジは非常に大きく、あらゆる音が表情豊かで魅力的です。

Rogers が作っていた当時の LS-5/9 も、Graham Audio の LS-5/9 と同じ「高域特性を犠牲にしても口径の大きなツイーター」を搭載していました。当時自作スピーカーを作ろうと考えていた私はそのツイーターが気に入ってメーカーを調べ、フランスの「Audax」製品だと突き止め、フランスからツイーターを取り寄せたことがあります。Graham Audio LS-5/9 には、私が惚れ込んだ

「Audax 社の最新モデル」が搭載されています。ツイーターというどうしても「高域特性」ばかりに興味が集ましがちですが、音楽を聞くときに重要なのは、「ウーファーと繋がる、ツイーターが再生できる最も低い周波数」が遙かに重要です。20kHz を大きく超える周波数帯域までツイーターでフラットに再現しようとすると、振動板の口径を小さくしなければならなくなります。そうすると高音よりも人間が敏感な「中域」の音が薄く硬く、音色が単調になってしまうのです。これはマイクにも通じることで、周波数特性を欲張りすぎると、最も忠実に記録したい音楽の「表現力」が薄くなります。

こういう「重要なポイント」を分らず、ハイレゾや DSD に手を出す「細かい音が聞こえても、逆に音楽の表情は乏しくなる」という致命的な問題が発生します。CD を超えるスペックを持つ SACD や DVD オーディオが普及しなかったのは、いたずらに特性ばかりを追いかけたそれらの音が「人の心に響かなかった」からです。それを省みず、またしても一部のメーカーの残党がハイレゾを声高に歌い、マスコミが利益目当てに迎合することが残念です。それはともかく、Graham Audio の LS-5/9 が搭載する口径が 34mm に達する

Audax のツイーターが発する「艶のある中域」のなんと魅力的なことでしょう。この中域の濃さこそ、スペック上の高域特性を 16kHz と割り切った効果です。

Stirling Broadcast LS-3/5a 同様、Graham Audio LS-5/9 は見事にオリジナルを復元しただけではなく、さらにそれを現代的にリファインすることに成功しています。ペア 65-70 万円（税別）という価格は決して安くはありませんが、オークションなどでつまらない「ビンテージ製品」に手を出すよりも、遙かに安全に当時の音を味わうことができます。

レコード時代、音楽が娯楽や趣味の花形であった当時の「ふくよかなサウンド」が現代に味わえるというのは、とても素晴らしいことだと思います。個人の思いから出発した会社だからこそ、こういう思い切ったこだわりを持つ商品が作れるのでしょう。こういう「わりきり」を持った製品は、大きなメーカーではなかなか作れません。1960-80 年代のクラフトマンシップの素晴らしさと、深さを感じさせる音で海を見ていた午後が鳴りました。LS-5/9 は、ソースが例え最新デジタルサウンドであっても、レコードで私達（1960 年前後生まれ）が感動した音そのもので「海を見ていた午後」を鳴らしました。



ホリー・コール / アルバム: ドント スモークン ベッド 曲: テネシーワルツ

LS-5/9 は他の 2 曲のようにバツハコンチェルトを上手く鳴らすかと思いましたが、想像は

裏切られこのソフトとの相性はそれほど良くありませんでした。バスレフポートから出る低音の収束が遅く、お酒の瓶を吹いたように低音が箱（キャビネット）の中で籠ります。その上ツイーターから出る高音は、ツイーターとバスレフポートの 2 カ所から出ているように聞こえます。弦楽器の色彩感や柔らかさや雰囲気の良い LS-5/9 が

他のスピーカーとは違うのが感じられ、耳障りな音も出ず音質は十分魅力的ですが、音楽の抑揚や空間の広がりなどが不自然に感じられます。

ただし、CD プレーヤーならこの曲が上手く鳴ることもあるので、今回はネットワーク接続で聞く NA8005 Studio のモニターライクな音質が LS-5/9 とマッチしなかった影響も大きいと思います。

Graham Audio LS-5/9 試聴後感想

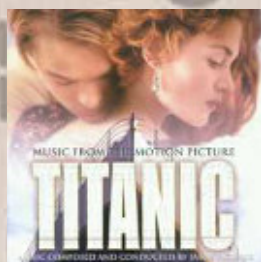
Stirling Broadcast LS-3/5a を始めて聞いた時、身体が震えるほどの感動を覚えました。オーディオでの音楽再生に骨身を削り、心血を注いで作り上げられたサウンドと真の職人魂がその音に宿っていたからです。Graham Audio LS-5/9 を聞いて、その感動が蘇りました。話を車の世界に変えます。イギリスで作り続けられている「モーガン / Morgan」というスポーツカーをご存じでしょうか？ フレームこそ金属ですが、そのボディーは木とアルミで作られます。職人が心を込めて作り上げる大量生産できない、昔ながらの車がイギリスでは今も売られています（大人気です）。日本を含む多くの先進国で利益追求のため葬り去られることの多い歴史的な技術の継承が、イギリスでは個人レベルで連綿と行われています。Stirling Broadcast LS-3/5a しかり、

Graham Audio LS-5/9 しかり。無闇に特性を追うことなく、昔ながらのこだわりの再現を目指しそれを実現している LS-5/9 は高額な最新スピーカーが忘れてきた「情熱」を聞かせてくれます。Stirling Broadcast LS-3/5a、Graham Audio LS-5/9、そして Harbeth（お薦めモデル）に宿るイギリス・クラフトマンシップの味わい。今年来訪したウィーンで感じたヨーロッパの古き良き伝統が宿るそのサウンドには、音楽とオーディオの本場ならではの深い味わいが感じられました。ヨーロッパの歴史が育んだクラシックや、イギリスの代表的な Pop シンガー Beatles。1960-1980 年にクライマックスを迎えた音楽文化を是非このスピーカーで味わって欲しいと思います。日本では NHK に相当する、

イギリス国営放送局の BBC が認定というお墨付きを与えた Graham Audio LS-5/9 は、Rogers LS-5/9 の音と魂が現代に蘇ったように感じられる素晴らしいスピーカーでした。



Cabasse EOLE3 音質テスト



Original Sound Track
"TITANIC": Never
an Absolution
前回聞いた球形スピー
カー、「Cabasse IO2」
の印象が芳しくなっ
たので、期待せずに音
を出したのですが、



荒井由美 "MISSLÎM": 海を見てい
た午後
低音が痩せるのはサイ
ズのせいで仕方あり
ませんが、声の質感と
伴奏の高域のクオリ



ホリー・コール / アル
バム: ドント スモー
キン ベッド曲: テネ
シーワルツ
この曲でも低音は明ら
かに不足しますが、驚
いたことに音の広がり
や立体感は先に聞いた

EOLE3 は予想を覆す良い音でタイタニックを鳴らしま
した。
サイズなりの低音量感の少なさはさすがに気になりま
すが、IO2 のように中高音が出しやばりすぎる事がな
く EOLE3 は滑らかで艶のある音です。2Way らしいき
め細かく品のある高音と、小型スピーカーらしい自然
な音の広がり両立し、なかなか魅力的な音でタイタ
ニックが鳴ります。

同サイズでコンセプトが似ている Anthony Gallo との比
較では、2Way の優位で EOLE3 は遙かに音が細かく明瞭
で、細かいニュアンスまできちんと再現されるように思
います。

ティーは非常に高く、比較的高額な価格を納得させら
れます。
中音域もサイズの限界は感じられるものの、厚みと暖
かさが感じられかなり良い印象です。価格の高い上級
モデル IO2 よりも EOLE3 はバランスが良く、音楽が楽
しめました。



LS-5/9 や 1028be よりも自然で好感が持てます。小型
スピーカーの面の苦羅如です。
EOLE3 のような小型密閉スピーカーの低音は比較的ス
パッと切れているはずなので、Audiopro B2.27MK2 の
ような良質なサブウーファーを組み合わせれば、トー
ルボーイ型スピーカーに迫る音質が実現しそうです。
少なくとも今回の試聴で EOLE3 は、1028be、LS-5/9
よりも明らかに自然な表現力でこの曲を鳴らしました。



Cabasse EOLE3 試聴後感想

先日 cabasse MINORCA と IO2 を聞きました。
MINORCA はあまりにも正直すぎ、IO2 はサイズの無理
を押して特性を追いつぎすぎたためか、バランスに優れる
とは評価しにくい結果となりました。
そのため今回試聴した EOLE3 にも、正直期待はしてい
ませんでした。
その予想を裏切り、EOLE3 はこれまで聞いた Cabasse
製品で最もバランスに優れた音質で音楽を再生します。

中域にしっかりと厚みがあり、高域は外観サイ
ズを疑う程細やかで品位の高い音が出ました。さすがに
中～低域は、サイズの限界を感じさせるものの、フル
レンジスピーカーでは出せない中高域の細やかさと艶
やかさは、その低域の不利を考えても特筆に値すると思
います。これで価格が4万円(ペア)なら申し分ないの
ですが、残念ながら価格は4万円(1台)と決し
て安いとは言えないプライスが下げられているのが残

念です。
設置場所に限界があり、良質なサブウーファーを組み合
わせられるなら、Cabasse EOLE3 は間違いなくそれでし
か実現しないであろう、高音質を味合わせてくれるで
しょう。サブウーファーとの組合せで、さらなる発展が
期待できるスピーカーです。



2014年5月
「ミュンヘンハイエンドオーディオショウ」のEARのブ
ースにて見た謎のスピーカー、それが「Graham Audio
LS-5/9」でした



スピーカー B&W 音質比較 805SD Maserati Edition

B&W 805SD Maserati Edition

希望小売価格

¥1,500,000 (ペア・専用スタンド付き)

B&W がフェラーリ製エンジンを積むイタリアの高級車「Maserati」ブランドの「クアトロポルテ」と「ギブリ」の純正オーディオに採用されました。この 2 車は日本での販売価格が 1000 万円を超える超高級車です。B&W は「Maserati/マセラティー」社へのカーオーディオ採用を記念して、マセラティー社のトレードマークである、「トライデント（三叉の鉤）」を刻印したスタンドが付属する、世界限定 500 セットの記念モデル 805SD Maserati Edition を発売しました。

形式：2Way・バスレフ型●ユニット：高域：25mm ダイヤモンド・ドーム 低域：165mm ウォーブン・ケブラー・コーン●クロスオーバー：4kHz●最大出力音圧：88 dB●インピーダンス：8Ω (最小 4.7Ω)●周波数特性：42-33kHz(-6dB)●本体サイズ (1 本・スタンド含まず)：W238×H418×D351(mm) / 12.0kg

概要

805SD Maserati Edition は、2012 年に発売された「805 Diamond Edition」と同じ、純度の高い人工ダイヤモンドのトゥイーターを採用しています。ウーファーやエンクロージャー、ネットワークなどもほぼ Diamond Edition に準じますが、Maserati Edition に合わせて細やかにリチューニングが施されたということです。



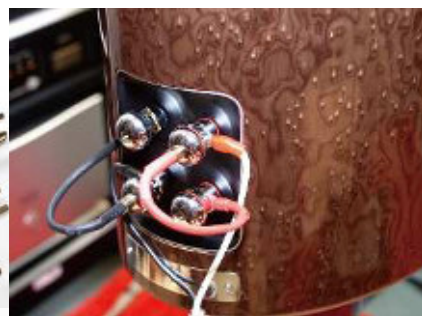
上：D&M から届けられた、805SD Maserati Edition の試聴機

右：805SD Maserati Edition の専用スタンド



下：付属のジャンパー線

右：805SD Maserati Edition 端子



付属するジャンパー線は、「スベードブラグーバナナプラグ」と両端にそれぞれ異なるプラグ形状が採用されていますが、このようにすることでスピーカーケーブル端子が「スベードブラグ」でも「バナナプラグ」でも接続が容易になります。両端の端子形状が異なると見かけがアンバランスになるためか、市販のジャンパー線ではほとんど見かけない端子処理（以前 AIRBOW のジャンパープラグに採用）ですが、外観やデザインにこだわる B&W が「あえて」そういう気配りをしてきたことはちょっとした驚きでした。



上：付属アクセサリー一覧

右：付属アクセサリ詳細



この使い勝手の良いジャンパー線だけでなく、805SD Maserati Edition には金属スパイクと、床に傷を付けないソフトスパイクの 2 種類のスパイクが付属するなど、ユーザーフレンドリーな姿勢が強く感じられます。



上：スタンド底部の刻印

下：スピーカーターミナルの下
のシリアルナンバープレート



本体とスタンドの側面には Maserati 車の内装に使われるものと同一の優美なサトウカエデの天然木化粧版とブラックレザーが使われていますが、これはマセラティー社と B&W 社のパートナーシップを表しています。セットのスピーカースタンドにも本体と同じく Maserati 車と同じ磨き上げられた木製ベニヤ仕上げが使われ、スタンド底部にはマセラティーのトライデント（三叉の鉤）がシルバー光沢仕上げでエンボス加工されています。スタンドに刻まれたこのトライデントは、ボローニャのマッジョレ広場にある噴水のネプチューン像に基づいて Mario Maserati がデザインしたそのもので、1926 年以降のマセラティー社のアイデンティティとして使われてきたものです。

スピーカーターミナルの下には、限定モデルの証として製造番号が刻印されたプレートが取り付けられます。

テストで使用した機材



Marantz SA8005



AIRBOW PM8005/Studio



Audioquest USB Diamond/iPod

音質テストの概要

マニアならこのクラスのスピーカーには、高価なアンプやCDプレーヤーを組み合わせると思います。しかし、今回は価格的にはまったく釣り合わないのを承知でAIRBOWのベースとして試聴を続けていた Marantz SA8005 (ノーマル) と AIRBOW PM8005 Studio を選びました。ここから先、今回試聴に使ったCDプレーヤーとアンプの詳しい説明をします。スピーカーの音質や性能を早く知りたいとお考えなら、この文章は飛ばして先にお進みください。

今回試聴に使う CD/SACD プレーヤー Marantz SA8005 は、新品からここ 2ヶ月くらいほぼ毎日聞いています。AIRBOW ブランドの CD プレーヤーとアンプをセットで開発するときには、まずアンプのカスタマイズから始めることにしています。今回の AIRBOW PM8005 Studio の開発では、ノーマルの SA8005 を使いましたがこれは異例です。なぜなら、市販のプレーヤーは吊し (なにもしない) の状態ではほとんどの場合、私が音決めに欲する「音の精度」に達していないからです。

オーディオ市場にこれほど多くの製品が存在するのは、中小メーカーでも大メーカーに引けを取らない音質の機器を作れるからです。他の家電では考えられないことですが、それはオーディオ機器の設計に大メーカーが所持する「コンピューター」や「測定器」が役に立たないからです。最近の工業製品は、開発コストを低減するため「コンピューターによるシミュレーション」が多用されます。シミュレーションによる有限要素法で「試作」の回数を抑えられれば、開発コストは大幅に削減可能です。

しかし、オーディオ機器の設計は「コンピューター」で行えても、その「音決め」は人間しかできません。測定できない「音質」は、「テスター (音決め担当)」の耳が頼りなのです。つまり、どれほど大きな電機メーカーであったとしても音と音楽をきちんと判断できる見識を持つ「テスター」がいなければ、良いオーディオ機器は作れず、逆にガレージメーカーであったとし

ても、「耳の良いテスター」が存在するなら、良い音のオーディオ機器が作れます。昔からそういう「耳の良い人」が生み出すオーディオ機器には、熱烈なファンが存在します。そしてメーカーには、「そのテスターの名前」が冠されるのです。

Marantz も創業時はそういうメーカーでした。しかし、歴史を重ねる毎にオーナーが変わり、現在は創始者とはまったくゆかりのない会社です。しかし、オーディオメーカーの責任を持って「音は耳で決める」と言う伝統を今もしっかり守っています。Marantz の設計責任者、澤田氏が入念に音を聞きながら作り上げた、SA8005 はその中でも特に良くできた製品に思います。柔らかさと優しさ、明るさと懐の深さを持つ SA8005 は、どんなソフトを聞いても破綻することがなく、バランス良いその音は現行 Marantz の CD プレーヤーでベストだと感じるほどです。

今回その相方に選んだのは、PM8005 のカスタムモデル AIRBOW PM8005 Studio です。このモデルは PM8005 を一度バラして、調律師がコンサートグランドピアノを調律するのと同じように、パーツを取り替えながら音を整えたモデルです。もちろん Marantz 澤田氏も同様の作業を行っているのですが、使用できるパーツに「制限がない」とこと、TAD Reference1 Mark2 を始めとする、総額 2500 万円を超える各社の最高級スピーカーでヒヤリングテストを行えることが AIRBOW の利点になっています。ショップがチューニングするオーディオ機器の多くが、開発環境やテスターに依存する独自の癖を持つのに対し、AIRBOW の音作りが広く受け入れられているのは、この理想的な開発環境に負うところも大きいと思います。

AIRBOW 製品の音決め作業は、パーツを一つずつ変えながら行ってゆくため何よりも根気と集中力が求められます。ノーマルでも相当良くできている SA8005 と PM8005 をより良くするための作業は、従来よりも時間がかかりました。2ヶ月以上の時間を掛け完璧な「調律」を行った PM8005 Studio はその甲斐あって素晴らしい

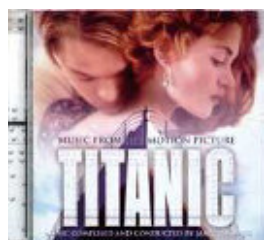
音質のプリメインアンプに仕上がったのです。オーディオ機器のバランスが「極限」まで高まると、組み合わせる製品との相性で音 (評価) が大きく変わらなくなります。完璧にチューニングされた機器は、どんなに癖の強い機器と組み合わせても、一聴してすぐに「音が良い」とわかるのです。そのレベルに達するまでチューニングの手を緩めず完成した PM8005 Studio はどんなスピーカーと組み合わせても、確実にそのスピーカーの性能を引き出す力を持っています。実売 10 万円の CD プレーヤーと 20 万円のプリメインアンプの組み合わせは、150 万円の 805SD Maserati Edition に釣り合わないと感じられるかも知れませんが、その音質は十分です。

しかし、Marantz SA8005 と AIRBOW PM8005 Studio を 805SD Maserati Edition に繋ぎ出してきた音は、高域が硬く、中低域が痩せています。悪くはないのですがエネルギーバランスが偏り、まるで初期の B&W の様に理が勝ちすぎて情が感じられません。この時 Marantz が試聴機に付けて来たジャンパー線が付属品ではない事に気がつき、もしかと思って 805SD Maserati Edition 付属品のジャンパー線に交換すると、嘘のようにバランスが整い音質が一気に良くなりました。

ジャンパー線でここまで印象が変わることも珍しいのですが、805SD Maserati Edition はまず「付属のジャンパー線」をお使いになることをお勧めします。

今回、805SD Maserati Edition は、付属の専用スタンドと組み合わせました。スタンドとスピーカー本体は、なにも挟まずに寄せただけで、ボルト止めもしていません。スタンドはスパイクなどを付けずにカーペットの上に置いた「ウェルフロートボード」に乗せました。ソースは、iPod Touch に収録した「WAV」ファイルの音源を USB デジタルで SA8005 に入力しています。接続に使った USB ケーブルは、配線に純銀を使った audioquest USB Diamond です。

音質テスト



TITANIC Sound Track : "Never An Absolution"

イントロのリードを使った楽器の音は、「ショーム」だろうと思っていました。しかし、音が長く続くことやこの映画がイギリスのものであるということとを考えると、その

楽器は「バグパイプ」と気づくべきでした。それはともかく、805SD Maserati Edition が鳴らす澄み切った鋭い笛の音は、一切のストレスなしに部屋中に立体的に

大きく広がります。

通常の B&W Diamond Series では、このような鋭い高音に硬さや僅かな違和感を感じるがありますが、805SD Maserati Edition には一切の違和感がありません。澄み切った音ですが決して冷たくありません。さらに標準モデルの B&W Diamond Series よりも音が有機的で色彩感に富むのは、使われている木材の材質の影響なのでしょうか？温度感も標準モデルよりも、ほんの少し暖かく感じます。

搭載する Diamond 振動板ツイーターから放たれる高音は、驚くほどのきめ細かさ、高い明瞭度感、そして非常に高い透明感を持っています。生演奏よりも美しい音で、澄み切った笛の音が部屋中に広がります。

定位感はブックシェルフ型スピーカーらしく、とても優れています。スピーカーを適当な場所に設置しているにもかかわらず、部屋中がタイタニックの幻想的な響きで満たされます。

低音はサイズから想像するよりも遙かに深く低く、まるでサブウーファーを使っているのかと錯覚するほどです。しかし、その音の繋がりや精密さや違和感の少なさ (自然さ) は、帯域分割が最小の 2Way のものです。高音 / 中音 / 低音のシームレスで自然な繋がりには、舌を巻かれます。テストの概要でご紹介した非常に簡単な CD プレーヤーとアンプ、接続ケーブルしか使っていないにもかかわらず、ハイエンド製品に匹敵する細やかさ、レンジの広さ、圧倒的な立体感 (音の広がり)、

音楽的な情緒の深さと多彩な表現が繰り出されることに驚きました。
外観だけではなくその音質にも、通常モデルとはひと味違う「オーラ」が感じられます。このスピーカー、侮れません。



森山直太郎 / 傑作選：“さくら（独唱）”
イントロのピアノは、ハンマーの動きが感じられるほど細やかではっきり聞こえます。打鍵の強弱や音色の変化が大きく出て、良質のピアノを丁寧に弾いている様子が伝わります。

す。下手なコンパだと細く神経質でうるさくなりやすい直太郎の声ですが、805SD Maserati Edition では暖かく感情がこもった音で鳴り、彼のメッセージが真っ直ぐリスナーに向かって来ます。
ボーカルとピアニスト。それぞれがとても丁寧に音を出している様子が伝わります。B&W の多くがともすれば「電気的な増幅器の介在」を感じさせるのに対し、805SD Maserati Edition はそういういけい存在感（オーディオ機器の介在感）が皆無で、言葉通り「目の前で直太郎が歌っている」ように聞こえます。
この自然さ、この暖かさ、この表現力は、802 Diamond すら上回り、同じ 2Way の超高級スピーカー Magico Q-1 にさえ迫りそうです。
805SD Maserati Edition は、良い意味で癖のないモニター的な音です。



Mariah/Is：“Do You Know Where You're Going To (Theme From Mahogany)”
タイタニックでも驚いたのですが、この曲でもイントロ伴奏の低音がしっかりと相当低いところまで聞こえます。やかすれたマライヤの声と透き通るような高音が重なって収録されている部分では、2 人のボーカリストが歌っているのではと思うほど「高低の声の質感の違い」がきちんと再現されることに驚かされました。

曲が進むと、伴奏に使われる楽器とオーバーダビングで作られるハーモニーの重なりがまるで「ミルフィーユ」のように細やかで、スイートに聞こえることに再び驚かされます。こんな風にこの曲が鳴ったことは過去になく、たった 120,000 円のプレーヤーと売価 208,000 円のアンプで 805SD Maserati Edition をならしているとは思えない、驚愕のサウンドでマホガニーのテーマが鳴りました。Diamond すら上回り、同じ 2Way の超高級スピーカー Magico Q-1 にさえ迫りそうです。
805SD Maserati Edition は、良い意味で癖のないモニター的な音です。



Billy Holiday/Nice Work If You Can Get It
iPod タッチを「WAV」音源のランダムにセットしているため、リポートを書いていると意図しない次の曲が鳴り始めます。

通常、B&W のような現代的なスピーカーと古い録音はマッチしません。鳴り始めたこのディスクの音源は 1950 年代のモノラルで非常に古いもので、B&W のような高性能 HiFi スピーカーが苦手とするものです。しかし、805SD Maserati Edition は、録音の古さをまったく感じさせず、あたかも最新録音のようにワイドレンジで細かい音でこのディスクを鳴らすのみならず、あたかもビリー・ホリ

デイが現代に蘇ったかのように新鮮な音でこのディスクを鳴らします！

ボーカルは暖かく表現力に富み、楽器の音も鮮やかです。下手な 1000 万円オーバーの音楽が鳴らない高級システムよりも遙かにまともで、遙かに音楽的で、それでいて情報量の多い HiFi サウンドでこの曲が鳴りました。

先ほども Magico S1 を引き合いに出しましたが、B&W 805SD は Q-1 と同じくらい細かい音で、それを越えるほどの情緒を持ち、血の通う暖かいサウンドでこの曲を見事に蘇らせました。150 万円を支払っても、幸せになれるスピーカーです。



Hilary Hearn/Bach Violin Solo

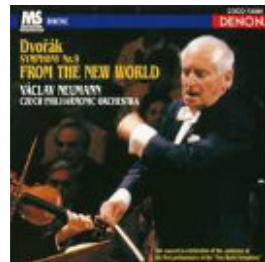
バイオリンを奏でるヒラリーハーンの身体の動きまで見えそうなくらい、細かいクッキリした音が出ます。バイオリンから直接出る

音、反射して戻る音、1 弦～4 弦の音色の違い、そういったものが実に明確に再現されます。

マライヤキャリーのボーカルや森山直太郎のボーカルが細く神経質にならずに聞こえたのと同じように、ヒラリーハーンの奏でるバイオリンの音も有機的で暖かく滑らかです。

ぎすぎすしたノイズな音とは無縁ですが、バイオリンらしい引っかかり感はきちんと出ます。何より素晴らしいのは「楽器の色彩感」が濃いことです。この点でいつも聞いている標準品の B&W Diamond Series と限定モデルの 805SD Maserati Edition はかなりの差が感じられます。

一体 B&W はこのスピーカーにどんな魔法を掛けたのか？分かりませんが、本当に暖かく、真空管アンプで音楽を聞いているような音が出ました。



ノイマン / チェコフィル 新世界：“第一楽章”

さすがにこのサイズのブックシェルフですから、交響曲の低い部分まで完全に低音は伸びません。しかし、コントラバスやティンパニーのパートは音量を

小さく感じることなく、きちんと主張します。

金管楽器の音が鮮やかで、素早く他の楽器の間を抜けてきます。木管楽器の音は柔らかく、同じ音程を奏でているも金管楽器と木管楽器の音色の違いがきちんと再現されます。弦楽器も同様で、同じ音程が奏でられてもチェロとコントラバスの音が分離して聞き取れます。

楽器の数が多い交響曲を聴くために理想的な「楽器の音色の分解能力」と「繋がり」の自然さを 805SD Maserati Edition は持っています。再生周波数帯域を除いて、今まで聞いた B&W ではベストかも知れませんが、本当にどういう魔法を掛けたのか？分からないですが、805SD Maserati Edition はその音質においても、150 万円という高額な価格に相応しい能力が与えられています。「Maserati」の名を冠するのに相応しい「高級感」と「情熱」を兼ね備えます。これは、驚くべきスピーカーです。

試聴後感想

初期の（N802 時代）Tweeter は高域が少し重く感じる傾向がありました。またそれが原因で音色が暗く、鉛色に感じることがありました。試聴室導入した初代の N802 は、毎日聞いていると気分が重くなっ

てきたので 2 ヶ月で他のスピーカーに変えたほどです。2 代目の 802D でそれはかなり改善しましたが、まだ私の耳には「ユニットの繋がりの不自然さ / 再現される楽器の音色のアンバランス」が感じられました。3 代目（現行）の Diamond Series になって、スコーカーとツイーターの繋がりの違和感はほぼ完全に解消しましたが、TAD や PMC、あるいは Magico と聞き比べるとまだ完全ではないと分かります。805 Diamond Edition を聞いた時も、まだ若干の違和感を覚えたのですが、805SD Maserati Edition ではその違和感が完全に消えています。その音を聞くまで B&W 805SD Maserati Edition は、富裕層向けの「ただの高価なスピーカー（記念品）」だと思っていました。しかし、音を聞いてみると B&W が一体どんな魔法を掛けたのかはわからないのですが、標準品の Diamond Series とはまったく別物の素晴らしいサウンドに生まれ変わっていました。こんなに暖かく、ヒューマンな音を B&W スピーカーで聴けたのは初めてです。その証拠に B&W が苦手とするモノラル時代の古いジャズ（ビリー・ホリデイ）ですら 805SD Maserati Edition は見事に鳴りました。目の前でビリー・ホリデイが歌っているような暖かい血の通った情緒的な音を聞いていると、Maserati の故郷であるイタリアメイドの SonusFaber、それも最新モデルではなくフランコセプリンの魂が宿っていた頃の SonusFaber の音が脳裏に浮かびました。

Marantz がそうであるように SonusFaber もオーナーが変わり、音作りが変わりました。私が好きなのは、初代の製品、Minima や Amator、あるいは Extrema です。これらのスピーカーの音は驚くほどスイートで情緒的でした。その後にマイルストーン的な存在として発売された「Guarneri」は、打って変わった硬質な音で戸惑いでしたが、しっかりと鳴らし込むことでその音がどんどんと芳醇さを増したのです。

805SD Maserati Edition は、SonusFaber Guarneri のような存在感を持っています。あえてその音を比較するなら、テキスタイルドームツイーターを使う SonusFaber Guarneri の方が、805SD Maserati Edition より高音は柔らかく滑らかです。しかし、Diamond を振動板に採用する最新ハードドーム型ツイーターを搭載する、805SD Maserati Edition は SonusFaber が苦手とする切れ味の良い POPS や ROCK も難なくこなします。そしてこれまで B&W が持ち得なかった「情熱」が 805SD Maserati Edition には備わっています。150 万円という価格を 805 Series の限定モデルと考えると、びっくりするくらい高いのですが、SonusFaber 最新の Guarneri がモデルチェンジを重ねるまでに 200 万円を超えるほど大きく値上がりしていることを考えれば、また 805SD Maserati Edition と同じ方向性を持つ Magico Q-1 が 300 万円を超えることを考えれば、805SD Maserati Edition の 150 万円は、決して高いとは思えないのです。

この試聴の後、逸品館に 805SD Maserati Edition の試聴機を導入しました。今回の試聴と試聴機の設置から、感じた私なりの 805SD Maserati Edition を鳴らす「ポイント」をまとめとして書きたいと思います。

まず、見かけはチャチな付属ジャンパー線を使ってください。高性能で繊細なスピーカーなので、スピーカーのバランスを損ねやすいバイワイヤ接続には注意が必要です。シングルワイヤ接続の場合、プラスを高域・マイナスを低域に入力すると音のバランスが整います。ツイーターの保護グリルは、マグネット装着なので簡単に取り外せます。付けた状態だと中低音のバランスに優れ、音も大きく広がります。外すと直接音のエネルギーが強くなり、楽器との距離が近く感じられるようになります。POPS や Jazz、Rock など高音に切れ味が欲しい場合には、グリルを外すと良いでしょう。ダイヤモンド振動板は割れやう非常に高価なので、音の違いがあまり気にならない場合には安全のために付けたままお使いになることをお勧めします。

CD プレーヤーやアンプにお金を掛けなくても 805SD Maserati Edition は良い音を聞かせてくれます。個人的には仰々しいプレーヤーやアンプを組み合わせるのではなく、Unison Research Sinfonia のようなお洒落な真空管プリメインアンプなどと組み合わせ「さりげない高級感」を楽しむのがお洒落のように思えます。

イタリアの高級車 Maserati がそうあるように、805SD Maserati Edition は高級品のオーラ溢れる品格を持っています。音楽の分かる大人が使うべき、大人の感性で作られた素晴らしいスピーカーだと思えます。150 万円は、決して不当な価格ではありません。是非その音を、聞いてみてください。

CD-player

ESOTERIC

世界で唯一ドライブメカニズムまで自製した、至高の音を紡ぐブランド

K01X

NEW



未知数を示す記号「X」。

モデル名に X の一文字が刻印される時、それは造り手の意志と技術とクラフトマンシップの極限的な昇華を意味します。

ハイエンド・デジタルプレーヤーに注ぐフィロソフィとテクノロジーのすべてを結集して、未体験の次元へと踏み出します。

SACD/CD プレーヤー

K01X	3号館 展示中	動画	定価	1,450,000 円
K03X	1号館 展示中		定価	900,000 円
K05	1号館 展示中		定価	550,000 円
K07	テスト レポート		定価	390,000 円
SZ1S			定価	350,000 円

Esoteric が満を持して放つ、最高級セパレート CD プレーヤーシステム。デジタル信号処理の大部分を送り出し側（プレーヤー側）で行い、HDMI ケーブルを使って、DSD、または 352.8kHz/48bit PCM に変換した超広帯域デジタル伝送を実現し、D/A コンバーター側でのデジタル信号処理の負荷を大幅に減らす、独自の最新鋭伝送フォーマット ES-LINK4 を開発し搭載。D/A コンバーターを本来の D/A 変換処理に特化させる「PureD/A」思想により、高音質を追求しています。

Grandioso D1 と P1



SACD/CD トランスポート

Grandioso P1	動画	定価	2,500,000 円
P01		定価	2,200,000 円
P02		定価	1,400,000 円
P05		定価	600,000 円



AIRBOW はコストパフォーマンスの高さで人気のある逸品館オリジナルブランドです

SA8005/STUDIO

NEW USB



シーラスロジック社 “CS4398” 搭載。SA15S2 Master を超える音質を実現した “Studio Player” です。

CD5005/LC5

NEW オススメ



CDプレーヤーだから実現する、その音質は、最高級のPC/ ネットワーク・プレーヤーで聞くハイレゾや DSD に勝るとも劣りません。

SA11S3/Ultimate

テスト
レポート USB



一体型プレーヤーから出るとは思えない重量感と厚みのある中低域は、部屋の空気を揺らすほどのエネルギーを持っています。

K05/Ultimate

USB



癖や色づけを全く感じさせないストレートできめ細やかな高音質は、スピーカーを「楽器」に変えてしまいます。

K05/ULTIMATE	1号館 展示中	販売価格	709,000 円
K07/ULTIMATE	1号館 展示中	販売価格	505,000 円
CD6005/LIVE	1号館 展示中	販売価格	88,000 円
CD5005/LC5	1号館 展示中	販売価格	65,000 円
CD2300/SPECIAL	1号館 展示中	販売価格	42,500 円

SA11S3/ULTIMATE	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格	595,000 円
SA14S1/MASTER	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格	360,000 円
SA8005/STUDIO	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格	208,000 円
TL3N/ANALOGUE	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格	330,000 円
CD3N/ANALOGUE	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格	490,000 円

販売価格は全て期待大の逸品館特価になっています。詳しくは 06-6644-9101 までお電話くださいませ。

TAD

わきあがる感動。これこそ、TAD 音響体験

D600

オススメ

テスト
レポート

PIONEER のハイエンドオーディオを受け持つ TAD が放つ超弩級 CD/SACD プレーヤー。国産品とは思えない、熱い音を鳴らすこのプレーヤーをすべての音楽ファンに心からお勧めしたいと思います。

D1000テスト
レポート

USB



部屋中に立体的に広がるなめらかで厚みのあるサウンドは、従来の国産 CD/SACD プレーヤーとは完全に異なる独自の世界です。

D6003号館
展示中

定価 2,500,000 円

D10003号館
展示中

定価 1,500,000 円

McIntosh

CD を驚くほど熱く濃いサウンドで楽しめる

MCD550

NEW

MCD550 は、現代の高音質ソースの情報を正確に再現するだけでなく、アーティストが訴える表現力までも余すところなく描写したいの思いから誕生した 2 チャンネル専用 SACD/CD プレーヤーです。

心臓部の D/A コンバーターは、米国 ESS 社の最新型 ES9016 を搭載、クアッド・バランスで動作させることで、緻密かつ高品位な音楽再生を獲得しました。高剛性ダイキャストの薄型トレームカニズム、伝統のステンレス・スチール・シャーシ等、さらなる高音質化を追求しました。

**MCD550**

定価 800,000 円

marantz

この透明感の右に出るものなし

SA11S3

USB



実力モデルの SA11S2 がフルモデルチェンジ！外観はほとんど変わりませんが、新たに 192 kHz/24bit DAC を搭載し、オリジナルメカや DSP の更新も行い内容は全面的に刷新されています。

SA14S1テスト
レポート

USB



「SA-11S3」のディスク再生能力と、「NA-11S1」の革新的な DSD 対応 USB-DAC を融合し、ディスク再生とデータ再生を同等の高みへと昇華させたのが「SA-14S1」です。

SA11S31号館
展示中

定価 480,000 円

SA8005

定価 129,500 円

SA14S11号館
展示中

定価 240,000 円

CD6005

定価 48,000 円

CD5005

定価 32,500 円



国産に敵なしの類まれなる表現力

音楽がリスナーの心象にどれだけ自然に、純粋に響くか。それを LUXMAN は製品作りの基本としています。演奏家が情熱を注ぎ込み、録音エンジニアが精緻を尽くして収録した音楽。そこに込められた音の微細なニュアンスをも、あますところなく再現し、アーティストの気迫や演奏現場の熱気をも伝えたい。

楽曲のひとつひとつに注がれた作曲家、演奏家、録音エンジニアの熱い想い。さらに、彼らと想いを同じくする LUXMAN の情熱を、製品を通して聞き取って頂ければ幸いです。

D-08u	テストレポート	定価	1,100,000 円
D-06u	1号館展示中 テストレポート	定価	580,000 円
D-05	テストレポート	定価	300,000 円
D-38u	1号館展示中	定価	220,000 円

D-06u

NEW

オススメ



D-06u は、本年 3 月に発売されたデジタルプレーヤーのフラグシップモデル D-08u の贅沢な構成を引き継ぎ、2009 年に発売された D-06 のデジタル回路を一新したフルモデルチェンジ製品で、新たに Windows PC や Mac との USB 接続によるファイル音源の再生にも対応しました。D-06u がいま改めて音楽再生の新しいスタイルを提案します。

C.E.C.

CD 5

NEW

USB



ベルトの交換が出来る初のベルトドライブ CD メカを搭載。DSD などのハイレゾに対応する USB 入力付き CD 専用プレーヤーです。

CD3N	1号館展示中 テストレポート	定価	300,000 円
CD5		定価	170,000 円

YAMAHA

CD-S2100

NEW

USB



中低音に厚みとエネルギー感が溢れ響きも豊かな CD/SACD プレーヤー。

CD-S3000	1号館展示中 テストレポート	定価	430,000 円
CD-S2100	1号館展示中 テストレポート	定価	250,000 円
CD-S1000		定価	127,000 円

DENON

DCD-SX1



DENON らしいシッカリした音の密度感、低音の力感はそのままだ、DCD-SX で違和感を感じた音の硬さと平面的で広がらない音場感が、DA コンバーターの変更により劇的に改善しました。この価格帯では、最有力のお薦め機種です。

DSD-SX1	定価	550,000 円
---------	----	-----------

ROTEL

RCD-1570

オススメ



スロットイン方式を採用する、CD 専用プレーヤー。CD 専用機の良さが最大に発揮され、2 倍くらいの価格帯の CD/SACD プレーヤーを確実に凌駕するほどの音の良さを持っています。高価なプリメインアンプ、セパレートアンプと組み合わせても遜色のないサウンドを実現できるお薦めの逸品です。

RCD-1570	1号館展示中 テストレポート	定価	148,000 円
----------	----------------	----	-----------

Clock-generator & Equalizer



GPS-10MH

1号館 展示中 3号館 展示中 オススメ



GPS 衛星の補正シグナルを受信して内蔵する 10MHz 恒温式水晶発振子を補正し、ルビジウムを使ったクロックジェネレーターに匹敵する 0.01ppb レベルの超高精度 10MHz を発信するクロックジェネレーター。GPS-10MH をご購入のお客様に、クロックケーブルをプレゼントするキャンペーンを実施中です!!

アトミッククロックジェネレーター

GPS-10MH

販売価格 221,000 円



G-01



新世代 ESOTERIC デジタル機器の能力を“大幅”に向上することができるルビジウム・クロック・ジェネレーター。恒温式水晶発振子をルビジウムで補正し、精度を極限まで向上させたクロック・ジェネレーターです。44.1/48/88.2/96/176.4/192KHz 可変出力 3 系統に加え、ノイズに強い正弦波による 10MHz 専用出力を備えています。外部からの 10MHz 入力にも対応し、GPS との接続が可能など拡張性も十分です。

クロックジェネレーター

G-01 定価 1,350,000 円

G-02 定価 350,000 円



マスタークロックジェネレーター

OCX Master Clock

オススメ

3号館 展示中



いままで、どんなに高いクロックジェネレーターの音質にも納得できなかったのですが、これだけは違います！圧倒的な空気感！圧倒的な音の良さ！CD が SACD を超える！それが言い過ぎではないくらい、音質が向上しました。もはや外すことはできません。

AET の同価格帯のケーブルによる音質改善を超える！すさまじい能力を持つクロックジェネレーターを専門店特価で販売します！！

OCX Master Clock

定価 OPEN

Isochrone 10M(10MHz)

TRINITY



ルビジウムを使ったクロックジェネレーターは多数発売されていますが、音質はトップクラス！アナログを聞いているような透明で美しい響きを持つのは、Isochrone 10M ならではの大きな魅力です。

OCX の上級モデル Trinity は、恒温動作の水晶発振子、10MHz のアトミック入力を備えた多機能クロックジェネレーターです。OCX よりも多数の機器と接続できる本格的な業務モデルです。

Isochrone 10M(10MHz)

定価 OPEN

TRINITY

定価 OPEN

Amplifier



音楽の聞かせ所を心得たラックストーンが時代を超えて心に響く。



C-700u M-700u

NEW

「C-700u」は、AV アンプとの接続を踏まえ、
「外部プリアンプ入力」を備えるなど音
質と便利さを両立させたプリアンプ、
「M-700u」は、お求めやすい価格ですばら
しい性能と外観を持つパワーアンプ。大阪
を故郷とする Luxmanらしい、サービス精
神溢れる製品です。



LX-32u

小型の真空管は大型管よりも強度が高く、緻密で
繊細なサウンドを持っています。

小型出力管の良さを生かした LX-32u は出力こそ
SQ-38u よりも低いですが、音の細やかさ、高域の
滑らかさ、低域の力感ではそれを上回ります。

プリアンプ

L-305	テスト レポート	定価	300,000 円
LX-32u	1号館 展示中	テスト レポート	定価 260,000 円
L-505uX	1号館 展示中	テスト レポート	定価 238,000 円
L-507uX	1号館 展示中	テスト レポート	定価 430,000 円
L-550AX	1号館 展示中	テスト レポート	定価 330,000 円
L-590AX		定価	530,000 円

プリアンプ

C-700u	1号館 展示中	テスト レポート	定価 580,000 円
C-900u	動画	定価	1,100,000 円
CL38u		定価	320,000 円

パワーアンプ

M-200	テスト レポート	定価	128,000 円
M-700u	1号館 展示中	テスト レポート	定価 580,000 円
M-900u	動画	定価	1,100,000 円
MQ-88u		定価	380,000 円



オーディオファンの永遠のあこがれ

MA7900

オススメ

C22

テスト
レポート

NEW



MA7900 は、スピーカーインピーダンスの理想的なマッチング
を実現する「オートフォーマー」を搭載。マッキントッシュ伝
統の技術と先進テクノロジーが融合した高音質をベースに、音
楽を積極的に楽しめるインテグレートッド・アンプです。

C22 は オリジナルモデルの発売から 40 余年の月日を経て、外
観デザインや設計思想は当時のオリジナリティーを大切にしながら、
電磁式スイッチ、トーンコントロール回路、高品質 MM/MC
回路など、マッキントッシュ最新の回路技術が惜しみなく投入さ
れています。

プリアンプ

MA8000	定価	1,300,000 円
MA7900	定価	900,000 円
MA6700	定価	780,000 円
MA5200	1号館 展示中	定価 480,000 円

プリアンプ

C1000C/P	定価	2,800,000 円
C500C/P	定価	1,700,000 円
C2500	定価	900,000 円
C48	1号館 展示中	定価 700,000 円
C50	定価	900,000 円
C22	テスト レポート	定価 660,000 円
D100	定価	350,000 円

パワーアンプ

MC2KW(ペア)	定価	10,000,000 円
MC1.2KW(ペア)	定価	3,400,000 円
MC601	定価	2,000,000 円
MC301(ペア)	予価	1,100,000 円
MC452	定価	1,200,000 円
MC152	予価	500,000 円
MC302	1号館 展示中	定価 880,000 円

販売価格は全て期待大の逸品館特価になっています。詳しくは 06-6644-9101 までお電話くださいませ。



「音楽の力」を最大に発揮できる音を AIRBOW から皆様へお届けします。

PM5005/LC5

オススメ

NEW



小型のアンプですが、中低音のパンチ力が抜群です。S/N 感にも優れ、音場の見通しも良好。エネルギー感溢れる透明で明快な音質は、クラスを大きく越える高級感を味わせてくれるでしょう。

PM11S3/Ultimate

オススメ



PM11S3/Ultimate は、真空管アンプに似た暖かく響きの美しい立体的なサウンドに仕上がっています。1950-1970 年代の芳醇な音楽をこのアンプでお聞きいただければ、高級アナログレコードの雰囲気を感じ取っていただけると思います。

ほとんどのオーディオマニアの方々は、「音がより良くなれば音楽をより楽しく聴ける」とお考えだと思います。

しかし、オーディオで最も重要なのは「音楽をより豊かに表現すること」ではないでしょうか。音楽再生で最も大切なのは「伝える力」だと考えます。

プリメインアンプ

PM11S3/ULTIMATE	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格 565,000 円
PM14S1/MASTER	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格 360,000 円
PM8005/STUDIO	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格 208,000 円
PM7005/Applause			予定販売価格 150,000 円
PM6005/LIVE	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格 100,000 円
PM5005/LC5	1号館 展示中	3号館 展示中	販売価格 60,000 円



日本人の誇りと魂が込められた TAD 忠実な再現能力と圧倒的な情報量は世界トップ

C600

3号館
展示中

オススメ



プリアンプ

C600

3号館
展示中

動画

定価 3,000,000 円

C2000

3号館
展示中

動画

定価 1,900,000 円

一台ずつ手作りで作られる南部鉄器製の 30kg にも及ぶシャーシを持つ M600。パワーアンプ並みの電源を別置きにし、徹底的な信号とノイズ源の分離を実現した C600。それぞれは決して安価ではありませんが、金儲けのために俄作りされたとは考えられない「海外高額商品」とは比較にならないコストと労力がかかっています。

C2000



パワーアンプ

M600/Pair

動画

M4300

動画

M2500

動画

M600



定価 5,000,000 円

定価 1,900,000 円

定価 1,600,000 円



「marantz のプライドの証」が、高級機に付けられている「ブルースター」

Marantz の音決めマイスター「澤田さん」は音決めチェックに「アニメソング」を加えたと言います。最先端のハイエンドメーカーでありながらも、そういった常にユーザーフレンドリーな一面を忘れません。

最新モデルの開発には録音の良いディスクばかりではなく一般的に良く聞かれるディスクを加えることで、コンポーネントに「普通のディスクの音楽を楽しく再現できる性能」が加わりました。

特に PM6005 から始まった現在の Pure-Basic シリーズはその表現力はより「自然に」「感情豊か」に大きく向上しています。会社が変わり、技術が変わっても変わらない「Marantz のプライドの証」が高級機につけられているブルースターに現れています。

プリメインアンプ

PM5005

定価 32,500 円

PM6005

定価 60,000 円

PM7005

NEW

定価 100,000 円

PM8005

定価 129,500 円

PM7005



DSD 対応 USB-DAC 搭載プリメインアンプです。デジタル回路をしっかりとシールドする事で回路からの高周波ノイズの悪影響を抑制。透明度が高く、自然で広がりのある表情を楽しめます。

PM14S1

1号館
展示中

テスト
レポート

定価 240,000 円

PM11S3

1号館
展示中

定価 430,000 円

PM8005



Marantz のエントリークラスプリメインアンプのフラッグシップモデル。スピーカー駆動力が向上したことで前モデルと比べても圧倒的な中低域のエネルギー感のある表現力を得ました。

ESOTERIC

分厚いアルミを削りだした、重量級のボディーが揺るぎない音を生み出す

スピーカーから音が解き放たれ、目の前からオーディオシステムの存在感が失われる。リスニング体験における最もスリリングな瞬間と言えるでしょう。システムの存在を完全に消し去る比類ない音の開放感、それはパワーアンプの出力ワットageの余裕によって生まれる。ESOTERICはそう考えてきました。瞬間 34 アンペアの大型バイポーラトランジスターをはじめ、圧倒的な物量を投入して初めて達成される 300W/8Ω のハイパワー。ESOTERIC のフラッグシップパワーアンプ M1 は、すべての音を解き放ち、躍動する音楽を生命感豊かに伝えます。

Grandioso C1



Grandioso M1

プリメインアンプ

I-03	1号館 展示中	テスト レポート	定価 600,000 円
I-05	1号館 展示中		定価 400,000 円
AZ-1S		テスト レポート	定価 350,000 円

プリアンプ

Grandioso C1	定価 2,500,000 円
C-02	定価 1,400,000 円
C-03X	定価 800,000 円

パワーアンプ

Grandioso M1(1台)	定価 1,400,000 円
A-02	定価 1,200,000 円
A-03	定価 900,000 円

HEGEL

他の外国勢を圧倒する、侮りがたい実力派

H300

H300はHegel 最上級プリアンプP30譲りの高性能プリアンプ回路と最上級パワーアンプH30譲りの高出力低歪みパワーアンプ回路、そして先進のUSB DAC HD25のデジタル回路を一つのボディーに搭載している高性能高音質プリメインアンプです。出力は250Wと、どんなスピーカーでも駆動できる実力です。高性能なプリアンプ回路による滑らかな音質を持ち、さらにUSB入力は数十万円クラスのCDプレーヤーに匹敵する音質に仕上がっています。

オススメ

USB



プリアンプ

P30/ シルバー	3号館 展示中	テスト レポート	定価 800,000 円
P30/ ブラック		テスト レポート	定価 800,000 円
P20/ シルバー		テスト レポート	定価 400,000 円

プリメインアンプ

H300	1号館 展示中	テスト レポート	定価 600,000 円
H160 (12 月初旬発売予定)		NEW	定価 470,000 円
H100		テスト レポート	定価 400,000 円
H80	1号館 展示中	テスト レポート	定価 280,000 円
H80S(12 月初旬発売予定)		NEW	定価 180,000 円

パワーアンプ

H30		テスト レポート	定価 1,600,000 円
H20	3号館 展示中	テスト レポート	定価 700,000 円
H4SE	3号館 展示中	テスト レポート	定価 1,000,000 円

DENON DENON の考える理想型アンプ

PMA-SX1

1号館
展示中

「Simple is BEST.」を追求した DENON の解答が「PMA-SX1」です。「信号を増幅してスピーカーを駆動させる」という役割に特化させたこのアンプは、地を這う低音から突き抜ける高音まで揺るぎなく再現しますが、「潤い」や「響きの良さ」は持っていません。「飾り気のないピュアな音」が特長です。



PMA-SX1

定価 580,000 円

ROTEL B&W が認めた高音質

RA-1570

1号館
展示中

USB



プリメインアンプ

RA-1570	1号館 展示中	テスト レポート	定価 248,000 円
RA-1520		テスト レポート	定価 128,000 円

プリアンプ

RC-1580MK2	定価 210,000 円
RC-1580	定価 168,000 円

パワーアンプ

RB-1592	定価 398,000 円
RB-1582MK2	定価 210,000 円

Tube-Amplifier

PS EAR

V12

3号館
展示中

オススメ

912

オススメ



5Hz-22KHz のワイドレンジを低歪みで出力する最新作。音質は EAR らしい透明感と美しい響き、そして 3 パラプッシュならではの厚みとパワー感が両立した申し分のないものです。

単なる音量 / 音質調整器としてのプリアンプを超えた、音を良くできるプリアンプ、「失われた音を復元できるアナログコンピューター」それが 912 です。

プリメインアンプ

V12 定価 1,200,000 円

3号館
展示中テスト
レポート

動画

899 定価 998,000 円

8L6 定価 798,000 円

プリアンプ

912 テスト
レポート 定価 1,980,000 円

868PL 動画 定価 980,000 円

868L 定価 738,000 円

834L 定価 338,000 円

パワーアンプ

509/2(ペア) 定価 1,890,000 円

890 定価 998,000 円

534 定価 798,000 円

TRIODE

リーズナブルな価格帯からも真空管の魅力を楽しめる「TRIODE」

「真空管アンプの音色ってどんなのだろう？」とお悩みの初心者の方にも、すでに真空管アンプの音色をご存知の玄人の方にも、自信を持ってオススメです。

VP-20 Anniversary

トライオードの設立 20 周年 120 台限定記念モデルです。本機の出水管には 2A3 を A B 級プッシュプルで搭載。2A3 の魅力、そして 6SN7 を含めたオール三極管動作の魅力を存分にご堪能いただけます。



プリメインアンプ

VP-20 Anniversary 定価 200,000 円

TRV-A300SER 定価 180,000 円

1号館
展示中テスト
レポート

TRV-88SER 3号館
展示中 定価 150,000 円

TRV-845SE 定価 480,000 円

VP-300BD 定価 278,000 円

プリアンプ

TRX-1 定価 190,000 円

TRX-3 定価 300,000 円

パワーアンプ

TRX-M300(1台) 定価 350,000 円

TRX-P3M(1台) 定価 160,000 円

TRV-M300SE/WE300(1台) 定価 206,000 円

TRV-M300SE(1台) 3号館
展示中 テスト
レポート 定価 150,000 円

TRX-P6L テスト
レポート 定価 190,000 円



SINFONIA25th

オススメ



SIMPLY-ITALY



ステンレス削りだしつまみ、無垢木材のリングなど Unison らしいスタイリッシュなデザインの "SIMPLY-ITALY", 世界限定 200 台の販売である "SINFONIA 25th Anniversary" は Gold Lion の KT88 を使用し、トランスは広帯域低歪み特別品が使われます。

SINFONIA/25th	3号館 展示中	定価	700,000 円
SIMPLY-ITALY	1号館 展示中	定価	220,000 円
TRIODE(USB 無)	NEW	定価	380,000 円
TRIODE(USB 付)	NEW	定価	420,000 円
PERFORMANCE	3号館 展示中	定価	1,200,000 円



Vacuum 6W

NEW

アメリカのバトラーオーディオの小型真空管アンプがマイナーチェンジ。
小型で価格も手頃ですが、高音質パーツが随所に採用された設計は作り手のこだわりが強く感じられます。



Vacuum 6W

定価 47,000 円



QC24

現代のコントロールアンプに求められる CD を中心としたライン・レベル信号をストレートに伝送するための必要最小限のシンプルなレイアウトを採用しています。



プリアンプ
QC24(フォノなし)

テスト
レポート

定価 210,000 円

パワーアンプ

2CLASSIC 定価 600,000 円



TRV-88SER/Vintag



まやかしではない真空管の滑らかな音と響きの美しさ、トランジスターアンプの持つワイドレンジで細やかな音質の両立を目指しました。このアンプは無機物を有機物に変えるように、音楽信号に暖かな命を与えます。「Vintage の味わい」をこのアンプは持っています。

Stingray/Ultimate



一音が出た瞬間リスナーが感動で鳥肌を立てるような深みと、味わいのある音に仕上がっています。力強く厚みのある低音と滑らかでコクのある中域、芯のある高音のどれもが Vintage パーツを使った真空管アンプでしか出せない音です。

TRV-88SER/Vintage
Stingray/Ultimate

1号館
展示中

3号館
展示中

定価 288,000 円

3号館
展示中

定価 699,000 円



MC75

テスト
レポート

NEW



C22 と同時に発売が開始された真空管モノラルパワーアンプ MC75 は、最大出力が 75W とかなりの「力持ち」です。

プリアンプ

C500C/T

定価 1,700,000 円

C2500

定価 900,000 円

C22

テスト
レポート

定価 660,000 円

パワーアンプ

MC275VI/Ver.6

定価 750,000 円

MC75(ペア)

定価 1,100,000 円

MC2301(ペア)

定価 3,400,000 円

Analogue



NOTTINGHAM
ANALOGUE

ノッティンガム・アナログ・スタジオ「Spacedeck」は、レコードプレーヤーの歴史にその名を刻んだ伝説のターンテーブルであり、今もなお、ノッティンガム・アナログ・スタジオを代表するベストセラーモデルとして支持され続ける不滅のターンテーブルです。

アナログ中のアナログとも言うべきノッティンガム・アナログ・スタジオ「Spacedeck」の深い沈黙をお聴き下さい。

DAIS/SHORTARM	定価 1,980,000 円
SPACE 294	定価 958,000 円
SPACE DECK	定価 498,000 円
INTERSPACE/Jr	定価 348,000 円

SPACE DECK

オススメ



THORENS

TD240-2

オススメ



トーレンス社製品の底に流れる基本精神は、高品質と高信頼性です。レコードプレーヤー・システムの音楽再生上のクオリティをトーレンス独自の精緻さで突き詰めていった結論こそ、ベルトドライブ方式。現在、他のいかなるドライブシステムも、トーレンス・ターンテーブルの音楽再生クオリティを凌駕し得ないという事実は、その選択の確かさをうかがわせざるを得ません。

TD309	定価 304,000 円
TD295MkIV	定価 187,000 円
TD240-2	定価 169,000 円
TD190-2	定価 114,000 円

1号館
展示中

テスト
レポート

LUXMAN

PD-171A



精密制御・高トルクモーターによるベルトドライブ方式に滑らかな回転を約束する重量級ターンテーブル／高剛性スピンドル。さまざまなカートリッジを楽しめるユニバーサル型トーンアームを搭載し、快適で高音質なレコード演奏をお楽しみ頂けます。

PD-171A	定価 495,000 円
PD-171AL(アームレス)	定価 395,000 円

Phase Tech

定価 45,000 円

T-500



生産完了品「T-1」で採用していた特殊巻線構造を量産モデルにも採用しました。完全バランス型の入力部を採用し、外部ノイズの影響をほぼ完全に遮断。素材や構造も見直した、アナログの魅力さをさらに引き出します。

昇圧トランス

T-300	定価 45,000 円
T-500	NEW 定価 90,000 円

ヘッドシェル

CS-1000	定価 16,000 円
---------	-------------

フォノイコライザー

EA-300	NEW 定価 250,000 円
EA-200	定価 90,000 円

MC モノラルカートリッジ

PP-MONO	定価 180,000 円
---------	--------------

MC カートリッジ

PP-1000	定価 320,000 円
PP-300	定価 125,000 円



T4-291

驚くほど表情が豊かで彫りが深く、イキイキとした「ビンテージ」の良さが溢れる音が再現されます。

昇圧トランス

T4-291

テスト
レポート

BV-33

テスト
レポート

オススメ

定価 90,500 円

定価 378,000 円



WFB-For-Analogue

レコードプレーヤーのハウリングを強力に防止し、音の広がりや細やかさ、躍動感を大幅に改善します。その大きな効果を是非あなたのプレーヤーでお試しいただきませ。



オーディオボード

WFB-For-Analogue

テスト
レポート

定価 49,300 円

その他のアナログ関連製品

種別	メーカー	型式番号		定価	販売価格
アナログプレーヤー	PRO-JECT	Essential II Phono USB		オープン	77,100
MM(MI) カートリッジ	Goldring	2300		70,000	58,200
		ELEKTRA		17,000	14,100
		ELAN		15,000	12,400
MCカートリッジ	ORTOFON	SPU-Synergy(特価)		196,000	158,000
	Phasemation	P-1G(特価)		286,000	185,000
	Goldring	ELITE		140,000	116,000
	ZYX	R-50/BLOOM II		90,000	75,100
	AUDIO-TECHNICA	AT33PTG-2		72,000	51,300
MCモノラル カートリッジ	ORTOFON	CG25DI/MK2		88,000	76,900
ヘッドシェル	JELCO	HS-25		6,000	4,730
フォノイコライザー	EAR	834P MM		198,000	171,000
	QUAD	QC24P		320,000	267,400
昇圧トランス	EAR	MC4		288,000	248,000

逸品館っパネタ広場

逸品館冬のダイレクトメールには AIRBOW 冊子 最新版が同封されています！

PC & Network-audio



アクセサリとヘッドホンを除く AIRBOW 全製品は、「24 ヶ月保証」

DA3N/Analogue 2

オススメ



最新型の 24bitDAC を搭載。PC からの音源をアナログレコードで聞くような滑らかで温かい表情をお楽しみいただけます。

NA8005/Studio

USB

オススメ

NEW



最新のネットワークオーディオ環境に対応した新モデル！自然で広がりのある AIRBOW サウンドの「標準モデル」と解像度の高いハイレゾ音源をより良く表現する「ハイレゾモデル」をご用意しました。※ご注文時にモデルをご指定下さい。

NA11S1/Ultimate

USB

オススメ



ネットワークプレーヤーのフラッグシップモデル。PC 接続・ネットワーク接続を問わず、ハイエンドプレーヤーで再生するような音楽性豊かな表情が楽しめます。

SINGINGBOX4

NEW



コンパクト&高音質で人気の SingingBox 最新モデル！よりエネルギッシュに、より感情豊かに、大きくその表現力を向上しています。

MSS-i5/MSHD

NEW



最新 OS「MSHD ver.3.0」を搭載し、オーディオ PC として、高音質 DLNA サーバーとして PC オーディオのベストパートナーとして楽しめます。

D/A コンバーター

DA3N/Analogue2

1号館
展示中

3号館
展示中

販売価格 390,000 円

D07X/Ultimate

3号館
展示中

販売価格 390,000 円

ネットワークプレーヤー

NA8005/Studio

1号館
展示中

3号館
展示中

販売価格 208,000 円

NA11S1/Ultimate

動画

3号館
展示中

販売価格 465,000 円

ミュージックサーバー

MSS-i3/MSHD

販売価格 205,000 円

MSS-i5/MSHD

3号館
展示中

テスト
レポート

販売価格 248,000 円

MSP-i5/MSHD

1号館
展示中

販売価格 313,000 円

ネットワーク対応レシーバー

SINGINGBOX4

1号館
展示中

3号館
展示中

販売価格 123,000 円

Pioneer

価格は入門～中級機。しかし音質は高級機。

N-50A **USB** **NEW****N-70A** **USB** **NEW****ネットワークオーディオプレーヤー**

N-50A	定価	89,500 円
N-70A	定価	142,000 円

「N-70A」は DSD など最新のハイレゾリューション音源に対応し、バランス出力を装備するなど、高品位な音楽再生を実現するネットワークオーディオプレーヤーの最上位モデルです。「N-50A」は外付け HDD との USB 接続に対応し、手軽にハイレゾリューション音源を再生できるネットワークオーディオプレーヤーです。

両機種ともに、左右独立した DAC と、デジタル/アナログ専用トランスの搭載によりノイズを大幅に低減し、最新のハイレゾリューション音源を含むさまざまな音声ファイルフォーマットを高解像でクリアに再生します。

HEGEL

抜群の躍動感。海外勢の中でも頭一つ出た北欧製

北欧ノルウェーのオーディオメーカー HEGEL（ヘイゲル）は侮りがたい実力派。2014 年発売の手のひらサイズに収まる「Super」は、そのサイズからは想像できない驚きの表現力。この小さなボディから流れ出す「音の洪水」を是非ご体感ください。

D/A コンバーター

HD11	1号館 展示中	テスト レポート	定価	120,000 円
HD12	NEW	12 月初旬発売予定	定価	160,000 円
HD25	3号館 展示中	テスト レポート	定価	300,000 円

Super **NEW**

オススメ

HD25Super **テスト
レポート** 定価 50,000 円**north star design** ハイレゾ時代の王道をゆく、高解像度サウンド

North Star Design は、イタリアのデジタル・コンポーネンツ専門メーカーです。同価格帯の DAC のほとんどは、シンプルな外観ですが、North Star Design は伝統的に高級コンポのように美しいフロントパネルを採用します。音質もきめ細かく上質です。

D/A コンバーター

INTENSO	テスト レポート	定価	165,000 円
IMPULSO	テスト レポート	定価	220,000 円

INTENSO**IMPULSO****LUXMAN**

PC がレコードになる。この安心感こそが信頼の証

DA-06

LUXMAN のフラッグシップ DA コンバーター
厚みのある豊かな低域に艶やかで潤いのある中高域。しっとり
と滑らかな表情で PC からの音楽が楽しめます。

DA-06	テスト レポート	定価	300,000 円
DA-100		定価	68,000 円

あらゆる音源に対応する最高のスペックと、音楽を語り得るオーディオの粋の融合。これがハイレゾリューション再生へのラックスマンの答えです。いま手にできる音源のすべてを受けとめるパフォーマンスは、最新世代の DSP によるデジタル処理とこだわりのアナログ技術によるもの。コンポーネントとしての質を極め、オーディオと音楽のまだ見ぬ新たな到達点へ。DA-06 がその道を照らします。

DA-200	1号館 展示中	テスト レポート	動画	定価	148,000 円
--------	------------	-------------	----	----	-----------

ESOTERIC

圧倒的な情報量と繊細さに、息を呑む

各チャンネルへの理想的な電源供給を目指し、2004 年に世界初のモノラル D/A コンバーターとして登場した D-01 のモノラル構成を踏襲。D-01 を上回る物量と新しいテクノロジーをふんだんに投入してブラッシュアップしました。左右のチャンネルは、付属の HDMI ケーブル 1 本でリンク接続できるようになり、外部ソース機器からの入力も容易に。モノラル構成ならではの定位感と奥行き感に富んだ、圧倒的なステレオの世界をご堪能ください。

D/A コンバーター

Grandioso D1 (1 台) 動画 定価 1,250,000 円
D-07X 定価 300,000 円

Grandioso D1



TAD

最先端のハイレゾリューション体験を、手に入れる

DA1000

オススメ



ハイレゾリューション時代を拓く新鋭 DAC「TAD-DA1000」。ハイサンプリング音源に秘められた臨場感や感動までも、忠実に鮮やかに描き出します。ハイレゾリューション・サウンドの醍醐味を、多彩なスタイルで享受できます。

D/A コンバーター

DA1000 定価 1,200,000 円

ROTEL

低価格で良い音が手に入る

RDD-1580

テスト
レポート

NEW



RDD-1580 の魅力は「素の良さ」を持っていることです。特に MSS-i3/MShD との組み合わせで聞かせてくれたノイズ感が感じられない、滑らかで柔らかな音は印象的です。

D/A コンバーター

RDD-1580 定価 150,000 円

C.E.C.

DA3N



「そこそこの価格」で「最高レベルに近い DAC」をお探しの方に。

DA3N 定価 250,000 円

audiolab

M-DAC

1号館
展示中

テスト
レポート



仕上げる質感が高く、機能が豊富で、音が良い USB-DAC です。

M-DAC 定価 130,000 円

USB DAC / ヘッドホンアンプ

marantz

HD-DAC1

テスト
レポート

NEW



定価 108,000 円

Marantz 初のヘッドホンアンプ。NA-11S1、NA8005 で培ったデジタル技術を余す所なく投入しサイズからは想像もつかない雄大な表現を味わえます。音質だけでなく機能や外観からも高級オーディオメーカー "Marantz" らしい「おもてなし」が随所に感じられる製品です。

DENON から 2014 年突如発表されたポータブルヘッドホンアンプ兼 USB-DAC。コンパクトなボディながら USB-DAC 時は DSD ネイティブ再生にも対応し、手のひらに収まるサイズからは思えない、エネルギーな表情で魅せます。外では高音質ヘッドホンアンプとして、内では高性能 DAC として。状況に応じて使い分けができる製品です。

DENON

DA-10

テスト
レポート

NEW



定価 OPEN

Pioneer

U-05

NEW



定価 105,000 円

Pioneer から発売されたヘッドホンアンプ兼 USB-DAC。マニアもニヤリとさせる多数の出力端子が魅力です。

marantz

透明感に自信あり

Hi-Fi グレードの新開発パーツの投入、妥協のないサウンドチューニングによりさらなる音質の改善を実現。これ一台で「完璧！」にネットワークオーディオを本格的に楽しめる、お薦めの CD レシーバーが“ M-CR610”です。

M-CR610

1号館
展示中

ネットワークプレーヤー

NA8005 定価 129,500 円
NA11S1 1号館 展示中 定価 330,000 円

ネットワーク対応
レシーバー

M-CR610 定価 66,000 円



新しい音楽のカタチ「MUSIC BIRD」

MDT-3CS



専用チューナー

MDT-3CS

1号館
展示中

販売価格 96,900 円

Conclusion C-T1CS

3号館
展示中

販売価格 123,400 円

専用アンテナプレゼントキャンペーン実施中！

1月20日まで期間限定で専用チューナーをお求めの方に専用アンテナ(12,800円相当)プレゼントを実施中。詳しくは、お問い合わせください。

audioquest

ケーブル界のトップ・ブランド。驚異的なハイ C/P とラインナップの豊富さが魅力

オーディオ LAN ケーブル

0.5% の銀コートを施した LGC (Long Grain Copper) 導体を採用し、歪みとノイズの少ない Ethernet 伝送を実現します。



RJ/FOREST



RJ/CINNAMON

1.25% の銀コートを施した高純度銅導体を採用し、歪みとノイズの少ない Ethernet 伝送を実現します。

RJ/FOREST/0.75m	定価 3,619 円	RJ/CINNAMON/0.75m	定価 8,666 円
RJ/FOREST/1.5m	定価 4,380 円	RJ/CINNAMON/1.5m	定価 9,809 円
RJ/FOREST/3.0m	定価 6,095 円	RJ/CINNAMON/3.0m	定価 12,380 円
RJ/VODKA/0.75m	定価 21,904 円	RJ/DIAMOND/0.75m	定価 74,285 円
RJ/VODKA/1.5m	定価 31,428 円	RJ/DIAMOND/1.5m	定価 137,142 円
RJ/VODKA/3.0m	定価 47,619 円	RJ/DIAMOND/3.0m	定価 261,904 円

USB ケーブル



クエストらしい整った（チューニングされた）音質とオーディオグレードの高音質が兼ね備わったすばらしい製品です。

USB/FOREST2/0.75m	定価 3,600 円	USB/CINNAMON2/0.75m	定価 7,400 円
USB/FOREST2/1.5m	定価 4,400 円	USB/CINNAMON2/1.5m	定価 8,600 円
USB/FOREST2/3.0m	定価 6,000 円	USB/CINNAMON2/3.0m	定価 11,000 円
USB/CARBON/0.75m	定価 12,000 円	USB/DIAMOND2/0.75m	定価 69,000 円
USB/CARBON/1.5m	定価 16,000 円	USB/DIAMOND2/1.5m	定価 74,000 円
USB/CARBON/3.0m	定価 24,000 円	USB/DIAMOND2/3.0m	定価 124,000 円

aet

エントリーモデルでも aet の息遣いを感じる

EVO-0508/0.6m	定価 16,800 円
EVO-0508/1.0m	定価 18,000 円
EVO-0508/1.5m	定価 19,200 円

犬組

犬組は約2名です。定番のワンちゃんですが、逸品館では少数派の一人暮らしが多いのも影響？



2014 年度版 逸品館の動物組の様子を見てみましょう！



猫組

猫組は約4名です。自称猫マニアをはじめ、僅差ながら一番人気を確保！



ウサギ組

ウサギ組は1名です。一時ゲームになったウサギちゃんも、今は下火??

キリン組

0名です。そろそろ誰か飼い始めてもいいのでは?と編組は思ってるのですが、小型キリンとかでないですかね?



ROTEL 製品試聴

ROTEL RDD-1580



ROTEL RDD-1580

希望小売価格 ¥ 150,000



Rotel RDD-1580 は、LAN (Ethernet) に対応しない USB 入力を備える DAC です。付属する専用ドライバーのインストールで USB Class 2.0 (192kHz/24bit) の再生に対応しますが、DSD は非対応です。このモデルの音質を確認するため、スピーカーを Vienna Acoustics Beethoven Concert Grand(T3G)、CD プレーヤーとアンプは AIRBOW SA14S1/PM14S1 Master を使って音質テストを行うことにしました。

試聴機材

今回の試聴では、受け側 DAC だけではなく、送り側 PC の音質を比較するため、Windows7 Professional (i5) をインストールしたノート PC と AIRBOW MSS-i3/MSHD を使いました。また、Rotel RDD-1580、AIRBOW SA14S1 Master 共に iPod の接続に対応するので、追加で愛用の iPod Touch/ 第 5 世代を繋いで PC と音質を比較しました。



Vienna Acoustics Beethoven Concert Grand(T3G)



AIRBOW SA14S1 Master



AIRBOW PM14S1 Master



「Windows7pro」をインストールした PC。CPU は i5、再生ソフトは MSS-i3 に合わせて、「VLC Player」を使いました。



「i-cat MSHD/Linux」をインストールした AIRBOW MSS-i3/MSHD。CPU は i3。再生ソフトは「VLC Player」を使いました。



「i-OS7」をインストールした、i-Pod タッチ / 第 5 世代も比較に使いました。再生ソフトは、i-Tunes です。

音質テストの概要

当初 RDD-1580 を使って Windows PC と AIRBOW MSS-i3/MSHD の比較を行う予定でした。RDD-1580 の説明書には「専用のドライバーを入れない場合、USB Class 1.0 で繋がり、96kHz/24bit までのデータを再生可能」と書いてあったので、ドライバーを入れずに Windows PC に接続しました。しかし、ドライバーが不明と表示されて RDD-1580 が認識されません。届けられた試聴機には付属するはずの専用ドライバーが見当たらず、また Rotel の HP からは専用ドライバーが供給されていないのでしかたなく、今回は RDD-1580 と Windows PC を組み合わせた音質テストはパスすることになりました。

このままでは RDD-1580 の USB 入力の音質がテストできません。そこでオーディオ用にチューンした Linux を搭載する AIRBOW MSS-i3/MSHD を送り側機に使用して USB 接続の音質を AIRBOW SA14S1 Master と比較することにしました。Windows が対応しない DAC に Linux が対応することを疑問に思われる方がいらっしゃるかも知れませんが、MSS-i3/MSHD が搭載する MSHD は、特別な場合 (YAMAHA の新製品) などを除き、ほとんどの機器と USB 接続が可能なのです。また、一部のモデルでは搭載する VLC の機能を使って 192kHz/24bit までのハイレゾ音源の再生も可能です。VLC が対応しない USB 機器とは 44.1kHz 固定で繋がり

ますが、ハイレゾとの音質差はほとんどありません。今回テストした DAC (CD プレーヤー) だけではなく、ハイレゾ対応 USB-DAC で CD をリッピングした音源とハイレゾ音源を比較しましたが、高級機になればなるほど 44.1kHz/16bit と 192kHz/24bit の差が小さくなります。最近発売される高級 CD プレーヤーでは、ハイブリッドディスクを再生した場合の CD レイヤーと SACD レイヤーの音質差が無視できるほど小さいかあるいは逆転することがあります。DAC も良く出来たモデルなら、ハイレゾとノーマル音源、DSD とノーマル音源の差はほとんどありません。それらの高級機で実際に再現される音楽の音質差は、ハイレゾ、DSD、ノーマル (CD と同



添付される付属品 (プロトタイプ)

AC ケーブル、リモコン、RCA ケーブル、外部機器制御用・フォンケーブル、USB ケーブル、ドライバーインストール CD-ROM

じ 44.1kHz) というデータファイル形式よりも、「ソフトの録音そのもの」による音の違いの方が遙かに大きく感じられます。

そういう理由で今回は、AIRBOW MSS-i3/MSHD を送り側に使い、ファイルは CD をリッピングした 44.1kHz/16bit の WAV だけを使いました。しかし、Windows PC を送り機に使う場合と、AIRBOW MSS-i3/MSHD を送り機に使う場合では音質に大きな差があります。そこで誤解を招かないよう、このテストではまず AIRBOW

SA14S1 Master を USB 接続した場合の Windows PC と AIRBOW MSS-i3/MSHD の音質を比較した後で、Rotel RDD-1580 の音質をレポートすることにしました。

送り側に Windows PC を使った場合の AIRBOW SA14S1 Master の音質



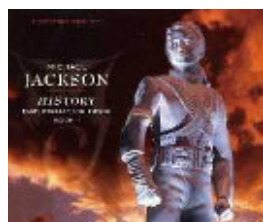
Windows7pro



SA14S1 Master



PM14S1 Master



Michael Jackson "Billy Jean"

AIRBOW SA14S1 Master で聞く CD (リッピング元) に比べ、音の立ち上がりが見えに遅く、また周波数帯域上下のレンジが削られてかなり音質が「圧縮」されたように感じま

す。

音の分離感や解像度感も CD に劣り、音場が濁って一つずつの音にも切れ味と鮮やかさを感じません。

悪い音、嫌な音ではありませんが、中庸に鳴っている感じです。



Nora Jones "Cold Heart"

マイケル同様、CD に比べて音場が濁っています。それぞれの音の分離も悪く、楽器の音色やボーカルの表情に鮮やかさが感じられま

せん。

分厚いカーテンの向こう側に設置したスピーカーで聴いているようです。



Hilary Hearn "Bach Concerto"

このソフトは元々音場が濁って聞こえるので、PCをトランスポートに使うことによる欠点はあまり感じられません。

バイオリン、チェロ、コントラバスの各パートの音は分離して聞き取れますが、CD よりも楽器の音色の描き分けが甘く、バイオリン、チェロ、コントラバスの特長がうまく再現されません。

この文章だけを読むと「かなり悪い音」のように思われるかも知れませんが、絶対的には悪い音ではありませんし、音楽性を損ねる妙な癖も感じられません。このレポートはいつも聞いている「相当良い音」との比較なので、音楽を聞くには十分な音は出ている感じです。

送り側に AIRBOW MSS-i3/MSHD を使った場合の AIRBOW SA14S1 Master の音質



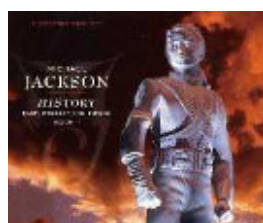
MSS-i3/MSHD



SA14S1 Master



PM14S1 Master



Michael Jackson "Billy Jean"

一音目からまったく音が違います。空間が濁らずに大きく広がり、一つずつの音が磨かれたように輝いて力があ



Nora Jones "Cold Heart"

Windows PC と比べて前後方向へ音場がより大きく展開します。また、音場空間の濁りも取れて見通しが良くなりました。目の前に

あった分厚いカーテンが取り払われたようです。

ピアノの響きの余韻の長さ、ボーカルの息づかい、ウッドベースの弦を押さえる左手の圧力変化、そういった「高級オーディオでしか味わえない世界」が再現されるようになりました。



Hilary Hearn "Bach Concerto"

送り側の PC を変えると、コンサートホールの座席位置が変わります。

Windows PC はコンサートホール後方で音が混濁して聞こえる状

Windows の音質を MP3 に例えるなら、MSS-i3/MSHD は CD 以上の音に感じられます。

低音は弾み、高音は抜けています。音の細かさや飛躍的に向上し、Windows PC では団子になっていた音の重なりが綺麗に分離します。

音の次元が大きく変わりました。

態。MSS-i3/MSHD は楽器からの直接音と間接音のバランスが最も良いとされる SS 席に該当し、さらに楽器からの直接音とホールの反射音(間接音)が聞き分けられそうなくらい、音が細かくまたそれぞれの特長がきちんと再現されます。文句を付けるなら、CD に比べて弦楽器の高次倍音が完全に再現されていないように感じる部分でしょうか。生楽器はもっと高い周波数のエネルギーが高いはずなのに、その部分が若干スポイルされているように感じます。しかし、オーディオと生楽器では元々そういう高周波に近い周波数帯域の音が一番違うので、これくらいは仕方ない事だと思います。

送り側に AIRBOW MSS-i3/MSHD を使った場合の Rotel RDD-1580 の音質



MSS-i3/MSHD



Rotel RDD-1580



PM14S1 Master

Michael Jackson
“Billy Jean”

低音にシッカリしたボリュームがあり、全体的に肉厚な音です。しかし、リズムが若干重く、伴奏とボーカルの関係も SA14S1 Master

のようにピッタリと合っている印象がありません。

しかし、RDD-1580 は多くの USB-DAC で問題となる高域のノイズをまったく感じられないほど音はクリアで、伴奏とボーカルの分離にも優れ、音楽を楽しめる良い音の USB-DAC という印象です。



Nora Jones “Cold Heart”

ウッドベースの音に厚みがあり、ボディーの木の暖かさを感じます。ノラ・ジョーンズの声にも厚みがあり、女性らしくまたふよかな彼女の若々しいボディーを連想させるような艶のある音が出ました。

ピアノは少し響きがマイルドですが中低音にしっかりとした厚みがあり、高価なピアノらしい良い音が出ます。

マイケルで感じた「リズムの重さ」はこの曲ではまったく問題とならないばかりか、曲の流れに余裕を生み好印象。大きな川が海に向かって流れるような、ゆったりとした暖かい音でノラ・ジョーンズが聞けました。



Hilary Hearn “Bach Concerto”

SA14S1 Master にくらべるとコンサートホールの大きさがやや小振りに感じられます。また、気になっていた弦楽器の高次倍音もさらにミュートされたよう

に聞こえますが、無理に伸びていない分違和感が小さいように感じられます。

上手にデフォルメされたオーディオの音ですが、縮尺や要約のスケールが正確なので音楽の再現性にはまったく影響を与えません。

ヒヤリングを行ったテスターが「好みや感覚に合わせて作った音」という感じがなく、DAC チップメーカーから供給される評価回路をそのまま組んだような、良い意味で癖や機械のいやらしさの感じられない、フラットな音でヒラリー・ハーンが聞けました。

iPod Touch 第五世代

本来は PC による音質比較で USB DAC のレポートを終えるのですが、最近私は好んで愛用の iPod Touch(第 5 世代 /ios7) を AIRBOW 機器に接続して聞いています。それは iPod が多彩なプレイ「プレイリスト、シャッフル、ジニアスプレイリストなど」を備え、長時間ジューク BOX 的に音楽を聞くのにとても適していることに加え、音源を MP3(320bbs) で圧縮して収録しているにもかかわらず、下手な CD プレーヤーよりも音が良いと感じる事が少なくないからです。そこで今回は、追加テストとして AIRBOW SA14S1 Master と RDD-1580 に備わる Front USB 端子に愛用の iPod Touch (第 5 世代 /IOS7) を繋いで聞いてみました。



送り側に iPod Touch を使った場合の Rotel RDD-1580 の音質 (接続は iPod Touch に付属の USB ケーブルを使用)



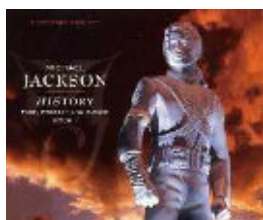
iPod Touch/ 第 5 世代



Rotel RDD-1580



PM14S1 Master



Michael Jackson “Billy Jean”

SA14S1 Master + Windows PC で聞けた音よりは明らかに解像度が高く、音場の濁りも少なく良い音です。

高域にはまったくノイズ感がなく、ボーカルも滑らかです。聞き耳を立てると音の数が少し少なく、音が重なったところの裏側の音が少ないように感じます。また低音のボリューム感も小さくなっていますが、バランスに優れているので音楽を楽しんで聞けます。自然で違和感のない楽しい音です。

MSS-i3/MSHD に繋いだ場合の RDD-1580 の音を 10 として 8 近くまで出ているかもしれません。



Nora Jones “Cold Heart”

ウッドベースの量感が若干失われ、ウッドベースの音量が少し小さくなりました。しかし、ベースが後に下がった分ボーカルが前に出て心地よい感じです。

絶対的な情報量や音質は劣化しているはずなのですが、全体のバランスや雰囲気は優れるので、オーディオ的に聞き耳を立てなければそれが気になりません。

また、PC をトランスポートにした場合は、音が途切れ途切れに感じられる(音が滑らかに繋がらず、音と音の間に隙間があるような感覚)事があるのですが、iPod Touch の音は滑らかに繋がりが、レコードや CD のようにディスクを回転させて音楽を聞いているのに近いイメージの音が出ます。

まったく不満を感じない良い音でノラ・ジョーンズが聞けました。



Hilary Hearn “Bach Concerto”

iPod Touch だとやっぱり、安心できる良い音です。WindowsPC を大きく超えるこの良さは一体なんでしょう？下手をすると MSS-i3/MSHD よりも音が有機的で滑らかに感じられるほど良い音で

す。

音の細かさ、周波数帯域の広さなど HiFi 性能では MSS-i3/MSHD が iPod Touch を大きく凌駕しますが、音楽を聞くだけなら iPod Touch でも十分な音が出せると思います。

音源を「WAV」で取り込むのと記憶領域が限られる「iPod Touch」ですが、音質は WindowsPC を明らかに超えています。

送り側に iPod Touch を使った場合の AIRBOW SA14S1 Master の音質 (接続は iPod Touch に付属の USB ケーブルを使用)



iPod Touch/ 第 5 世代



SA14S1 Master



PM14S1 Master



Michael Jackson "Billy Jean"

出てきた音を聞いて驚きました。MSS-i3/MSHD をソースにしているときは、SA14S1 Master と RDD-1580 の能力はかなり拮抗しているように

感じたのですが、iPod Touch で聞き比べるとかなりの差が感じられたのです。iPod Touch で比較する SA14S1 Master は、音の細かさ、明瞭度、鮮やかさで RDD-1580 を大きく上回ります。

RDD-1580 と SA14S1 Master で iPod Touch を聞いて感じるのは、音質面で明らかに MSS-i3/MSHD に iPod Touch は引けを取るものの、それを凌ぐほどのバランスに優れる滑らかな音は実に魅力的で、雰囲気良く音楽を聞かせるのです。雰囲気優先！音楽を楽しませる！という部分を重点的に AIRBOW 製品は音作りしますが、iPod Touch はそれに似ています。

AIRBOW の入門機のように音質を欲張らず音楽の雰囲気を事に醸し出せる iPod Touch。こんなに小さな機械からこんな素敵な音が出る。これはすごいことです。



Nora Jones "Cold Heart"

意外性に驚かされましたが、ここで少し冷静になって、分析的に音を聞いてみました。

iPod Touch の音は周波数帯域の上下が若干ドロップした「音楽再生に理想的とされる、かまぼこ形のエネルギーバランス」を持っています。聞こえると気になる高音が上手く端折られているので、音質の劣化が気にならないのです。また、響きの成分も多めに再生されるので、音楽の雰囲気や演奏会場の空気感が上手く再現されます。

普及価格帯のゼネラルオーディオの iPod Touch ですが、その音作りの手法が AIRBOW の高級コンポに見事にマッチし、そのサイズや価格が信じられないほど心地よい雰囲気音楽が再現されます。以前から、私は iPod Touch や iPad の音が良いと感じていましたが、iPod-USB インターフェイスの進歩と共にそれがさらに磨かれてきたようです。



Hilary Hearn "Bach Concerto"

響きが多く滑らかな音です。

音がとても自然にシームレスに流れるので、違和感なく楽しく音楽を聞くことができます。その音は良くできた A クラスアンプや、真空管アンプのそれに近いイメージです。

弦楽器の高音が若干丸いのですが、その減衰する感じが自然(物理的な減衰に近い)ので音質劣化が気になりません。逆にこのソフトでは高音が丸められていることで、グラムフォン系のソフトの問題である「空間の濁り」や「楽器の異質な重なり感(倍音がぶつかる)」が全く気にならないというメリットさえ感じました。

最新のソフトの多くは「ゼネラルオーディオ(通常音質の機器)」に合わせて作られています。細かい音まで収録するのはなく、各々の楽器の音の明瞭度を高めて収録しています。そのようなソフトを高級オーディオで再生すると、本来は再生されるべきではない「楽器の音を録音しているマイクが拾ったその場の間接音」まで再生されてしまうので空間が濁り、音の広がりや定位が悪くなるのです。

しかし、iPod Touch のちょうど良い音質劣化が、「問題となる部分」をスポイルしてくれるので、より雰囲気良く音楽を自然に楽しめたのだと思います。

CD ソフト

試聴の締めくくりに CD を聞きました。

まず SA14S1 Master で PC にリップした元 CD を聞き比べ、さらにヒラリー・ハーンのソフトでは SACD レイヤーの音質もチェックしました。

さらに AIRBOW SA14S1 Master の上級モデル CD3N Analogue を CD で SA14S1 Master と聞き比べました。ベルトドライブ CD プレーヤーという希有な存在感を放つ、CD3N Analogue は一体どのようなサウンドで音楽を奏でてくれたのでしょうか？



Hilary Hearn "Bach Concerto"

このディスクはハイブリッドなので、CD と SACD の両方で聞いてみることにしました。

CD レイヤー

弦楽器の高音と倍音がシッカリ伸びて、音に芯が出ます。バイオリン、チェロ、コントラバスのパートの分離も明解になり、情緒的な雰囲気にバツハらしい理知的な味わいが加わり

ました。

iPod Touch で聞くヒラリー・ハーンは気軽なライブを聴いている印象、CD ではそれが本格的なコンサートを聴いている印象に変わります。

正装して音楽をきちんと聞きたい。そういう折り目正しく美しい音でヒラリー・ハーンが聞けました。

SACD レイヤー

楽器の音が細くなりました。CD で聞く弦楽器の音は「クッキリ」していましたが、SACD レイヤーではそれが「滑らか」に感じられます。

この曲では CD のクッキリした音が、よりバツハらしい「区切り感(言語で言う音節)」の鮮やかさが感じられ好印象でしたが、逆にドビュッシーのような印象派の音楽には SACD の滑らかさがマッチしそうです。しかし、いざいずれにしても最近メディアが主張する「DSD の圧倒的高音質の優位性」はまったく感じることができません。

CD プレーヤーの進歩により CD の音質が大きく向上した結果、ハイレゾや DSD (SACD) の必要が薄くなったように思います。ほとんどの音源が CD であることを考えれば、これはとても喜ばしいことです。

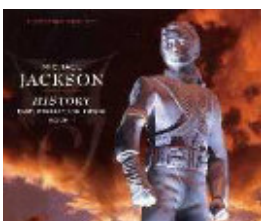
SA14S1 Master で CD を試聴



SA14S1 Master



PM14S1 Master



Michael Jackson "Billy Jean"

「音質」という意味では、今回試聴した中で CD がベストでした。

高音が綺麗に伸びて、それぞれの音の分離、質感にも優れています。

これぞ高級オーディオの良い音だ！というイメージでマイケルが鳴ります。

iPod Touch の音が、えもいわれぬソフトフォーカス感が醸し出す良い雰囲気音楽でマイケルを楽しませてくれるのなら、CD はきちんとした高音質でマイケルを楽しませてくれます。

iPod Touch の雰囲気音楽の良さにさらに、音の良さ(良い音を聞く)という喜びが加わりました。



Nora Jones "Cold Heart"

WindowsPC と比べて音それぞれに「品位の高さ」を実感します。

密度が高く端正で美しい音で楽器が鳴り、音楽が奏でられます。楽器奏者のタッチの変化、ノラ・

ジョーンズの声の変化、細かい部分の再現性は、やはり iPod Touch とは比較にならないくらい向上します。

オーディオマニアがこだわる「音質」では CD が一番です。「高級」という言葉で表される何かがしっかりと伝わります。

雰囲気音楽に逃げることなく、真っ直ぐ良い音を出してノラ・ジョーンズをがっちり聞かせてくれました。

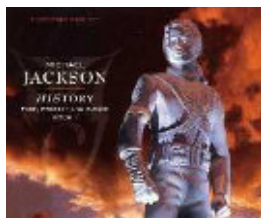
CD3N Analogue で CD を試聴



AIRBOW CD3N Analogue



PM14S1 Master



Michael Jackson "Billy Jean"

SA14S1 Master よりも高音がスッキリと伸びて、音場がより開放的に広がります。

従来ベルトドライブの弱点とされていた、低音の膨らみや高音の芯の弱さはまったく感じられませんでした。

同じ DAC を搭載する DA3N Analogue2 よりも、音質がややさっぱりしているとカタログに書いた CD3N Analogue ですが、それでも楽器の色彩感 SA14S1 Master よりも濃厚で鮮やかです。

マイケルが早口で発音する英語がすべて聞き取れ、高音の表情も繊細で豊かに再現されます。また楽器とボーカルの対比や、各々の音の対比も非常に鮮やかです。

美しく彩色された色鮮やかな映像を見ているような美しさと、ドラマティックな躍動感でマイケルが鳴りました。



Nora Jones "Cold Heart"

今日はもう十分「良い音」を聞いているのですが、それでも CD3N Analogue の音を聞くと「安心」するから不思議です。

音は非常にきめ細かく、高音も驚くほどスッキリと伸びています。通常の HiFi 機器ではここまで音が良くなると、「音楽が HiFi になりすぎて分析的に聞こえ始める」のですが CD3N Analogue は CD の高音質と iPod Touch の醸し出す雰囲気の良い音を見事に両立させています。とても高品位な音ですが、オーディオを聞いているという違和感がなく、良い音で生演奏を聴いている雰囲気です。

SA14S1 Master で CD と iPod Touch を聞き比べたとき、音質では CD、雰囲気では iPod Touch に軍配を上げました。良い音と雰囲気の良い音は両立しにくいのですが、CD3N Analogue は CD の高音質と iPod Touch の醸し出す雰囲気の良い音を見事に両立させています。とても高品位な音ですが、オーディオを聞いているという違和感がなく、良い音で生演奏を聴いている雰囲気です。

AIRBOW の上級モデルセパレート CD プレーヤーの TL3N/DA3N Analogue は濃厚極まりない雰囲気の高さが魅力です。CD3N Analogue は雰囲気にとっぴりとまるす前端正さと艶やかさが両立した、純日本的な美しく艶やかな音でノラ・ジョーンズを鳴らしました。



Hilary Hearn "Bach Concerto"

CD3N Analogue でこのディスク (CD レイヤー) を聞くと、SA14S1 Master で聞く SACD よりもさらに弦楽器の台数が多く感じられます。

音の広がり感は十分ですがコンサートホールのサイズがさほど大きく感じられないのは、CD3N Analogue ではなく「グラムフォンの癖 (マルチマイクによる音場の混濁感)」が若干悪い方向に働いているのでしょう。

バイオリンの音は高音が美しく伸び、音にシッカリした芯の強さを感じられます。今回試聴した中でもっとも生の楽器の音に近い音です。チェロやコントラバスの音も同様にそれぞれの楽器の特徴的な音が明確に再現され、生演奏を聞いている音質と雰囲気音楽を楽しめます。

CD3N Analogue で聞くこのディスクは、音楽の躍動感、演奏の運動が見事に再現され、SA14S1 Master と比べても一段と精度と質が高められていることがよくわかります。

高性能でなおかつ自然な音。たぶんそれは CD3N (TL3N) が SACD よりも伸びやかに楽器の高音を再現できることに秘密があります。

ベルトドライブ方式の良さを生かし切る CD3N Analogue の高音は、SACD よりも遙かに良く伸びた自然な音質でヒラリー・ハーンを鳴らしました。

試聴後感想

今回の比較試聴では AIRBOW SA14S1 Master と Rotel RDD-1580 だけではなく、USB DAC としてそれぞれを使った場合の「送り側機 / デジタルトランスポート (PC や iPod)」の音質の比較を行いました。

今回の環境で Windows PC の音質は iPod Touch に及ばず、音楽を聞くには適しているとは思えないありさまでした。それに比べ、オーディオ用に特別チューニングを施した、Real Time Linux を搭載する MSS-i3/MSHD は、当然のことながら Windows PC の音質を圧倒しました。また、MSS-i3/MSHD は Windows PC のように専用ドライバーのインストールを必要とせず、繋げばすぐに USB DAC から音が出る (一部接続できない製品もあります) など使い勝手も Windows よりも優れています。Linux と聞くと敷居が高いイメージですが、意外に簡単で特別な知識なしでも使えそうです。MSS-i3/MSHD は今回、USB 接続での音質テストのみ行いましたが、HDMI や LAN 出力での高音質や搭載されるソフトを使った様々な機能を考え合わせるなら、価格相当の価値が出てくると思います。また同様の機能を持つ「NAS/Buffer 製品」などと比べても、音質機能面でそれを大きく上回ることを確認しています。

PC に比べ驚くほど小さく価格が安い iPod Touch は、音も貧弱に思われがちです。しかし、良質なヘッドホンを繋げばその音質は想像を遙かに超えるはずで、また、USB トランスポートとして使った場合も優秀で、今回のテストで付属ケーブルを使った場合でも、Windows PC の音質を超えました。もちろん、専用 OS を搭載するハイスpek PC の AIRBOW MSS-i3/MSHD

には及びませんが、その良さは私が名器と感じるフルレンジスピーカー BOSE 101 に似ているように思います。どちらもすべての音をきちんと出しますが、それを上回る「美味しい音」を「美味しく出す」大きな魅力を持っています。

しかし、iPod Touch は記憶域の容量が PC よりも小さいことが問題です。多数の楽曲を収録するにはどうしてもファイル (データ) を圧縮しなければならからです。私は音質をテストした結果、MP3 320kbps に音源を圧縮して iPod Touch に収録しています。この圧縮なら、ヘッドホンで聴く限り「音質劣化」はほとんど気になりません。ヘッドホンで聴く場合はそうでなくても USB DAC と組み合わせて使う場合、収録するファイルは圧縮しない方が確実に良い音が出せることも事実ですが、プレイリストの作りやすさ、自動で音楽を選曲してくれるなど、長時間音楽を聞くために便利な機能も搭載されているので、ジューク BOX 的に CD プレーヤーを使いたいとお考えなら、iPod Touch もしくは iPad で十分だと思います。

今回テストに使った、iPod Touch は第 5 世代の一番新しいもので、OS も iOS7 をアップグレードしています。手元と同じ音源を収録した第 4 世代の iPod Touch があるのでそれと音質を比較しましたが、はっきりした音の違いを感じました。しかし、しばらくそのまま聞いているとどんどん音が良くなってきたではありませんか。PC は iPod Touch は「デジタル機器」なのでウォーミングアップは必要なさそうですが、同じデジタル機器である CD や DAC がそうであるように、ある程度の

ウォーミングアップは必要かも知れませんが、PC にウォーミングアップが必要なんておかしい！と早合点しないでください。デジタルの論理回路を動かしているのはアナログ回路。アナログ回路に使われるトランジスタは、温度変化に非常に敏感です。場合によっては数値を超えるトランジスタを搭載する、PC や iPod Touch が「暖まると音が変わる」のは、オーディオ機器としてはごく自然なことなのです。

私は試聴テストに使う特別な曲を除き iPod Touch には、MP3 (320kbps) で楽曲を取り込んでいます。なぜなら元々音質がそれほど優れている訳ではない古い Jazz や Pops などは音数が少なく、MP3 に圧縮しても CD とほとんど差を感じずに済む (もちろん、明かな違いはありますが) からです。しかし、音数の多い交響曲などは圧縮で音質が明らかに損なわれますから、そういう音楽のみ WAV で取り込み、音数 (音源の数) が少ない Jazz や Pops は MP3 と使い分けて容量の少なさを補っています。今回、音質が芳しくなかった Windows PC ですが、PC オーディオに Windows PC を使っている方は多いと思います。Windows の音質を少しでも良くするにはハイレゾや DSD ファイルを使う必要はありません。それを使っても音が良くなることは限らないからです。今回、Linux を使う MSS-i3/MSHD が高音質を実現できたのは「ハードウェア」ではなく「ソフトウェア」の音質に優れるからです。Windows PC で音を出すために必要な「プレーヤーソフト」には注目してください。かなり音が変わります。私は「雰囲気の良い音が出る」Win Amp を通常使っていますが、今回はプレーヤーソフト

を MSS-i3/MSHD と合わせるため「VLC」を使いました。音質が優れなかったのは、VLC の影響があるかも知れませんが、また、DAC やアンプ、あるいはスピーカーやソースを変えてテストすると異なった答えになる場合があるのは、付け加えるまでもないでしょう。

PC オーディオの黎明期（未だに黎明期かも知れないですが）には、CD ドライブはエラーするから音が悪いと言われたことがあります。しかし、それは大きな誤りです。最近の CD メカニズムは低価格でも性能が高く、よほどのことがない限り CD の情報をエラーフリーで 100%完全に読み取ることを確認できるからです。また、PC で CD を読み取るとエラーが減るというのも迷信だと考えています。それは CD プレーヤーで再生できない傷の付いた CD は、PC にリップしてもやはり傷のある場所で音が飛ぶからです。PC が完全にエラーを補正できるのなら傷で音は飛びません。このような経験から PC の読み取り能力は、CD とそれほど変わらないと考えています。

PC オーディオファンには申し訳ないのですが、CD の読み取りで「音質」が変わるのは、実は「読み取れるデー

ターの精度」ではありません。最近、ディスクの素材にガラスや、高品質な樹脂を使った「高音質 CD ソフト」が発売されていますが、それは CD プレーヤー（CD ドライブ）はディスク材質の影響で音が変わるからです。なぜディスクの材質で出てくる音が変わるのかその理由を説明できるメーカーを私は知りません。また、私も理由を知ることはありません。しかし、豊富な実験と経験から「CD ディスクの響き」が再生される音に影響することを知っています。CD の響きが再生音に影響することをプラスの方向に使ったのが、ベルトドライブメカニズムを搭載する CD3N (TL3N) Analogue です。これらのモデルには AIRBOW が開発した、高音を伸びやかにする特殊なスタビライザー「STB-1」を付属しています。このスタビライザーは「それ自体が楽器のように響く」ことで、CD 化（デジタル化）で失われた楽器の高次倍音を復元する力を持っています。その効果は大きく、今回の試聴で CD3N Analogue は CD の再生でさえ、SA1451 Master で聞く SACD を超える高音質を聞かせてくれました。

話を戻します。Rotel RDD-1580 は今回聞き比べに使っ

た製品がいずれも RDD-1580 よりもかなり上位機種だったため、「ここがよかった！」という強い印象がありません。しかし、それは良い意味での RDD-1580 の長所です。RDD-1580 には DSD ファイルに対応しないというスペック上のウィークポイントはあるものの、ソースの録音やほとんどの DSD ファイルが「PCM からアップコンバートで作られている」という事実を考えても、DSD が高音質という保証はどこにもありませんから、DSD 対応は機械としても魅力を高めているもののそれはスペック上だけで音質的なメリットはないと断言できます。

RDD-1580 の魅力は「素の良さ」を持っていることです。特に MSS-i3/MSHD との組み合わせで聞かせてくれたノイズ感が感じられない、滑らかで柔らかな音は印象的でした。Rotel が設定しているメーカー希望小売価格 15 万円の価格帯では、最も上位にランクできる良い製品だと思います。

代表ヨーロッパ周遊記 ウィーンアコースティック本社訪問編

ウィーンアコースティック社の営業と開発陣。中央のオレンジの髪の女性がお世話になったマリアさん。右端が、マリアさんの片腕で付きっきりで私達のお供をしてくださった、「ピョートル」さん。



作業台の後にならんで頂いて、社員の集合写真を撮らせていただきました。和気藹々とした雰囲気伝わります。ピョートルさん、なかなかいい人ですが、機嫌が悪いのではなくポーランド人の癖、気分を表情に出さないのです。マリアさんも、ピョートルはもっと表情を出して欲しいと言っていました。でも、ピョートルさんはどんな仕事も黙々とこなすとてもいい人です。



こちらは、生産を担当している社員の面々です。

Vienna Acoustics 社訪問とウィーン観光で大変お世話になったお礼に Vienna Acoustics 社 CEO Maria さんへ、彼女が大好きなスーパーマリオとルイージのコスプレウェアを送ったら、こんな素敵な写真が届きました。国が違い、人種が違っても、心は同じと感じられてとても嬉しくなりました。そんな彼らが作っている、Vienna Acoustics のスピーカーは、聞く人の心を愛情で満たします。



音を音楽に変えられるスピーカー。
音楽の心が伝わるスピーカー。
それが Vienna Acoustics です。

Headphone & Earphone



SENNHEISER

HD650

オススメ

1号館
展示中

大型のユニットの採用で低音に十分な厚みがあります。中音はふくよかで温かみがありボーカルのニュアンスの再現性は抜群にリアルです。高音は適度に柔らかく、透明感が高く、楽器の音色が鮮やかに再現されます。大型で柔らかな布製のイヤーパッドが装備され掛け心地は抜群です。

毎日聴ける最高級のヘッドフォンを欲しい！とお考えならこの製品を自信を持ってお勧めします。この価格でこの音質なら絶対にご納得頂けると思います。



HD650	1号館 展示中	定価	75,000 円
HD-25/1-2	テスト レポート	定価	46,000 円
HD598	1号館 展示中	定価	OPEN

audio-technica
always listening.

ヘッドホン

ATH-W1000Z

NEW



ATH-W1000Z
ATH-ESW9LTD[限定品]
ATH-MSR7

定価は全てオープンプライス

高音の解像度、低音の量感、帯域バランスも良好で、それぞれの楽器の音がハッキリと聞き取れます。音のバランスが適切で「解像度の高さ」が嫌みにならず、ヘッドホンの性能が上がったと実感できます。

低音は炸裂し、高音は耳を劈くほど明快でメタル・ロックなどがよく似合いそうな「若者向き」の音作りです。中音はやや薄く、エネルギーバランスは高音と低音の両端に偏っているように感じ「ドン、シャリ」のバランスになっています。

それぞれの音を「ハッキリ」と聞きたい人にお勧めです。また天然チーク材を削りだした定評のあるウッドハウジングで仕上げの良さでも優越感・満足感を味わえるヘッドフォンです。

イヤホン

ATH-CKR9LTD

NEW



ATH-CKR9LTD[限定品]
ATH-CKR7LTD[限定品]

定価は全てオープンプライス



別次元の表現力を与えられた AIRBOW カスタマイズモデル

SR-SC11

1号館
展示中



ヘッドホンを思わず忘れてしまうほどストレスのない音の広がり。SR-SC21/11 最大の特徴です。スピーカーを使わなくてもご不満なく音楽を心から楽しみ、演奏を深く味わっていただけると確信します。

SR-SC21

1号館
展示中



SRM-253

1号館
展示中



STAXのヘッドホンアンプをベースに徹底的な「カスタマイズ」を施して誕生したAIRBOW SR-SC1 専用高音質ヘッドホンアンプ。

PAC-253

1号館
展示中



インバーター電源を採用したSRM-253 専用強化電源ユニット。SRM-253 から高音質を引き出すためになくてはならないパートナーです。

イヤースピーカー

SR-SC11 1号館
展示中 テスト
レポート 販売価格 69,900 円

SR-SC21 1号館
展示中 テスト
レポート 販売価格 100,000 円

ドライバースタンプ

SRM-253 1号館
展示中 テスト
レポート 販売価格 46,200 円

専用電源ユニット

PAC-253 1号館
展示中 テスト
レポート 販売価格 33,900 円

NOBLE

NOBLE KAISER10 UNIVERSAL



NEW

NOBLE KAISER10 UNIVERSAL
NOBLE FR
NOBLE PR

CLASSIC NOBLE4

「プロフェッショナル」的なクールで繊細な音色です。音楽と対峙しているような「ある種の厳しさ」を感じますが、モニター調の音色が好みの方にはお勧めです。



NEW

CLASSIC NOBLE5
CLASSIC NOBLE4
CLASSIC NOBLE3

定価は全て
オープンプライス

Westone

W40



NEW

3色のフェースプレート付属

W60 W30
W50 W20
W40 W10

定価は全てオープンプライス

カスタムイヤホン ES50 と同じテクノロジーを使用したプロフェッショナルモデル。低音から高音まで滑らかな繋がりで魅せるヘッドホンです。

UM Pro



NEW

UM Pro 50
UM Pro 30 (Clear/Smoke)
UM Pro 20
UM Pro 10 (Clear/Smoke/Blue)

定価は全てオープンプライス

FOCAL

Spirit-1

1号館
展示中

Focal らしい耳当たりの良い音と、圧迫感のない広がる低音。ヘッドホンではなく、スピーカーのように音楽を楽しめます。フランスデザインのお洒落なヘッドホンで、艶やかに音楽を楽しんでみませんか？

Spirit-1 (R,WH,BK)

定価 39,000 円

LUXMAN

P-700u



マニアを唸らせる！高級オーディオの専門メーカーLUXMANのヘッドホンアンプです。

P-700u

定価 280,000 円

P-1u

1号館
展示中

定価 180,000 円

P-200

1号館
展示中

定価 98,000 円

Burson Audio

SOLOIST

テスト
レポート1号館
展示中

シンプルデザインですが、その音はまるでよくできた真空管アンプのような音色です。

ヘッドホンアンプ

定価 125,000 円

PEAR

HP4



EARの滑らかで美しい響きは、ヘッドホンから聴こえる音とは思えない、次元の異なる表現力です。

ヘッドホンアンプ

定価 725,000 円

STAX

世界が注目するヘッドホンの最高峰

世界最高峰のヘッドホンの誉れ高いSTAX。音質はもちろん、掛け心地までも追求した「究極のイヤースピーカー」は、他のメーカーを圧倒する「細やかさ／繊細感」と「音の広がり／空間性」を実現しています。ドライバーアンプは全モデルでご使用になれますが、AIRBOW オリジナル、ドライバーアンプSRM-253とのマッチングも抜群です。イヤースピーカーとドライバーアンプのセット品や高級家具の製作技術を活かしたアクセサリも見逃せません！！

イヤースピーカー

SR-009

1号館
展示中テスト
レポート

定価 370,000 円

SR-007A

1号館
展示中テスト
レポート

定価 200,000 円

SR-507

1号館
展示中

定価 70,000 円

SR-407

1号館
展示中

定価 42,000 円

SR-307

1号館
展示中

定価 34,000 円

SR-003MK2

1号館
展示中

定価 25,000 円

ドライバーアンプ

SRM-007tA

1号館
展示中

定価 147,000 円

SRM-727A

定価 132,000 円

SRM-006Ts

定価 91,000 円

SRM-323S

1号館
展示中テスト
レポート

定価 58,000 円

STAX 用アクセサリ

HPS-2

定価 5,500 円

CPC1(プロテクションザック)

定価 800 円

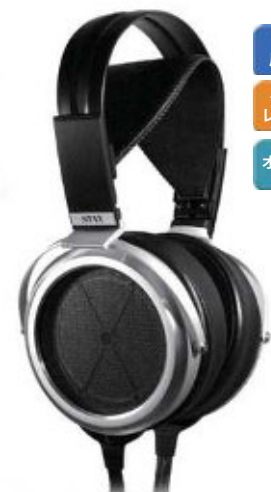
SRM-007tA

1号館
展示中

HPS-2

1号館
展示中

SR-009

1号館
展示中テスト
レポート

オススメ

イヤースピーカー・アンプセット

SRS-4170 定価 133,000 円

SRS-3170 定価 92,000 円

SRS-2170 定価 52,000 円

SRS-005SMK2 定価 50,000 円

SRS-002 定価 45,000 円

最新ヘッドホン 音質テスト

2014年に発売されたヘッドホン、イヤホンから、audio-technica ATH-W1000Z、ATH-ESW9LTD、ATH-CKR9LTD、Westone から、W40、W50、W60を選んで比較試聴を行いました。ヘッドホンアンプは「HEGEL-Super」をWindows PCと組み合わせて使用しました。今回のヘッドホンの比較試聴では、愛用している密閉型の audio-technica ATH-W10LTD、カナル型の ATH-CK90PRO2 を基準機として使い、エネルギーバランスを指標とする「高音、中音、低音、躍動感、バランス」の5項目に、味わいを指標とする「音色感、広がり感、透明感、明瞭感、艶やかさ」の5項目を加えた合計10項目で比較しました。採点方法は、基準機をそれぞれの項目で10点とし、それよりも良い場合は10点以上、悪い場合は10点以下としています。ただし、人間による音の聞き分けは、心理状態（先入観）や好み、カナル型では耳殻とのフィッティングで音質がかなり左右されるため、一応の「目安」として捉えていただければ幸いです。

試聴したヘッドホン



WESTONE W40
市場価格 ￥45,000（税込）程度



WESTONE W50
市場価格 ￥75,000（税込）程度



WESTONE W60
市場価格 ￥106,000（税込）程度



audio-technica ATH-CK90PRO MK2
発売時価格 ￥25,000（税別）
（生産完了品）



audio-technica ATH-CKR9LTD
メーカー希望小売価格 ￥43,200
（税別）



audio-technica ATH-W10LTD
発売時価格 ￥50,000（税別）
（生産完了品）



audio-technica ATH-W1000Z
市場価格 ￥65,000（税別）程度

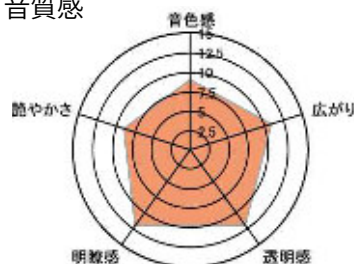


audio-technica ATH-ESW9LTD
市場価格 ￥40,000（税別）程度

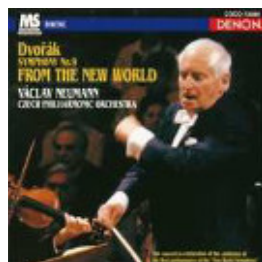
audio-technica ATH-W1000Z 音質テスト



音質感



パワー感



Neumann チェコフィル
“新世界 第2楽章”

ATH-W10LTD と比べると ATH-W1000Z の音は高音が強く、弦楽器の音が硬く聞こえます。ノイズも強調されて目立ちます。金管楽器はエネルギーバランスが少し高音に偏っています。中低域は出ているのですが、それよりも先に高音が目立って耳に入るので ATH-W10LTD に比べて音が少し神経質で細い印象があります。音の細やかさや色彩感はそのなりに出ています。



Grace Mahya Last Live at DUG “Root 66”

ウッドベースは唸りシンパには宙を舞います。楽器の音の分離感と空間の広がり、ATH-W10LTDを上回ります。拍手は少し高音よりで、パチパチが強く聞こえます。

ギターは少し奥まっています。トランペットの音は鮮烈ですが、唇のコントロール感がやや薄くなります。

演奏の一体感よりも、個々の楽器の音の主張が強いようです。



B'z Pleasure “ZERO”

イントロの低音の爆発感は凄まじいものがあります。けれど、これは明らかに「やり過ぎ」で、ATH-W10LTD に比べると「ドン、シャリ」のバランスになっています。

それぞれの音を「ハッキリ」と聞き分けたい人には向きますが、「音楽の全体像」を見極めたい人には、ESW9LTD が適していると思います。

総評

ATH-W1000Zの音は「若者向き」です。低音は炸裂し、高音は耳を劈くほど明快です。それに比べると中音はやや薄く、エネルギーバランスは高音と低音の両端に偏っているように感じます。解像度/明瞭度はATH-W1000ZがATH-W10LTDを凌ぎますが、中音の芳醇さではATH-W10LTDがATH-W1000Zを上回ります。気になったのは、ATH-W10LTDのハウジングが密度の高い木の響きを持つのにに対し、ATH-W1000Zのハウジングがプラスチックのような響きを持つことです。ATH-W1000Zはケーブルなどの素材が高純度化され解像度や明瞭度など「直接音」に対する音質が強化されたのに対し、ハウジングの響きが「硬質」になったため、ATH-W10LTDのような中域の分厚さが薄れたのだと思います。ATH-W1000Zは、メタルロックなどが似合いそうな音作りです。



HEGEL SUPER

●USB デジタルヘッドフォンアンプ●24bit/96kHz対応●プラグ&プレイ ドライバー不要 (Mac&Windows)●PC からのノイズをシャットアウト●あらゆるヘッドフォンとのインピーダンスマッチング●切削アルミニウムシャーシ (ブラッシュ仕上げ)●入力: microUSB●出力: 3.5mm ミニジャック mini-jack (analog) optical mini-jack (digital)●USB デジタル入力: 24bit/96kHz●ノイズフロア: -140dB●出力インピーダンス: 1Ω以下●外形寸法: 16x41x82 (mm)

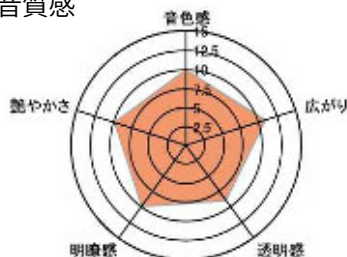
希望小売価格 ¥ 50,000

HEGEL-Super は、高級オーディオと高音質 USB 関連 DAC の発売で逸品館が高く評価する北欧ノルウェーの HEGEL 社が発売した小型 USB DAC 搭載ヘッドフォンアンプです。MicroUSB の入力端子を PC と USB ケーブルで接続して使用します。USB パスパワーで動作し、面倒な専用ドライバーのインストールなしに最大 24bit/96kHz の音楽ファイルをアナログ信号に変換します。この小型 DAC は彼らが標榜する、Natural Sound Defined (自然な形でレコーディングされた音楽を再現する) 思想に基づいて音作りがなされ、ダイナミックなレコーディングの全パートをオリジナル同様に生々のスタジオセッションに非常に近いものとされています。最小1Ω以下の出力インピーダンスを持つ HEGEL-Super はあらゆるヘッドホンに余裕を持ってドライブします。

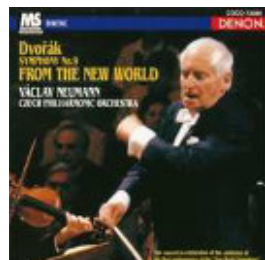
audio-technica ATH-ESW9LTD 音質テスト



音質感



パワー感



Neumann チェコフィル

“新世界 第2楽章”

ATH-ESW9LTD の音質バランスは、W10LTD に近く感じられます。中域の密度感や色彩の濃さでは、W10LTD に譲るものの高域の細やかさ、楽器の各々の音の特長は良く

出ています。

スピーカーでこの曲を聴くと「客席」で聞いている感じでリラックスできるのですが、ヘッドホンで聴くと「ステージ」で聞いているような感じになり、スピーカーほどはリラックスできません。

けれど、聞こえてくる音は明るく自然で、ヘッドホンの存在を感じさせず、またヘッドホン自体も軽く小さいので装着感も上々です。



Grace Mahya Last Live at DUG "Root66"

ATH-W1000Z に比べるとハウジングの強度が低いいためか、低音が彫らんで遅れます。けれどそれが逆に「空間」を演出し、ATH-W10LTD や ATH-W1000Z のように頭

の中で音が鳴っている感じが緩和されます。

Jazz はクラシックのようにホールの反射音が音楽表現に重要ではなく、楽器の直接音だけでも音楽が成り立ちます。そういう意味ではクラシックよりもヘッドホンでの音楽鑑賞に向いているのかもしれませんが。

さすがにスピーカーのように身体ごと持って行かれるほどの躍動感はありませんが、JAZZ が楽しく躍動しました。



B'z Pleasure "ZERO"

この曲もジムで運動しながら聞く時に使っている、「ATH-CK90PRO2」のバランスに近く、安心できます。何よりも音と音の間に「間」が出たのが素晴らしいと思います。

ATH-W1000Z は高性能すぎて、あらゆる音が一度に頭の中に流れ込みます。よく言えば HIFI ですが、悪く言えば「うるさく」聞こえてしまいます。このあたりは好みの差もあるのですが、ATH-ESW9LTD の適度な「もたつき感」が、実に具合良く音と音の間に「間」を生み、音楽が立体的に聞こえます。生演奏を聴いている雰囲気に近いのは、圧倒的に ATH-ESW9LTD です。

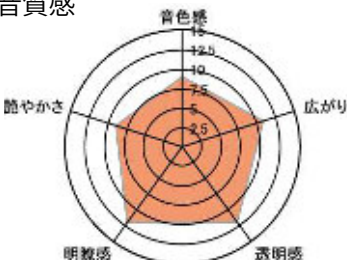
総評

ヘッドホンは耳のすぐ近くにユニットがあり、またスピーカーのようにセッティングやルームアコースティックに左右されないで、ヘッドホン自体の「音質/バランス」が非常に重要になります。ATH-ESW9LTD は、音と音の「間」の取り方が絶妙です。低音の立ち上がりが僅かに遅れ、収束も僅かに遅くなります。高音が早く、低音が少し遅いこのバランスは、私達が実際にコンサートで音楽を聞いているバランスにとても近く、音楽が自然に聞こえます。ヘッドホンの存在感が薄く、ヘッドホンを通して生演奏を聴いている感覚で音楽を聴けました。個人的には、好きな音です。

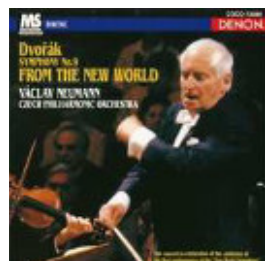
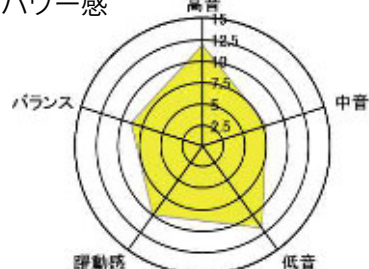
audio-technica ATH-CKR9LTD 音質テスト



音質感



パワー感



Neumann チェコフィル

“新世界 第2楽章”

ATH-CKR9LTD は、ATH-CK90PRO2 に比べ、音の広がりに優れています。高音の解像度、低音

の量感、帯域バランスも良好で、ATH-CK90PRO2 に比べてそれぞれの楽器の音がよりハッキリと聞き取れます。音のバランスが適切なのでその「解像度の高さ」が嫌みではなく、ヘッドホンの性能が上がったと実感できます。

少し大きく、重く、ケーブルのタッチノイズが過大なのは問題ですが、良い音のヘッドホンだと思います。



Grace Mahya Last Live at
DUG "Root 66"

低音は少し出すぎます。ウッドベースがすこしビリ付いて感じるほどです。

ボーカルの明瞭度はATH-CK90PRO2 よりも高

いですが、少し高音よりのエネルギーバランスでサシスセンが荒れます。シンバルも高音が強く、耳障りです。

トランペットは明らかに高音過多で、うるさく感じました。

交響曲では目立ちませんでしたが、この曲では少しドンシャ

リに感じられました。



B'z Pleasure "ZERO"

ATH-CK9LTD の高音の切れ味と、低音の量感が、ROCK では生きてきます。

ギターとドラムはぐんぐん前に出ますが、ボーカルが少し奥まってしまいました。

器楽曲の Rock なら良いと思いますが、ボーカル曲ではもう少し中域が充実している方が、美味しい音になると思います。



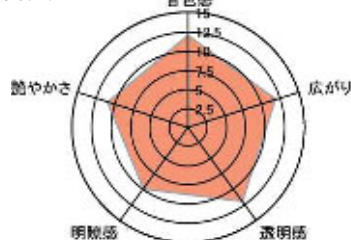
総評

ATH-CK9LTD の音質は ATH-CK90PRO2 に似ていますが、ATH-CK90PRO2 に比べると中域が少し薄く、ボーカルがやや痩せます。これは、ユニットが異なるためではなく、ハウジングが ATH-CK90PRO2 のプラスチックからアルミに変えられている影響のように思います。ATH-CK9LTD の音は引き締まっていますが、中域の響きがやや不足しているため、中音が痩せて奥まって聞こえます。ATH-CK90PRO2 の中域が分厚いのは、ハウジングの共振を利用して中低域の響きを増幅しているためではないでしょうかと思います。ただ、ヘッドホンは常に聞いているとそのバランスに耳が慣れるので、ATH-CK9LTD だけを聞き続けると、整ったバランスに聞こえるようになるかもしれません。

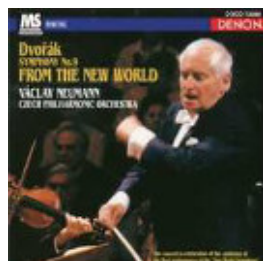
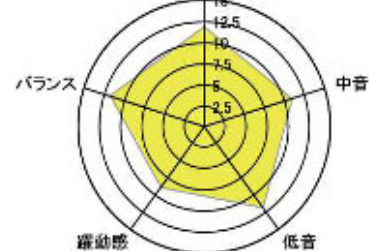
WESTONE W40 音質テスト



音質感



パワー感



Neumann チェコフィル
"新世界 第2楽章"

W40 は高音の抜けが良く、音の広がりも自然です。中音もスッキリと見通しがよいのですが、パワー感にはそれには負けていません。

会場のノイズは楽器の音から綺麗に分離し、ノイズが驚くほど自然です。クラリネットはリードの震える感じまで伝わるほどリアルに聞こえ、弦楽器の質感も生々しい。

今回テストした audio-technica のイヤホンに比べ、W40 は明らかに視界がクリアです。少し前にテストした NOBLE と比べると、繊細感や透明感もほぼ同等か NOBLE が Westone を上回るかも知れませんが、自然な生々しさでは Westone が NOBLE を上回るように思います。生演奏を聴いている雰囲気

気がカナル型で味えます。ATH-CK90PRO2 を上回るカナル型ヘッドホンにやっと出会えました！



Grace Mahya Last Live at
DUG "Root 66"

ATH-CK90PRO2 が大学生なら、Westone W40 は社会人。あらゆる音が上質で大人です。

特に高音の抜けが良く、シンバルが鋭くなるのに耳障りではありません。ドラマーが打つスティックがシンバルの「どこ」を「どのように打っているか」が聞き取れます。トランペットは「楽器の質」が違って聞こえます。良いトランペットを吹いているのがわかりますし、唇の動きに力加え身体を揺らしている音の変化まで聞き取れます。

ドラムは少し湿っていますが、音の変化は良く出ます。ベースは少し膨らみますが、問題ない範囲です。プロっぽい雰囲気やレート 66 が鳴りました。



B'z Pleasure "ZERO"

イントロのキーボードの音色が鮮やかです。

ギターも伸びやかですが、芯が少し弱くドライブ感が不足気味、少し音が広がりすぎる感じがです。

ボーカルも少し奥まって聞こえました。繊細ですが、パワー感では劣っても密度感で上回る ATH-CK90PRO2 がより良くマッチしています。

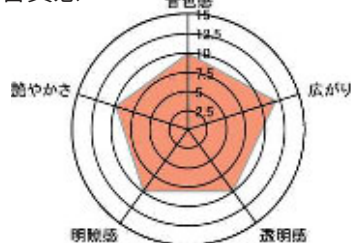
総評

Westone の W シリーズは、簡単にケーブルが交換できます。W40 (W50/W60) には、土の 2 本の線が 1 つにまとめられたものと、2 本の線がより合わせられた 2 種類のケーブルが付属します。上の試聴テストは、まとめられた線で行いました。念のため撚り線ケーブルに交換して、音が変わるのかをチェックしました。撚り線ケーブルの方が若干音がハッキリ聞こえるような気がします。プレーンなケーブルはパワー感がほんの少し弱いかわりに、広がり感で勝る気がします。けれどその差はごく僅かで、音はほとんど変わらないように思いました。ATH-CK90PRO2 の音を気に入りながら、今回密閉型の ATH-W10LTD や ATH-ESW9LTD を聞いてしまった結果、少しその音質が物足りなく感じるようになってきました。もちろん、絶対的にはなんの問題もない良い音なのですが、より良い音を聞くと・・・これだから音は始末が悪い。Westone W40 は ATH-CK90PRO2 を一皮むいたような鮮やかさと細かさを持っています。私の耳が ATH-CK90PRO2 に「慣れて」いるからかもしれませんが、パワフルな音楽を聞くと少し「芯が弱い（押し出しが弱い）」ようにも思いました。Westone W40 が NOBLE 4 より、少し安いのも魅力です。

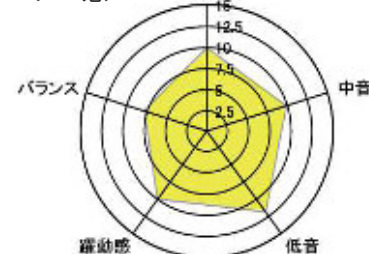
WESTONE W50 音質テスト

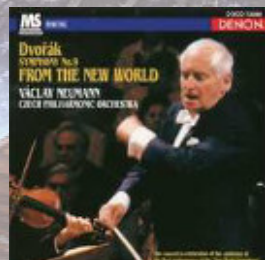


音質感



パワー感





Neumann チェコフィル “新世界 第2楽章”

W40 と音質のバランスや傾向はほとんど同じですが、音が少し細かく鮮度が高まっています。ただその差は価格ほどは大きく感じられないかも知れません。

W40 の試聴機にはプレーンなケーブル、W50 と W60 には撚り線ケーブルが標準で取り付けられていました。ケーブルのタッチノイズは撚り線の方が小さく、また柔らかく取り回しにも優れているのでケーブル同士が絡みやすいのが気

にならないのなら、撚り線ケーブルを使うのが良いと思います。

しばらく聞いていましたが、W40 との音質差はこれと言って感じられませんでした。



Grace Mahya Last Live at DUG “Root66”

W50 は W40 よりも低音が良く出そうですが、中音が少し曇って感じられます。もしかすると付属するイヤーパッドの種

類が違うのかも知れません。

W40 で感じた新鮮な驚きは、W50 にはありません。やはり、それほど音は違わないのか、むしろ W40 の方が好みだったのかも知れません。



B'z Pleasure “ZERO”

この曲では低音が増強されているのがよくわかります。けれどそれは明らかに無理矢理持ち上げた感覚で、バランス的には W40 が優れていましたし、高音の切れ味も W40 が良かったと思います。

総評

W40 の上級モデルと言うことで期待した W50 ですが、低音が持ち上げられた結果 W40 の特長であった中高音の見通しの良さが薄れ、バランスも崩れてしまっているように感じました。価格も W40 よりも随分高いので、このモデルはパスしたい感じです。

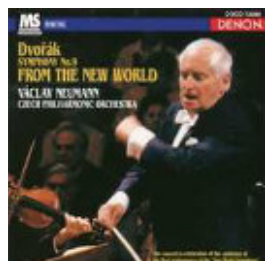
WESTONE W60 音質テスト



音質感



パワー感



Neumann チェコフィル “新世界 第2楽章”

ホールを満たす音のきめ細かさ、エコーの長さ、楽器の数が違います。これだけ音が違えば、その差はハッキリとわかります。

演奏者？観客？が立てるノイズ、咳払いが驚くほど明確に聞き取れます。もちろん、それらは無理矢理持ち上げた音ではなく、あくまでも自然体。生演奏を聴いているようにきめ細かく自然な音です。クラリネットやファゴットのリードの震える感じ、フルート奏者のタギングの入れ方、弦楽器奏者の弓使い、そういう細かい部分まで見えそうなほどの音の細かさです。

W50 の音はすこし？でしたが、W60 の音は W40 の延長線上で、その質がさらに高められています。ただこれほどまで

ヘッドホンが高性能になると、組み合わせるアンプの質も問題になりそうに思います。



Grace Mahya Last Live at DUG “Root66”

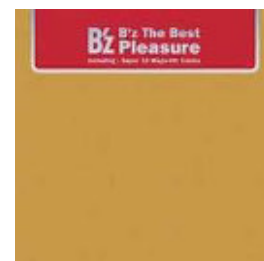
新世界を聞いても思いましたが、W60 の音は W40 をそのまま高性能化したように感じられます。

W40 で少し膨らんで聞こえたウッドベースは引き締まり、遅れもなくなりました。トランペットは綺麗に音が抜けてきます。ボーカルはもうすこしボリューム感が欲しいと思いますが、表情やニュアンスは驚くほどきめ細かく再現されます。

すべての音が細やかで情報量が増えた結果、音楽のテンポが少し遅く感じられるようになりました。

W40 ではスイングしていた音が、W60 では丁寧に置かれているように感じます。ドラムは、一音一音の変化がより明確になりました。

音調は W40 の方が明るく、W60 はしつとりと穏やかな感じがします。



B'z Pleasure “ZERO”

イントロのキーボードは、輝きを取り戻しました。ギターはぐいぐいと押してきます。ボーカルは弾けすぎず、稲葉さんらしい「知的な感じ」が

伝わり、大人の Rock として B'z が聞けます。

違和感もなく、不満も無く、あらゆる音が本当に細やかです。これは、良いヘッドホンです。

総評

10 万円を超える価格は値が張りますが、それを裏切らない高性能と自然なバランスが実現している良品だと思いました。



Accessory

アクセサリ

電源ケーブル・タップ

すべては「電源ケーブル・タップ」から始まる

オーディオ機器はすべて電気で動作しています。その動作の源となる電源部（電源ケーブル・タップ・壁コンセント）のチューニングは、時にはオーディオ機器を買い替える以上の効果を発揮することがあります。

1 電源ケーブルを交換する 1 番手軽に交換できて、1 番効果大！



安くても「気持ちよく音楽を聴かせてくれる」をポリシーに、厳選された素材を使い、生産コストも厳しく管理されたAIRBOWアクセサリ達。その効果を是非ご体感下さい!!



CPSC-M
メガネ型
0.75m
販売価格 (税込) 9,720 円
1.25m
販売価格 (税込) 12,500 円



CPSC-LH2
1.5m
販売価格 (税込) 18,500 円



KDK-OFC
2.0m
販売価格 (税込) 5,040 円



メガネ型
テスト
レポート



NRG-X2
0.9m
定価 (税別) 5,277 円
1.8m
定価 (税別) 6,762 円
3.0m
定価 (税別) 8,667 円



NRG-X3
0.9m
定価 (税別) 9,334 円
1.8m
定価 (税別) 12,381 円
3.0m
定価 (税別) 16,381 円



1号館
展示中
満足度
保証

Evidence/AC(F)

0.8m 定価 270,000 円
1.2m 定価 300,000 円
1.8m 定価 360,000 円
3.0m 定価 480,000 円

Evidenceのサウンドテイストは、まるやかで深く、そして静かです。他の製品でも使った表現ですが、同じお酒の“15年物=SIN”と“30年物=Evidence”の違いそのものの味わいの差を感じます。聴けば絶対に欲しくなる、聴けば手放せなくなる、“麻薬”のようなケーブルです。



Evidence/AC

テスト
レポート

満足度
保証

0.8m 定価 270,000 円
1.2m 定価 300,000 円
1.8m 定価 360,000 円
3.0m 定価 480,000 円



SIN/AC/EVD

0.8m 定価 180,000 円
1.2m 定価 210,000 円
1.8m 定価 240,000 円
3.0m 定価 360,000 円
5.4m 定価 600,000 円



HHF/AC/EVD(メーカー在庫限り)

0.8m 定価 31,500 円 販売価格 (税込) 23,400 円
1.2m 定価 33,600 円 販売価格 (税込) 24,100 円
1.8m 定価 37,800 円 販売価格 (税込) 27,200 円
3.6m 定価 50,400 円 販売価格 (税込) 36,200 円



HHL/AC/EVD(メーカー在庫限り)

0.8m 定価 30,000 円 販売価格 (税込) 22,600 円
1.2m 定価 32,000 円 販売価格 (税込) 24,100 円
1.8m 定価 36,000 円 販売価格 (税込) 27,200 円
3.6m 定価 48,000 円 販売価格 (税込) 36,200 円



EVO-1302S/AC

1.5m 定価 16,800 円
販売価格 (税込) 12,700 円
2.0m 定価 18,000 円
販売価格 (税込) 13,600 円



EVO-1302F/AC

1.5m 定価 16,800 円
販売価格 (税込) 12,700 円
2.0m 定価 18,000 円
販売価格 (税込) 13,600 円

2 電源タップを導入する コンセントと機器の間に挟むと音が生き生きします！



1号館
展示中

PS-Stream4

販売価格 (税込) 152,000 円 電源ケーブルは別売りです



ボディーに千曲精密製作所のStream4を使い、コンセントにCCT-GRを2個、内部配線にAET Evidenceを使用したスーパーハイグレード電源タップです。

ボディーの素材には超タジュラルミンを採用し、内部配線に1mあたり20万円もするEvidenceを使っています。

その甲斐あって音質は過去に発売されたどのような高価なタップと比べても決して引けを取らないと確信しています。高音の滑らかさと伸びやかさ、中音の厚みと艶、低音の量感と引き締まり、どれをとっても「圧倒的」に音が良くなります。



PS-220/S

販売価格 (税込) 90,000 円
電源ケーブルは別売りです



ABPT-EVO2

NEW

4.09V2 販売価格 (税込) 11,500 円
4.18V2 販売価格 (税込) 14,500 円
4.27V2 販売価格 (税込) 18,500 円



ABPT-4.20H

販売価格 (税込) 9,250 円

ABPT-4.30H

販売価格 (税込) 12,300 円



PB-HR1000

定価 (税別) 150,000 円
販売価格 (税込) 176,200 円

PB-HR1000は、電磁干渉を抑える抑制剤、振動を抑えるカーボンマトリックス3層構造、電源ノイズを抑える高周波遮断コイルなどの採用により、電源で生じる不要な振動を徹底的にシャットアウトします。この電源を使うことで暗騒音(バックグラウンドノイズ)が小さくなり、静けさの中に密度の高い音像がホログラムのように浮かび上がります。

PB-222は上級モデルHR Seriesからノイズを抑える高周波遮断コイルを採用した大電力/省電力の個別2回路方式を採用した、ノイズフィルター付き電源タップです。オーディオグレードコンセント、極太OFC配線など、価格を超える高品位なマテリアルが惜しみなく投入されています。

PB-222

定価 (税別) 47,000 円
販売価格 (税込) 36,000 円



電源トランス

音質改善は「上流から」



IP3000A

3号館 展示中
販売価格 390,000 円 (税込)



IP2000A

1号館 展示中
販売価格 288,000 円 (税込)

IP1200A (写真: 右)

1号館 展示中
販売価格 190,000 円 (税込)



特価

KP200S

定価 (税別) 160,000 円
販売価格はお返事です

KP400S

定価 (税別) 256,000 円
販売価格はお返事です

KP600S

定価 (税別) 315,000 円
販売価格はお返事です



3 電源コンセントの交換で音質をアップさせる 目立たないですが、あなどれない実力！



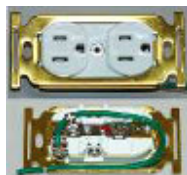
1号館
展示中

DH9021/CR

販売価格 (税込) 2,570 円



※壁コンセントの交換は有資格者が行う必要があります。



CCT-GR

1号館
展示中

プレートなし

販売価格 (税込) 14,400 円

ステンレスプレート付

販売価格 (税込) 15,400 円

真鍮プレート付

販売価格 (税込) 16,500 円

プレートでコンセントの音質は変わる？



LEVITON

ステンレスプレート (左)

販売価格 (税込) 1,000 円

真鍮プレート (右)

販売価格 (税込) 2,000 円

コンセントは、使用するプレートで音質が若干変わります。ステンレスプレートは、あっさりとした抜けの良い音質です。真鍮プレートは、低域がしっかりと厚みと重厚感が増します。

aet



Evidence/LINE/RCA

0.8m/RCA 定価（ペア / 税別）320,000 円

1.2m/RCA 定価（ペア / 税別）360,000 円

販売価格はお返事します



Evidence/LINE/XLR

0.8m/XLR 定価（ペア / 税別）332,000 円

1.2m/XLR 定価（ペア / 税別）372,000 円

販売価格はお返事します

オススメ
テスト
レポート



SIN-LINE-EVD/RCA

0.8m/RCA 定価（ペア / 税別）180,000 円

1.2m/RCA 定価（ペア / 税別）240,000 円

販売価格はお返事します



SIN-LINE-EVD/XLR

0.8m/XLR 定価（ペア / 税別）192,000 円

1.2m/XLR 定価（ペア / 税別）252,000 円

販売価格はお返事します



EVO-0605R

0.6m 定価（ペア / 税別）8,400 円

販売価格 6,350 円

1.0m 定価（ペア / 税別）9,600 円

販売価格 7,250 円

AB



MSU-Copper VT

0.95m 販売価格（1 本 / 税込）6,170 円

販売価格（ペア / 税込）12,300 円

1.43m 販売価格（1 本 / 税込）8,220 円

販売価格（ペア / 税込）16,400 円

オススメ



MSU-Silver VT

0.45m 販売価格（1 本 / 税込）14,400 円

販売価格（ペア / 税込）28,800 円

0.95m 販売価格（1 本 / 税込）19,500 円

販売価格（ペア / 税込）39,000 円

オススメ



MSU-X TENSION

0.7m 販売価格（ペア / 税込）18,500 円

1.2m 販売価格（ペア / 税込）25,700 円



MSU-Mighty

0.7m 販売価格（ペア / 税込）10,080 円

1.2m 販売価格（ペア / 税込）13,100 円

NVS



Silver1-Ultimate/RCA

S1-RCA-3FT 0.9m 定価（ペア / 税別）790,000 円

S1-RCA-5FT 1.5m 定価（ペア / 税別）1,180,000 円

S1-RCA-8FT 2.4m 定価（ペア / 税別）1,570,000 円

S1-RCA-10FT 3.0m 定価（ペア / 税別）1,970,000 円

販売価格はお返事します

ジャンパーケーブル

スピーカーを1クラス上の音に変える

※価格は定価（ペア / 税別）です。

AB / aet

オススメ



Evidence-Jumper Spade-Banana

18cm/4 本セット 定価 144,000 円

販売価格 87,400 円

AB

NEW



Copper Jumper VT

バナナプラグ（4 本）販売価格 16,400 円

（2 本）販売価格 8,220 円

Y プラグ（4 本）販売価格 14,400 円

6mm/8mm（2 本）販売価格 7,200 円



Silver Jumper VT

バナナプラグ（4 本）販売価格 20,500 円

（2 本）販売価格 10,250 円

Y プラグ（4 本）販売価格 18,500 円

6mm/8mm（2 本）販売価格 9,250 円

aet



Evidence-Jumper/HR

B-Y（4 本・150m）定価（税別）150,000 円

B-Y（4 本・250m）定価（税別）180,000 円

販売価格はお返事します

aet

満足度
保証

Evidence/SP



1.5m 定価 840,000 円
2.1m 定価 900,000 円
2.7m 定価 1,080,000 円
3.6m 定価 1,600,000 円
5.4m 定価 2,880,000 円

AET フラッグシップスピーカーケーブル。三層円筒構造を採用。絶縁体にはテフロンを使用し AET ならではの高解像度感と音楽表現の豊かさを両立させています。これほどまでに高価なスピーカーケーブルが必要かどうか？その疑問は音を聞けば、氷解するかもしれませんよ！？

※価格は定価（ペア / 税別）です。 **販売価格はお返事します**

SIN/SP/EVD



1.5m 定価 300,000 円
2.1m 定価 360,000 円
2.7m 定価 420,000 円
3.6m 定価 540,000 円
5.4m 定価 660,000 円

SIN/EVD は、フラッグシップモデル Evidence の技術を取り入れた三層円筒構造を採用し、音質が一段とリファインされています。中域の清らかさと色彩感の高い表現力に定評のあった SIN/EVO の音調はそのまに、情報量が更に増えています。

※価格は定価（ペア / 税別）です。 **販売価格はお返事します**

切り売りケーブル

お客様のケーブルを、お客様の長さで

AB

HCR-ACF/EVO2/EZ

1m 切り売り **販売価格（税込）1,500 円**

オススメ

テスト
レポート

売れ筋



AIRBOW のケーブル・アクセスは、**無料貸出サービスを実施**しております。詳しくは、お問い合わせください。
※往復の送料は、お客様ご負担となります。
※身分証明の確認が必要となります。

「HCR-ACF/EVO2」は、惜しまれながら生産完了となりましたベストセラーモデル「HCR-ACF/EVO」の後継になります。音の傾向はガラリと変わり、同じく生産完了モデルの「6N14G」に近い「細かい音まで驚くほど明瞭に再現する能力」と、「反応の早い高域」、「パワー感のある押し出しに優れる低域」という特徴を持ったケーブルです。

音楽を自然体でふわりと聴かせる旧モデルと比べると、新モデルはほんの少しだけ厳しさが加わり音楽をストレートに伝えてくる印象ですが、長時間聴いても疲れる音ではありません。

その自信作を無料でお試し頂ける貸し出しサービスも実施中です。

eilex

Exima Limitd Edition



NVS の輸入代理店 eilex から発売されたキャブタイヤ型スピーカーケーブルです。太めの OFC 銅線を綿を介在とする絶縁体で覆い、銅箔でシールドが施されています。中音にパワー感がある、ストレートで雑味のない明快な音質です。

定価（税別）3,000 円 **販売価格（1m/税込）2,520 円**

スピーカーケーブルを交換したら…

それで完了ではありません。電気の世界は奥深く、ケーブルの先端に AIRBOW の F5.5/6/8CR などの Y ラグを付けるだけで大幅に音質がアップするのです。UFP-HSR/HG を使うと、1,000 円程度のケーブルが 1 万円ほどする高級ケーブルになったかと思うほど激変します。Y 端子の取り付けの際は必ず AK15A などの専用圧着工具をお使いください。

※機器によっては取り付けできない場合もございます。

aet



UFP-HSR
(ロジウムメッキ)
販売価格 (4 個入)
(税込) 4,530 円



ワイヤーストリッパー
GOOT Y53
販売価格 (税込) 1,850 円



UFP-HG
(金メッキ)
販売価格 (4 個入)
(税込) 3,620 円



圧着工具
LOBSTER AK15A
販売価格 (税込) 4,620 円



F5.5-8/CR 8mm 4 個入
販売価格 (税込) 各 1,020 円



F5.5-6/CR 6mm 20 個入
販売価格 (税込) 各 4,110 円

aet



S250

売れ筋

1m 切り売り 定価 2,400 円
販売価格 1,810 円

オススメ

テスト
レポート



F500

オススメ

1m 切り売り
定価 3,600 円
**販売価格 (税込)
2,800 円**

緻密な滑らかさと目の前にステージが出現するほどの「濃さ」を一度でも経験してしまうと、二度と他のケーブルに浮気することができなくなるでしょう。

オーディオボード

CDやアンプ、スピーカーの下に使用して音質UP!!



オススメ
テスト
レポート
1号館
展示中
3号館
展示中

フローティングボード WFB-Series

販売価格(税込) ¥15,400~

人気商品



複数のスプリングを組み合わせる事で「完全なフローティング状態」を作り出せる唯一のフローティングボードです。従来のフローティングボードの多くは、音の芯がぼやけたり低音が濁るなど「浮かしたことによる弊害」が感じられましたが、この製品にはそんな副作用はありません。低音は量感を失わず軽やかになり、高音は歪みがとれて滑らかに伸びるようになります。ストレスから解放された音が空間に大きく広がり、音楽の躍動感を飛躍的にアップできるのは、この製品だけだと自負します。プレーヤーやアンプなどあらゆるオーディオ機器にお使い頂けますが、最も大きな効果を発揮できるのはスピーカー、アナログプレーヤーとの組合せです。

WFB-4449H/HD

NEW

販売価格(税込) ¥75,000

サイズ(W・D・H): 440*490*58(±2)mm

適合重量: 15-150kg

機器の摩擦が高まることで、ボードと機器が完全に一体化し、従来モデル比で低音の力強さと引き締め感、中高域の透明感が大きく改善した高音質モデルです。

WFB-1515-4

販売価格(税込) ¥46,200

サイズ(W・D・H): 600*400*58(±2)mm

適合重量: 15-150kg

WFB-0190-1

サイズ(W・D・H): 400*250*58(±2)mm

WFB-0190-2

サイズ(W・D・H): 450*350*58(±2)mm

WFB-0190-3

サイズ(W・D・H): 490*440*58(±2)mm

適合重量: 1-90kg

販売価格(税込) ¥39,000

WFB-0115-1

販売価格(税込) ¥15,400

サイズ(W・D・H): 125*150*55mm

適合重量: 1-15kg

1台: 販売価格(税込) ¥15,400

2台: 販売価格(税込) ¥28,800

3台: 販売価格(税込) ¥42,100

5台: 販売価格(税込) ¥69,900

7台: 販売価格(税込) ¥97,700



AB-HR5

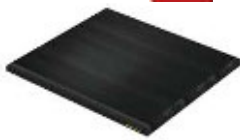


定価(税別) ¥70,000

販売価格 ¥54,400(税込)

AB-333

NEW



定価(税別) ¥22,000

販売価格 ¥16,600(税込)

大ヒット中の吸音材!

MW40502

(ミスティックホワイト)



定価(2枚入・税別) ¥8,800

販売価格 ¥6,780(税込)



TMB-50

テスト
レポート



定価(税別) ¥48,000

販売価格 ¥38,800(税込)

インシュレーター

CDやアンプ、スピーカーの下に使用して音質UP!!



METAL-BASE

販売価格(税込)

1個 ¥1,740 3個 ¥5,140

4個 ¥6,680



METAL-BASE-KING

METAL-BASE-KING/HD

NEW

販売価格(税込)[HD] 1個 ¥4,320[¥6,480]

3個 ¥12,300[¥19,440]

4個 ¥16,400[¥25,920]



METAL-BUBBLE/M

販売価格(税込) ¥4,110



METAL-BUBBLE/L

販売価格(税込) ¥6,170



BEAT-CONE

販売価格(税込)

1個 ¥7,560 3個 ¥22,680

4個 ¥30,240



安価だけど効果は絶大!

HTD-1001/6 個

定価(税別) ¥6,300

SH-2014/4 個

定価(税別) ¥3,600

オススメ



テスト
レポート



IS-HR5/4 個

定価(税別) ¥28,000



IS-HR3/4 個

定価(税別) ¥28,000

Accessory

その他のアクセサリ価格表

ケーブル関連

メーカー	型番	定価	販売価格
AIRBOW	SP/VINTAGE/WESTERN 1.5m～（完成品）		72000～
	SP/VINTAGE/COPPER 1.5m～（完成品）		20500～
AET	HIN/SP/EVD/1.5m～5.4m（完成品）	70000～126000	52900～95200
	HIN/SP/EVD/切売（10cm）	1200	900
	HHL/SP/EVD/1.5m～5.4m（完成品）	42000～84000	31700～63500
	HHL/SP/EVD/切売（10cm）	720	540
	EVO-1302F/1.5m～5.0m（完成品）	33600～57600	25400～43500
	EVO-1302F/EZ/切売(10cm)	360	280
	EVO-1302S/1.5m～5.0m（完成品）	33600～57600	25400～43500
	EVO-1302S/EZ/切売(10cm)	360	280
	F500/エージング済み/切売(10cm)	360	280
	F075/切売(1m)	480	360
EILEX	EXIMA/LTD/切売(1m)	3000	2520

インシュレーター関連

AIRBOW	METAL-BASE/L/4個		10080
	METAL-BASE/L/3個		7610
	WOODBOW/KM/4個		16440
	WOODBOW/KM/3個		12330
	WOODBLOCK/MP(楓ブロック)		21600
AET	SH-2014B(真鍮製インシュレータ) 4個入	4800	3620
	SH-2007B(真鍮製インシュレータ) 4個入	3600	2720
	SH-2007A(アルミ製インシュレータ) 4個入	2400	1810
	SH-2007A(アルミ製スパイク) 4個入	2400	1810
	SH-3046B(真鍮製スパイク受) 4個入	4800	3620
	SH-3046A(アルミ製スパイク受) 4個入	3600	2720
	SH-3046SA(アルミ製スパイク) 4個入	3600	2720
	VFE-8015S/H(ソフト/ハード) 4枚入	4800	3620
	VFE-4005U(ウルトラハード) 4枚入	1500	1130
	VFE-4005S/H(ソフト/ハード) 4枚入	1200	900

Yラグなど

AIRBOW	F5.5シリーズ		1020～
AET	UFPシリーズ	4800～	3620～
	BANANAシリーズ	4800～	3620～
AUDIO-QUEST	1000/BFA/SBW/6個	37400	30200
	1000/BFA/4個	24800	20000
	1000/SPADE/SBW/6個	37400	30200
	1000/SPADE/4個	24800	20000
	SG/300BFA/4個	3200	2770
LUXMAN	BFA/4個	2400	2050
	JPY-10/4個	8000	6890
	JPB-10/4個	8000	6890

ラインケーブル関連

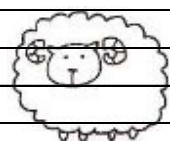
AIRBOW	MSU-095WE 0.95m		9250
AET	EVO-0605R 0.6m/1.0m	8400/9600	6350/7250
AUDIO-QUEST	COLUMBIA3/RCA/0.5m~2.0m	60000~92000	49200~75500
	COLUMBIA3/XLR/0.5m~2.0m	60000~92000	49200~75500
	YUKON/RCA/0.5m~2.0m	30600~49400	24600~42500
	YUKON/XLR/0.5m~2.0m	30600~49400	24600~42500
	MACKENZIE/RCA/0.5m~2.0m	18600~26100	15000~21000
	MACKENZIE/XLR/0.5m~2.0m	18600~26100	15000~21000
	RED-RIVER/RCA/0.5m~2.0m	13600~17400	11000~14000
	RED-RIVER/XLR/0.5m~2.0m	13600~17400	11000~14000
WIRE-WORLD	PLATINUM ECLIPS7(PEI7)RCA/0.5m~2.0m	190000~550000	149000~433000
	PLATINUM ECLIPS7(PBI7)XLR/0.5m~2.0m	190000~550000	149000~433000
	GOLD ECLIPS7(GEI7)RCA/0.5m~2.0m	110000~350000	82500~275000
	GOLD ECLIPS7(GBI7)XLR/0.5m~2.0m	110000~350000	82500~275000
	SILVER ECLIPS7(SEI7)RCA/0.5m~2.0m	55000~145000	41200~114000
	SILVER ECLIPS7(SBI7)XLR/0.5m~2.0m	55000~145000	41200~114000
	ECLIPS7(ECI7)RCA/0.5m~2.0m	40000~85000	31700~67400
	ECLIPS7(BCI7)XLR/0.5m~2.0m	40000~85000	31700~67400
S/A LAB	HLP4/RCA/1.0m~1.5m	30000~36000	23100~27700
	HLS/Mk3/RCA/1.0m~2.0m	18000~25000	13800~19200
	HSB/XLR/1.0m~1.5m	18000~25000	13800~16500
MCINTOSH	CA1M/RCA 1.0m/2.0m	60000/70000	48600/56700
	CBA1M/XLR 1.0m/2.0m	80000/100000	64800/81000
NVS	COPPER1/RCA/0.9m~3.0m	240000~410000	お尋ね下さい
	COPPER1/XLR/0.9m~3.0m	340000~710000	お尋ね下さい
	COPPER2/RCA/0.9m~3.0m	170000~250000	お尋ね下さい
	COPPER2/XLR/0.9m~3.0m	220000~330000	お尋ね下さい
	COPPER3/RCA/0.9m~3.0m	120000~160000	お尋ね下さい
	COPPER3/XLR/0.9m~3.0m	160000~220000	お尋ね下さい
TRIODE	TR-RCA1 1.0m/1.5m	14000/16000	11300/12300

電源関連

AIRBOW	CPSC-L/3.0m		18500
	CPSC-L/1.25m		12300
	CPSC-L/0.75m		9250
LUXMAN	JPA-15000	20000	16400
KRIPTON	PC-HR1000/2.0m	57000	44200
	PC-HR500/2.0m	38000	29500
AIRBOW	PS-220HBL		66800
	PS-230AB		44200
CSE (電源タップ)	C1000	66000	52800
	C800	42000	28000
	C24	18000	12000
KRIPTON	PB-HR700	95000	73000
	PB-111	38000	29100
CSE (電源ユニット)	IP3000	360000	288000
	IP2000	260000	205700
	IP1200	165000	124400
	R30	140000	86400
AET	PSE281HR	8400	6350

オーディオボード関連

AIRBOW	DCB444926 コーリアンボード(44cm×49cm・厚み2.6cm)		11300
	DCB444913 コーリアンボード(44cm×49cm・厚み1.3cm)		5650
	DCB354526 コーリアンボード(35cm×45cm・厚み2.6cm)		8220
	DCB354513 コーリアンボード(35cm×45cm・厚み1.3cm)		4110
	JDB444912 人工大理石ボード(44cm×49cm・厚み1.2cm)		4320
	JDB444906 人工大理石ボード(44cm×49cm・厚み0.6cm)		2880
	JDB354512 人工大理石ボード(35cm×45cm・厚み1.2cm)		3390
	JDB354506 人工大理石ボード(35cm×45cm・厚み0.6cm)		2160
	JDB352212 人工大理石ボード(35cm×22cm・厚み1.2cm)		1850
	METAL/SHEET1.4/L		7400
	METAL/SHEET1.4/S		6680
	METAL/SHEET0.6/L		3080
	METAL/SHEET0.6/S		2670
	WOOD-BASE42-47		19400
	WOOD-BASE47-52		23700
	WOOD-BASE52-72		26900
KRIPTON	AB-5200(60cm×60cm・厚み5.5cm)	54000	38200
	AB-3200(49cm×45cm・厚み5.5cm)	34000	26400
	AB-2200(45cm×40cm・厚み4.4cm)	27000	20500
	AB-1000(30cm×40cm・厚み5.5cm)	20000	15500
ジークレフ音響	Wellfloat-Bord TYPE4449L(44cm×49cm・厚み6.0cm・耐荷重～150kg)	98000	82500
	Wellfloat-Bord/Type30(60cm×40cm・厚み5.8cm・耐荷重～90kg)	55000	46300
	Wellfloat-Bord/Type10(50cm×40cm・厚み5.8cm・耐荷重～90kg)	55000	46300
	WELLDISC	2500	2100
	Wellfloat-Ring(直径12cm・厚み5.0cm・耐荷重～50kg)	15000	12600
CSE	ASB4560WF(45cm×60cm・厚み5.8cm・耐荷重～90kg)	65000	50500
	ASB3545WF(35cm×45cm・厚み5.8cm・耐荷重～90kg)	55000	42700
サンシャイン	S50(47cm×42.5cm・厚み1.5cm)	16000	12600
	S40(44.5cm×34.5cm・厚み1.5cm)	14000	11000
	S30(39.5cm×29.5cm・厚み1.5cm)	12000	9400
	B50(47cm×42.5cm・厚み1.4cm)	9500	7610
	B40(44.5cm×34.5cm・厚み1.4cm)	8500	6780
	B30(39.5cm×29.5cm・厚み1.4cm)	7500	6060
	B25(2枚1組)(20cm×25cm・厚み1.4cm)	10000	8020
	B20(2枚1組)(22cm×29cm・厚み1.4cm)	8500	6780
	A50(47cm×42.5cm・厚み0.6cm)	4000	3180
	A40(44.5cm×34.5cm・厚み0.6cm)	3500	2770
	A30(39.5cm×29.5cm・厚み0.6cm)	3000	2360
	V50(47cm×42.5cm・厚み0.4cm)	19800	15900
	V40(44.5cm×34.5cm・厚み0.4cm)	17800	14400
	V30(39.5cm×29.5cm・厚み0.4cm)	16800	13500
	ST-1(23.9cm×13.9cm・厚み0.4cm)	9500	7610
ATOMIC-AUDIO-LABS	PRO-REFERENCE19(48.26cm×45.72cm)	170000	142900
	PRO-REFERENCE17(43.1cm×40.6cm)	145000	121300
	PRO-REFERENCE16(40.64cm×38.1cm)	136000	114100
	PRO-REFERENCE15(35.9cm×24.7cm)	102000	85300
	PRO-REFERENCE13(32.5cm×22.7cm)	85000	70900
	MAC-PLATFORM(19.7cm×19.7cm)	60000	50400



逸品館のハネタ広場

逸品館冬のダイレクトメールには AIRBOW 冊子 最新版が同封されています!

掲載商品は HP・TEL からご購入頂けます。1号館 TEL06-6644-9101

BD-player&Projector



ハイエンド SACD プレーヤーも真っ青の超高音質・超高画質マルチプレーヤー

UD7007/Special は、デジタル出力（HDMI 接続）で高級 BD プレーヤーに匹敵する高画質、ピュアオーディオ・プレーヤーと同等の高音質を実現する BD プレーヤーです。

UD7007/SPECIAL

1号館
展示中

オススメ



CP（コンプリートパッケージ）は AIRBOW オリジナル脚 Switch-LEG と CPSC-LH2/1.5m を付属した最高グレードのパッケージです。

UD7007/SPECIAL-CP	販売価格	203,000 円
UD7007/SPECIAL	販売価格	178,000 円
UD7007/SPECIAL-DT-CP	販売価格	173,000 円
UD7007/SPECIAL-DT	販売価格	148,000 円

Pioneer

BDP-LX88

オススメ



メディアに記録された映像と音声を余すところなく再生するための、パーツと構造へのこだわり。最新の 4K アップスケーリング出力回路への画質のこだわり。それは、光ディスクプレーヤー（レーザーディスク）の開発から連綿と引き継がれてきた Pioneer の魂。BDP-LX88/LX58 は、Pioneer の魂が込められた久しぶりのスーパーモデルです。

BDP-LX88	NEW	1号館 展示中	定価 278,000 円
BDP-LX58	NEW		定価 98,000 円

Cambridge Audio

Azur752BD

1号館
展示中



HDMI からの 4K2K アップコン出力に対応したことが大きな特徴の BD/BD 3D/DVD/SACD/CD/DVD 再生に対応するプレーヤーです。

Azur752BD	定価	OPEN
-----------	----	------

marantz

UD7007

1号館
展示中



UD7007 は、Marantz のピュアオーディオ製品に採用される HDAM を搭載したアナログ出力回路が使われ、RCA/XLR の音質は格別です。画質も UD7006 から大幅にアップグレードされ、さらには要望の「HDMI 2 系統出力」を装備するなど、価格こそ少し安めですが従来のフラッグシップモデルに迫る内容となっています。そして！国産品だからこそ、海外勢が対応しないレコーダーで焼いた BD の再生にも対応しています！

UD7007	定価	150,000 円
--------	----	-----------

DENON

DBT-3313UD



DENON-Link-HD 搭載でジッターフリー転送を実現。低価格で高性能を実現したユニバーサルプレーヤー。

DBT-3313UD	定価	120,000 円
------------	----	-----------

YAMAHA

BD-A1040

NEW



AV レシーバー「AVENTAGE」シリーズとデザインをあわせた Wi-Fi や SACD 対応のブルーレイプレーヤー。

BD-A1040	定価	55,000 円
----------	----	----------

JVC
PROFESSIONAL

DLA-X700R

オススメ

高精細で自然な表現は、現在最も緻密な「4K 映像」を再現可能な製品です。



DLA-X700R(BK)
DLA-X500R(BK)(WH)
DLA-X35(WH)

1号館
展示中

定価 800,000 円
定価 OPEN
定価 OPEN

NEW

オススメ

HD90



高輝度と色彩表現を可能にした 3D フルハイビジョン対応の超高画質機。カラーホイールを使用しない新高速 LED 方式により、DLP の弱点と言われたレインボウノイズを極限まで低減！LED 光源の寿命は約 20,000 時間となり、毎日 2.5 時間使用で 20 年交換不要です！

HD90
HD25LV(3D メガネなし)
HD26

NEW

NEW

定価 OPEN
定価 OPEN
定価 OPEN

色鮮やかで暖かい質感はクエストならではの

FOREST2

1.0m 定価 ¥ 5,000 → 販売価格 ¥ 4,110
1.5m 定価 ¥ 5,800 → 販売価格 ¥ 4,770
2.0m 定価 ¥ 6,600 → 販売価格 ¥ 5,430
3.0m 定価 ¥ 8,000 → 販売価格 ¥ 6,580
5.0m 定価 ¥ 13,000 → 販売価格 ¥ 10,600



CARBON

オススメ

1.0m 定価 ¥ 20,000 → 販売価格 ¥ 16,400
1.5m 定価 ¥ 22,000 → 販売価格 ¥ 18,100
2.0m 定価 ¥ 24,000 → 販売価格 ¥ 19,700
3.0m 定価 ¥ 31,000 → 販売価格 ¥ 25,500
5.0m 定価 ¥ 45,000 → 販売価格 ¥ 37,500

CINNAMON

オススメ

1.0m 定価 ¥ 8,000 → 販売価格 ¥ 6,580
1.5m 定価 ¥ 9,000 → 販売価格 ¥ 7,400
2.0m 定価 ¥ 9,900 → 販売価格 ¥ 8,120
3.0m 定価 ¥ 12,000 → 販売価格 ¥ 9,870
5.0m 定価 ¥ 16,000 → 販売価格 ¥ 13,100



DIAMOND2

1.0m 定価 ¥ 137,000 → 販売価格 ¥ お返事いたします。
1.5m 定価 ¥ 162,000 → 販売価格 ¥ お返事いたします。
2.0m 定価 ¥ 187,000 → 販売価格 ¥ お返事いたします。
3.0m 定価 ¥ 237,000 → 販売価格 ¥ お返事いたします。
5.0m 定価 ¥ 337,000 → 販売価格 ¥ お返事いたします。

高い透明感に艶や抑揚が伴う 逸品館オススメ品

SSH7

NEW



1.0m 定価 ¥ 50,000 5.0m 定価 ¥ 110,000
2.0m 定価 ¥ 65,000 7.0m 定価 ¥ 140,000
3.0m 定価 ¥ 80,000

SHH7

NEW



1.0m 定価 ¥ 34,000 5.0m 定価 ¥ 66,000
2.0m 定価 ¥ 42,000 7.0m 定価 ¥ 82,000
3.0m 定価 ¥ 50,000

長尺に強いハイエンド HDMI ケーブル

PAVA-FLE2 シリーズ



0.7m 定価 ¥ 13,000 2.0m 定価 ¥ 19,000
1.0m 定価 ¥ 15,000 3.0m 定価 ¥ 23,000
1.5m 定価 ¥ 17,000 5.0m 定価 ¥ 30,000

AVC-LS



1.5m 定価 ¥ 100,000 15 m 定価 ¥ 150,000
3.0m 定価 ¥ 110,000 20 m 定価 ¥ 170,000
10 m 定価 ¥ 130,000 30 m 定価 ¥ 190,000

Screen

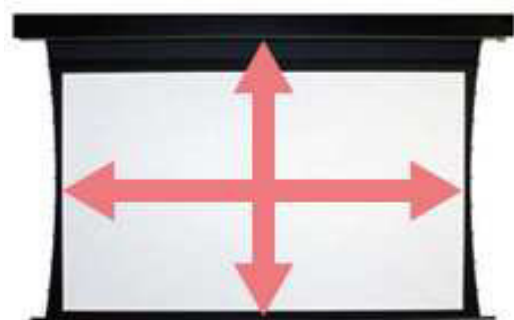


キモチをカタチに

STP セレクション

オススメ

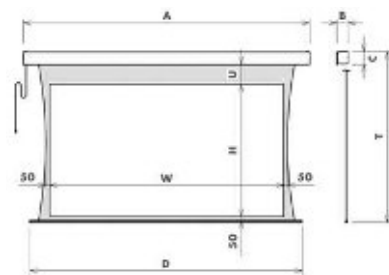
上下左右から理想的に生地を引っ張るオーエスのサイドテンション方式。



STP の 7 つのポイント！

- (1) 張込型同等の優れた平面性。しかも巻取り収納が可能な電動スクリーン！
- (2) リファレンスとして画質に定評あるピュアマットII EX とサウンドマットの 2 種類の特性の生地を用意！
- (3) どんなインテリアにもマッチするフラットパネル採用のシンプルデザイン！
- (4) スライディングブラケットとサイドブラケットを標準装備（100HM～120HM）！※130～150 型除く
- (5) トリガー入力端子搭載、プロジェクターの動きと連動可能！
- (6) 簡単生地交換可能な P セレクションの機構を採用！
- (7) 全てのサイズで、リモコン&壁スイッチ（オプション）で簡単に上下リミット調整が可能！

電動スクリーン HDサイズ（16：9）



サイズ	イメージ (H×W)	全長 (A)	全高 (T)	上部マスク (U)	奥行 (B)	収納高 (C)	下パイプ長 (mm)	重量 (kg)	生地:WF203		生地:WS102/WS103	
									定価 (税別)	販売価格 (税込)	定価 (税別)	販売価格 (税込)
100	2214×1245	2747	2223	755	134	145	2566	14.6	¥310,000	¥240,600	¥420,000	¥326,000
110	2435×1370	2968	2223	630	134	145	2787	15.7	¥330,000	¥256,100	¥470,000	¥365,100
120	2657×1494	3190	2223	506	134	145	3009	16.8	¥350,000	¥271,500	¥520,000	¥404,200
130	2878×1619	3411	2248	381	155	170	3230	29.1	¥410,000	¥317,800	¥600,000	¥465,900
140	3099×1743	3652	2248	257	155	170	3451	31.0	¥440,000	¥341,400	¥660,000	¥512,200
150	3321×1868	3854	2248	132	155	170	3673	32.9	なし	なし	¥720,000	¥559,500

New! 4K に対応した「ピュアマットIII (WF302)」も作成可能。お問い合わせ下さい。

PA 組立・張込スクリーン

オススメ

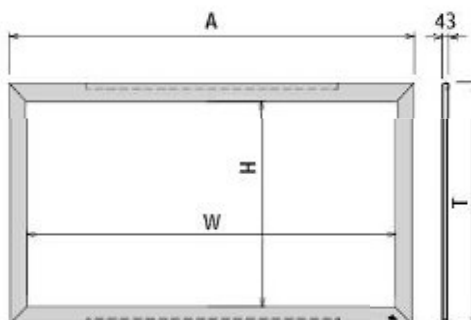
抜群の平面性を誇るスクリーンの理想形。

4K 時代に相応しいピュアマットIIIもラインナップに登場し、プロジェクター専用ルームには欠かせない本格派スクリーンです。

PA(組立・張込)スクリーンの特徴

生地を全方向にスプリングでテンションをかけるので、巻上げ式スクリーンに比べ、抜群の平面性を誇ります。
温度や湿度による生地の変化にも、スプリングが柔軟に対応しますので永らくご愛用頂けます。

HDサイズ（16：9）



ブラック塗装フレーム

サイズ	イメージ (W×H mm)	全長 (A mm)	全高 (T mm)	重量 (kg)	生地:WG		生地:WF203		生地:BU202		生地:WS	
					定価 (税別)	販売価格 (税込)	定価 (税別)	販売価格 (税込)	定価 (税別)	販売価格 (税込)	定価 (税別)	販売価格 (税込)
100	2214×1245	2418	1460	12.0	84,500	¥64,800	¥168,000	¥130,600	¥168,000	¥130,600	¥275,000	¥205,700
120	2657×1494	2861	1709	14.0	133,000	¥102,800	¥190,000	¥147,000	¥190,000	¥147,000	¥320,000	¥247,800
150	3321×1868	3525	2083	18.5	175,000	¥135,700	¥270,000	¥209,800	¥270,000	¥209,800	¥530,000	¥411,400

フロッキー加工フレーム

サイズ	イメージ (W×H mm)	全長 (A mm)	全高 (T mm)	重量 (kg)	生地:WF203		生地:WF301		生地:BU202		生地:WS	
					定価 (税別)	販売価格 (税込)	定価 (税別)	販売価格 (税込)	定価 (税別)	販売価格 (税込)	定価 (税別)	販売価格 (税込)
100	2214×1245	2418	1460	12.0	220,000	¥170,700	¥260,000	¥201,600	¥220,000	¥170,700	¥325,000	¥252,000
120	2657×1494	2861	1709	14.0	245,000	¥190,200	¥290,000	¥225,200	¥245,000	¥190,200	¥375,000	¥291,000
150	3321×1868	3525	2083	18.5	330,000	¥256,100	¥380,000	¥295,200	¥330,000	¥256,100	¥590,000	¥458,700

※WS(サウンドスクリーン)の生地は、100型と120型はWS102。150型はWS103になります。

EASTONE

イーストンは新たな時代のニーズに応えるスクリーンを創造し続けます。

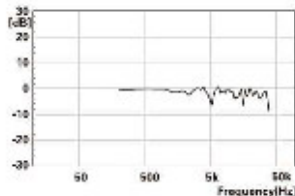
THX 認定

音響透過型スクリーン

3号館
展示中

【THX 認定 音響透過型スクリーン】シアターの世界的品質基準とも言える THX の認定を取得。画質、音響透過特性が共に認められた、イーストンのフラッグシップモデルです。映像と音の一体化を目指し、長年研究を重ねた音響透過性能は、40kHz の超高域までも実用的なレベルに到達。その驚異的な音響透過特性は、電氣的な補正を全く必要とせず、THX の基準をクリアしています。「THX」は、ルーカスフィルム社が提唱した、シアターに関する世界的な品質基準です。映画制作者の意図した映像や音声を忠実に再現する事を目的とした認定プログラムを提供しています。映画館の THX 認定は、高品位な映画館を見極める上で、重要な指標として広く認知されています。

「ホーム THX」は、DVD プレーヤー、AV アンプ、スピーカー、スクリーンなどの機材を認定します。スクリーン製品の認定に際しては、音響透過型であることが前提条件となっており、さらに認定テストでは、画質、音響透過特性など、厳格な測定および審査に合格する必要があります。



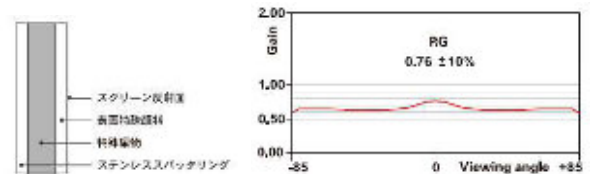
THX のスクリーン製品認定の際は、音響透過型であることが前提条件となっています。これは、スクリーンの背面にフロントスピーカー設置し、映像に音声を一体化させる事が、映画の世界へ没頭するための重要なポイントであることを意味し、映画館も同様のシステムとなっています。(財団法人日本環境協会)

THX 認定の音響透過型である「E2S」は、画質に一切の妥協する事無く、幕面を形成する繊維に、80% もの再生 PET 繊維を使用し、財団法人日本環境協会の「エコ認定」

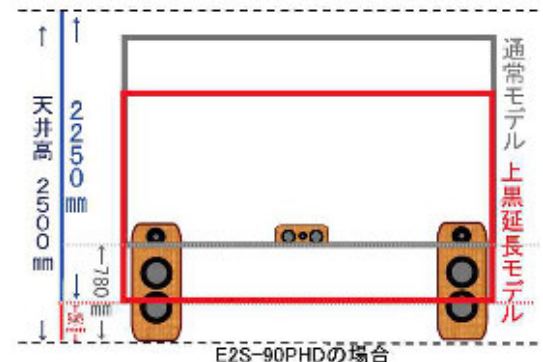
を正式に受けています。「性能だけではなく、環境への配慮も大切にしたい」。モノ作りを大切にしているイーストンのこだわりです。

モデル	画面 (inch)	重量 (Kg)	画面縦 (A)	画面横 (B)	上部黒マスク	全長	本体幅	ボトム幅	定価 (税別)	単体販売価格(税込)
E2S-90PHD	90	7.2	1121	1992	740	2000	2251	2148	¥260,000	¥200,500
上黒延長	-	-	-	-	970	2241	-	-	¥310,000	¥238,600
E2S-100PHD	100	7.8	1245	2214	620	2000	2454	2348	¥306,000	¥235,500
上黒延長	-	-	-	-	850	2245	-	-	¥356,000	¥274,600
E2S-110PHD	110	8.4	1370	2435	490	2000	2657	2549	¥352,000	¥271,500
上黒延長	-	-	-	-	730	2250	-	-	¥402,000	¥309,600
E2S-120PHD	120	9	1494	2657	370	2000	2877	2771	¥398,000	¥306,500
上黒延長	-	-	-	-	600	2244	-	-	¥448,000	¥345,800

- ◎ THX認定
- ◎ 優れた音響透過特性 (電氣的な補正を必要とせず、THXの基準をクリア)
- ◎ 拡散性に優れ、どの角度からも美しい映像(P.G 0.76、フラットな光学特性)
- ◎ 電動式で、ホームオートメーションシステムに対応
- ◎ 専用赤外線リモコン付属
- ◎ スリムで高剛性なアルミ材押し出しケース
- ◎ 専用ブラケット付属で、簡単設置



特殊顔料の配合により、光の拡散性を大幅に向上 (当社比) ピークゲインを 0.76 におさえつつ、85° 時のゲインも、ピークの 75% を超える 0.58 を確保。驚異的にフラットな光学特性を実現しました。どの角度から見ても、隔々まで均一に明るく、ソース映像のコントラスト感を忠実に再現します。



逸品館お薦めの EASTONE E2S シリーズに大変便利な上黒延長モデル (逸品館オリジナル) が登場しました。

上黒延長モデルなら、全てスクリーンの縦全長が約 2.25m となり、床にかなり近い位置までスクリーンを下げられます！

比較的低い位置から映画をご覧になれる時には、赤い枠までスクリーンが下がる上黒延長モデルが便利です。

WG
ホワイト

一般的に良く使われるスクリーン生地です。ただし迷光も同じように反射するので、暗い部屋と明るいプロジェクターが要求されます。

WF203
ピュアマット2EX

フル HD の映像を美しく滑らかに表現する、黒の深みに優れたスクリーン生地です。梨地織りの生地が干渉縞を防ぎ高精緻な映像を実現いたします。

WF301 / WF302
ピュアマットIII

ピュアマットII EX を更に改良し、より細い糸で編み上げた生地は織目が小さく干渉縞の出ない落ち着いた映像はそのままに、より精緻な映像を実現しました。

BU202
ウルトラビーズ

完全暗室にならないリビングシアターや、明るさが求められる 3D 映像で実力を発揮します。グレー顔料のウレタン層がアンダー部を引き締め、メリハリの有る映像表現を実現します。

WS
サウンドマット

スクリーンの背面にスピーカーを設置する場合に使用いたします。
※WS103 は 130 型以上の大型スクリーン用

その他、各種メーカーのスクリーンを取り扱っています。お気軽にお問い合わせ下さい。

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

Stylist
Series

NAVIO

Stewart
Filmscreen Corporation®

GRANDVIEW シリーズ

MALIBU
Stewart BY KIKUCHI

Av-amplifier



映画館を越える感動をお届けします

SR7009 SPECIAL

9.1ch

NEW



Dolby Atmos対応、9chディスクリート・パワーアンプ搭載、ネットワークAVアンプ。4K映像入出力、iPhone/iPod Touch/USBメモリ対応フロントUSB入力、DSD/ハイレゾ対応ネットワーク端子を搭載。AIRBOW一体型AVアンプ史上最高音質を目指します。

SR7009 SPECIAL



予定販売価格 325,000 円

AV8801 SPECIAL

展示中



AV8801/Special は、ハッキリ、クッキリとした明快さと緻密で滑らかな音質が合わさった AIRBOW 至上最高のマルチメディアセンターとして仕上がりました。多メディア対応高音質機能が遂にピュアオーディオの領域に到達し、もはや AV プリアンプとの境界をまったく意識せずに、音の良い多機能マルチチャンネルアンプとしてお使いいただけます。超多機能で超高音質な新世代のオーディオセンター、それが AIRBOW AV8801/Special です。

AV プリアンプ

AV8801 SPECIAL-RCA

販売価格 298,000 円

AV8801 SPECIAL-RCA-CP

販売価格 328,400 円

AV8801 SPECIAL-XLR

販売価格 318,000 円

AV8801 SPECIAL-XLR-CP

販売価格 349,000 円

AV8801 SPECIAL-FULL

販売価格 338,000 円

AV8801 SPECIAL-FULL-CP

販売価格 369,500 円

NR1605 SPECIAL

7.1ch

NEW



Dolby HD対応、7chディスクリート・パワーアンプ搭載、ネットワークAVアンプ。4K映像入出力、iPhone/iPod Touch/USBメモリ対応フロントUSB入力、DSD/ハイレゾ対応ネットワーク端子、ワイヤレスWiFi/Bluetooth入力搭載。AIRBOW薄型AVアンプ史上最高音質を目指します。

NR1605 SPECIAL

予定販売価格 148,000 円

NR1605 SPECIAL-CP

予定販売価格 160,000 円

MM7055 SPECIAL

1号館
展示中

AV パワーアンプ

MM7055 SPECIAL

5ch

販売価格 185,000 円

MM7055 SPECIAL-CP

5ch

販売価格 225,000 円

MM7025 SPECIAL

2ch

販売価格 113,000 円

MM7025 SPECIAL-CP

2ch

販売価格 155,000 円

RMB-1506 SPECIAL

6ch

販売価格 185,000 円

Pioneer

SC-LX88

1号館
展示中

9.2ch

NEW



フル 32bit 化、プロセッサ専用化などデジタル回路のグレードアップにより従来モデルを超える「音の細やかさ」とダイレクトパワーエナジー回路への「高音質パーツ」の投入により再生周波数レンジの拡大、パワー感の向上が実現しています。新技術では、話題の「Dolby Atmos」・「4K スケーリング」への対応や、DSD ネットワーク再生高音質化などが実現しています。

SC-LX88		NEW	定価	335,000 円
SC-LX78		NEW	定価	250,000 円
SC-LX58		NEW	定価	178,000 円

marantz

SR7009

1号館
展示中

9.1ch



9ch ディスクリットアンプを搭載する「アナログサウンド」の AV アンプ。Dolby Atmos に対応するのは言うまでもなく、マランツ独自の高音質回路 HDAM の構成が IC からディスクリットにアップグレードし、音質に磨きが掛かっています。毎日使うアンプとして、聞き込めば聞き込むほど魅力を増す、それが SR7009 です。

SR7009		NEW	定価	230,000 円
NR1605	NEW	定価	81,000 円	

AV プリアンプ

AV8801	定価	430,000 円
--------	----	-----------

AV パワーアンプ

MM7055	5ch	定価	130,000 円
--------	-----	----	-----------

YAMAHA

RX-A3040

1号館
展示中

9.2ch

NEW



A3040 は、11.2ch プリアウトを装備し、デジタル領域も下位モデルを超える高音質回路が採用され、昨年発売された A5000 の立場を危うくするほどの性能を持っています！

RX-A3040		NEW	定価	250,000 円
RX-A2040		NEW	定価	180,000 円
RX-A1040	NEW	定価	130,000 円	

AV プリアンプ

CX-A5000	定価	250,000 円
----------	----	-----------

AV パワーアンプ

MX-A5000	11ch	定価	300,000 円
----------	------	----	-----------

DENON

AVR-X4100W

1号館
展示中

7.2ch

NEW



実売 10 万円というその価格からは考えられない機能と音質に仕上がっています。Dolby Atmos を始めとする各種サラウンドプログラムや最新 4K 映像出力に対応し、デジタル回路には DENON オリジナル高音質デジタル・プロセス「AL24」を搭載、有線 / 無線ネットワークによるハイレゾや DSD 再生にも対応、Bluetooth スピークも搭載するなど家庭用としてはもはやこれ以上の機能は不要です。それがこの価格！で実現し、さらに音質にも優れるなどこれ以上の AV アンプは家庭には不要ではないでしょうか！

AVR-X4100W		NEW	定価	150,000 円
------------	--	-----	----	-----------

最新AVアンプ 比較試聴

YAMAHA RX-A3040 PIONEER SC-LX88

YAMAHA RX-A3040



- ・サイズ：435×192×467(mm)
- ・重量：19.6Kg
- ・希望小売価格：¥250,000

試聴後感想

その音の良さに感銘を受けた A1040 の上級モデル A3040 がどのような音を聞かせてくれるのか？かなり期待をしていました。その期待に応える形で A3040 は強化されたデジタル回路とパワーアンプの効果で、音が相当細かくなっていました。中低音にも厚みが出て、また DSP の能力も大幅に向上しています。けれど期待が大きすぎたせいかもしれません、A3040 は A1040 と比べて「作られた音」という印象をやや強く受けました。等身大で自然な音で音楽を聞かせてくれた A1040 とは違って、A3040 の DSP は「作られた音」という存在感が強くなっています。また、DSP を使わずに聞いた場

合も音が細かく聞こえ過ぎて（情報量が増えすぎて）、スピーカー・セッティングなどに細かさが求められるように思いました。今回はテストしなかったのですが、A3040 が搭載する「自動調整機能」を使えば、もっと自然な音で鳴ったかも知れませんが、エイジング（慣らし運転）の期間が足りなかったのかも知れません。カジュアルで楽しい音を聞かせてくれるのが A1040 なら、密度の高い精密な音を聞かせてくれるのが A3040 です。どちら選ぶかは、価格と音の性質が違うので迷われることはないと思いますが、はっきり言えるのは A3040 は A1040 よりも明確にマニア向きだということです。

PIONEER SC-LX88



- ・サイズ：435×185×441(mm)
- ・重量：18.0Kg
- ・希望小売価格：¥335,000

試聴後感想

「手動設定」で SC-LX88 を聞いた時は、ソフト（音源）に対してシビアな印象を持ちました。良い音は良く、悪い音は悪く再現されたからです。最近の J-POP 系のソフトの多くは録音が酷く悪いので、TAD などの高額 HiFi システムでそれを聞くと、がっかりを通り越して腹が立つ時があるほどです。MCACC を使わずに聞いた SC-LX88 は TAD に近い方向の音で、録音の悪いソフトを聞くのはかなり辛いと思います。けれど MCACC 設定を行うと音質はドラスティックに変わります。あたかも乾ききった砂に水を含ませたよ

うに、音がしっとりとして艶が出て響きも豊富になり、雰囲気グッと濃くなります。アンプの音はスピーカーとの組み合わせとそのセッティングで大きく変わります。その難題を MCACC PRO という「現代装備」で解決した SC-LX88 は、やはり価格相応の優れたアンプです。操作系が洗練されれば、まさに「鬼に金棒」になるはず。値が張る製品ですが、従来モデルからの買い換えで十分納得できるクオリティーが実現すると思いました。

MARANTZ SR7009



- ・サイズ：440×185×401(mm)
- ・重量：13.8Kg
- ・希望小売価格：¥230,000

試聴後感想

「Marantz で最初に SR7009 を見たとき「Gold」では絶対に売れない！と感じました。今も marantz の BD プレーヤーなどの周辺機器は「ブラック」が基本なのでその思いは変わっていませんが、Marantz 高級オーディオ機器そのものの芳醇な SR7009 の音を聞いた後では、このアンプには「Marantz の Gold カラー」が相応しいと感じています。そのカラーがその音を連想させるからです。けれど、やっぱり黒の中に Gold だと違和感がありますよね！今まで聞いた 2014 年新製品の AV アンプでは、Pioneer が最も先進的なサウンドで、YAMAHA がそれ

に次ぐ感じでした。DENON は低価格で好ましい音質を実現していて好感が持てました。今回試聴した SR7009 は、高級機らしい音の細やかさと、家庭で音楽を聞き癒されるために求められる「大らかさ、楽しさ」を高い次元で両立しています。その音はこれまで AIRBOW が marantz カスタムモデルで実現してきたものとても良く似ています。自分を作る音に似ているから、私は今回効いた AV アンプの中で特に SR7009 の音が好きなのだと思います。レコードやカセットテープで音楽を聞いていた世代には、SR7009 の音は違和感なく身体に馴染むと思います。

AIRBOW NR1605/Special



- ・サイズ：440×105×376(mm)
- ・重量：8.6Kg
- ・販売価格：¥148,000（税込）

試聴後感想

このサイズに 7ch のアンプを搭載するのは、ピュアオーディオ機器の常識的で考えると無理があります。この先入観から NR1605 Special では電源の安定性がキーになり、微小信号の再現性や低音の引き締まり感では大型 AV アンプには敵わないと諦めていた部分がありました。けれど今回カスタマイズの内容を変更したことでその音質は想像を超えるほど大きく向上しました。パーツの少ないシンプル回路に高級オーディオパーツを多数組み込んだ NR1605 Special は、音の細やかさと透明感が非常に優れています。その音質は各社から発売されるフラッグシップ AV アンプに匹敵しうるか、もしかするとそれらを凌駕するほどです。録音の良いバイオリンソロ演奏を鳴らすと、バイオリンの音だけではなく楽器を取り巻く空間の響きまでもが再現されることに驚かされます。ジャズでは低音楽器の量感と、

引き締まり感に驚きます。このサイズのアンプでは電源が振られて低音が緩くなるのですが、NR1605 Special はそれを感じません。marantz 上級モデル SR7009 との比較では、低音のリッチさでは SR7009 が勝るかもしれませんが、低音のパンチ力や引き締まり感では NR1605 Special がそれに勝る印象です。SR7009 が高級コンポの持つ「芳醇な世界感」を醸し出すのに対し、NR1605 Special は AIRBOW らしい「自然で深みのある世界観」を実現します。AV アンプでありながら AIRBOW ピュアオーディオモデルのようにディスクに記録された音をめいっぱい引き出しながら、同時に味わい深く楽しませるそのテイストは他の AV アンプでは得られないものです。NR1605 Special の本格的なサウンドは、深夜や休日の時間帯に一人でじっくり聞くのに向いています。小型だけれど、中身は全然小型ではありません。

MARANTZ SR7009

AIRBOW NR1605/Special

試聴に使ったスピーカーシステム

・フロント：Focal 1028BE

・センター：AIRBOW IMAGE11/KA12

・リア：Vienna Acoustics Mozart Grand(T2G)



Focal 1028BE

Vienna Acoustics Mozart Grand(T2G)



AIRBOW IMAGE11/KA12



iPod touch USB 接続 音質テスト (音源は CD から取り込んだ WAV ファイル)



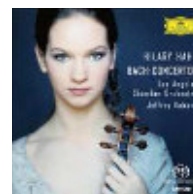
A Child is Born / Junko Mine
"My One and Only Love"

WAV



Ballad Collection Mellow / DOUBLE
"Stranger"

WAV



Hilary Hearn
"Bach Concerto"

WAV

YAMAHA RX-A3040

「ステレオ」

デジタル回路を 32bit にアップグレードし、DSP や DAC の IC を余裕を持たせて複数使った効果でしょう。RX-A3040 は AV アンプとは思えないほど音が滑らかできめ細かく、iPod を繋いでみても、驚くほど細やかな雰囲気まで再現されます。また、聞こえるか聞こえないかのぎりぎりの音の再現性に優れ、その場の雰囲気や空気感のようなものまで伝わります。

ボーカルは自然、サ行もキツくならず、滑らかで艶があります。ピアノの音には厚みがあり、いかにもピアノらしい上質でゴージャスな音が出ます。小さな音が大きくなる部分の変化もスムーズで、音に不要な角や髭が付かないのは A1040 と同じ美点です。じっと聞いていると、A1040 を大きく超えるディティールの細やかな再現で音楽の世界に引き込まれるような、質感の高い大人の音で My One and Only Love が鳴りました。

「DSP (Dolby PL2/Music)」

A1040 の試聴では DSP プログラムは、「スタンダード」をつかいました。しかし、A3040 で「スタンダード」を使うと、エコーが過多で不自然な雰囲気になってしまいました。そこでもう一度すべての DSP を聞き比べると、この曲では YAMAHA がオリジナルで搭載する DSP よりも Dolby PL2 (Music) や NEO : 6 (Music) がより自然に感じられました。そういう理由で、A3040 では、PL2 (Music) を使って疑似サラウンドを聞いてみました。

モードをステレオから PL2 (Music) に変更すると、伴奏の音がリアスピーカーに割り振られ、ピアノの音がリスナー後方へと広がります。ピアノの音にさらなる厚みが出て響きも長くなりますが、リアスピーカーからボーカルの音はでないで、声は前方中央にしっかり定位します。

ボーカルはリスナー前方ステージの中央にしっかりと定位します。重厚感溢れるグランドピアノらしい響きは部屋中に広がります。それぞれの音の色彩感も増して、雰囲気さらに濃くなります。ただ、A1040 と比べて A3040 が「Stereo」の音質が大きく向上しているため、DSP のあるなしによる変化は、A1040 ほど大きく感じられませんでした。

「ステレオ」

A1040 で感心した 2014 年モデル YAMAHA AV アンプの特長である「澄み切った音」にパワー感と厚みが加わります。AV アンプでありがちだった、高域の誇張感は今完全に過去のものになりました。目の前で鳴っているのは、AV アンプとは思えないほどクリアで滑らかな音です。

低音はしっかりと押し出して、ゆったりと収束します。A3040 は低音の収束が早く、やや音が乾いて感じられた A1040 とは違い、低音にタメが出ます。ボーカルは中央に綺麗に定位し、その声はウェットで艶があり唇の濡れた感じが伝わります。声の調子は A1040 よりもさらに力強く、真っ直ぐリスナーに向かってくる雰囲気です。A1040 で唯一不満を感じた「艶」が A3040 では出てきました。ビュアオーディオ機器と比べても何ら遜色のない良い音、自然なバランスでストレンジャーが鳴りました。

「DSP (ムービー：サイファイ)」

ストレンジャーで My One and Only Love と違うのは、指打ちの音やウインドベルなど「高域の音が明確に収録」されている部分です。DSP が作り出す音は、エコーや広がり司る周波数の高い音域が中心です。高音の明瞭度が高いストレンジャーでは、DSP がどのように音を作りスピーカーに割り振っているのかがはっきりと聞き取れます。ストレンジャーで Dolby PL2 (Music) と YAMAHA の各種 DSP を聞き比べると、YAMAHA DSP の中高域の細やかさが Dolby とは比べものにならないほど優れていることがわかります。Dolby の作り出すエフェクト音は「やや不明瞭」ですが、YAMAHA DSP の作り出すエフェクト音は、驚くほど「明瞭」なのです。

そこでストレンジャーで色々な DSP プログラムを試してみると、「ボーカルのセンター定位」と「後方への伴奏の広がり感」が両立している「ムービー：サイファイ」が適していました。音楽用のプログラムではない「ムービー：サイファイ」ですが、使うと Stereo モードで横に広がっていた音が前後方向にも広がり、ステージの奥行きがグッと増します。ボーカルは前方中央ジャストに定位し、伴奏はゆっくりと後へ広がります。やや広がり不足だった演奏が、立体的に広がります。まるで絵画が彫刻になったような、見事な 3D サウンドでストレンジャーが鳴りました。

「ステレオ」

弦楽器の音が高音までスッキリ伸びて魅力的な鳴り方をするのは A1040 に共通する美点ですが、A3040 はそれに加え「中域の弦」に厚みが出ます。中域がリッチになった結果、相対的に高域が少し伸びなくなっているように感じますが、バランスとしてはこちらの方が適切だと思います。

A1040 では「1 弦 2 弦」が魅力的に聞こえたヒラリー・ハーンが奏でるバイオリンは、得意とする音の帯域がオーケータンぽく下がったイメージで、A3040 では「2 弦 3 弦」が魅力的に鳴りました。

A1040 はフレッシュで快活にこの曲を鳴らし、A3040 はそれよりもゆったりとふくよかにこの曲を鳴らします。音質は明らかに A3040 が優れていますが、音楽を魅力的に鳴らすということでは、A1040 も A3040 に引けを取りません。普通のご家庭なら、A1040 で十分だと思います。しかも、A3040 よりも大幅に安いのです！

「DSP」

RX-A1040 には「ミュンヘン」、「ウィーン」、「チェンバー」と名付けられた 3 つの「ホールトーン」がプログラムされていました。A3040 にはさらに「アムステルダム」、「フライング」、「ロワイヨール」の 3 つが加わり、合計 6 つが使えます。

それぞれを聞いてみましたが、「DSP が生み出す音が明瞭すぎる」ためか、A1040 と比べて効果がやや強すぎて DSP エフェクトがやや不自然に感じられる部分がありました。また、水平方向への音の広がりの改善が著しく改善されるのに比べ、垂直方向への音の広がりがそれほど変わらないため、音場がレンズ上に薄っぺらくなってしまいました。A3040 でクラシック用の DSP を使う場合は、できればハイトスピーカーを使って上下方向へも音を広げたいと感じました。

さらなる使いこなしが要求されるという意味で、A1040 はエントリーモデル、A3040 はハイエンドモデルと明確な違いが感じられます。A3040 の真価を発揮させるためにはハイトスピーカーが必須だと感じますが、商品の個性が明確なのは良いことだと思います。

PIONEER SC-LX88

「Direct」

最近テストした「YAMAHA RX-A3040 の音質」と記憶と比較すると、SC-LX88 の音は高域がきめ細やかで透明感が高く感じられます。中低音の厚みは、RX-A3040 の方があったように思いますが、この楽曲をライブ的に鳴らした RX-A3040 に比べ SC-LX88 の音はより HiFi 感が強く、良い音で鳴る印象です。しかし、それは従来の SC-LX87 よりも Pioneer の 2ch オーディオ機器に近く、音楽からの距離が若干離れたように感じられました。音質派の SC-LX88 に対し、雰囲気派の RX-A3040 という違いを感じました。

「DSP (Dolby Surround)」

SC-LX88 のプリセットの DSP を試しましたが、効果が強すぎて不自然なため、「Dolby Surround」を聞きました。Direct で不足しがちだった「エコー成分 (音の響き)」が増え、雰囲気感が驚くほど向上します。個人的には HiFi 音よりも雰囲気派の濃い、例えば真空管アンプで聞けるような音が好きですが、サラウンドにしたときの雰囲気感の向上には目を見張るものがあり、かなり上級なオーディオシステムで SACD サラウンドを聞いているような、上質なサウンドが実現しました。特に高域の澄み切った細やかさは、YAMAHA RX-A3040 を確実に上回るでしょう。中低音はまだ RX-A3040 ほどの厚みはありませんが、クオリティーの高い中高域の質感がそれを補って余りあります。この高い質感は、AV アンプとしては初めて実現したものかもしれません。

「Direct」

今回はコントローラーに Android の端末を使用しましたが、アプリの動作 (iPhone も基本的に同じ) は YAMAHA ほど洗練されていません。リモコンの操作も慣れるまではちょっといらした。この点は、直感的に動作した YAMAHA のアプリとリモコンが操作性に優れます。

SC-LX88 の音質はこのソフトには良くマッチしていて、非常に細かい部分までハッキリと聞き取れます。伴奏は少し前に出てボーカルとかぶり気味で、ステージ前後方向の広がりが少し不足気味。声は少し細いですが、表情は素直で細やか。とにかく音の細かさや品位の高さに驚きました。

「DSP (Dolby Surround)」

My One and only Love と同じ印象で、響きが豊かになり雰囲気感が濃くなります。すこし気になっていた音の広がりの狭さも改善され、ボーカルに「たかこさん」らしいハスキーさが出てきました。伴奏の低音部もぐっと厚みが増し、雰囲気だけではなくパワー感も大きく改善します。向上だけではなく改善と書いたのは、DSP を使うと音が良くなるだけではなく生演奏を聴いている雰囲気ぐっと近づくからです。YAMAHA RX シリーズは、アナログアンプらしい響きのあるやわらかくクールな音調が魅力です。音の細やかさでは SC-LX88 が RX-A3040 を上回りますが、RX-A3040 の艶のある雰囲気感も捨てがたく感じました。どちらも良い音のアンプです。

「Direct」

バランスの良いオーディオで聞くと、バイオリンの 3 弦 4 弦の音は実にふくよかで柔らかくなりますが、SC-LX88 が鳴らすバイオリンは 3 弦 4 弦の音が少し痩せて感じます。このソフトでは SC-LX88 の音は少しシャープでクールに感じます。また録音がストレートに出てしまい、バイオリンの音が安い楽器のそのように聞こえてしまいます。

「DSP (Dolby Surround)」

この曲では DSP を使っても、さほど雰囲気は変化しません。ぐちゃぐちゃになっていくバイオリンの音が若干ほぐれ、バイオリン、チェロ、コントラバスの分離も向上しますが、普段聞いている AIRBOW の CD+ プリメインアンプの方が、もっと音楽が楽しく豊かに鳴ります。試しにこのソフトよりも録音の良い「ヒラリー・ハーン デビューアルバム (バッハ・ソロ)」を同じように DSP で聞いてみると、最初はステレオに比べて若干エコーが過剰になり、バイオリンの定位感が殺されるように感じました。しかし、しばらく聞いているとそれはほとんど気にならなくなって、ホール音やバイオリンの切り返しの駒のカタカタ音が聞こえ、マイクの前でヒラリー・ハーンが身体を揺らしながらバイオリンを弾いている感じが伝わるようになりました。さらに聞き続けていくと、オーディオで演奏を聴いている違和感が消えて、生演奏を聴いている雰囲気感でこの曲を聴けるようになりました。SC-LX88 の音が良い分、「録音状態」にシビアな性質を持っているようです。

MARANTZ SR7009

「Direct」

一音が出た瞬間に「ほっと」します。クールで少し硬さを感じられた SC-LX88 とは一変して、SR7009 からほくよかで心が癒されるような暖かいサウンドが溢れてきます。思わず一緒に歌を口ずさみたくなる様な楽しい音。峰純子さんのボーカルが胸の奥にじんと滲みて、思わず涙が出そうになりました。

家に帰り自分の時間を取り戻せるひとときにこんな優しい音で音楽を聞けるなら、きっと毎日帰る時間が待ち遠しくなることでしょう。「良い音！良いアンプをありがとうございます！」心からそう思える音で、大好きな峰純子さんの My One and only love が鳴りました。

「DSP (DTS NEO : X Cinema)」

この曲では、DSP の必要を感じません。柔らかく身体を包み込むような音場と、余韻を楽しめる豊かな響きがステレオ再生で十分実現するからです。しかし、テストなので DSP もチェックしました。Dolby では、音が中央によって音場が濃くなりました。DTS NEO : X Cinema (Music ではなく) では、音がふわりと広がってライブ会場で演奏を聴いている雰囲気になりました。特にボーカルがセンタースピーカーに割り振られた影響で、声の滲み消えたのが大きいのでしょ。本日に生演奏を聴いているような音です。iPad Touch で音楽を聞いていることを完全に忘れさせ、嘘偽りなくレコードでこのソフトを聞いている味わいが出ました。

「Direct」

YAMAHA をシンプルにしたイメージでのアプリの画面や動作は、シンプルで使いやすいと思いますが、動作が少し緩慢な印象です。中音は厚みがあり滑らか。高音はシルクのようにきめ細かくスムーズ。低音は僅かに遅れて音楽にゆとりを与えます。SR7009 は SC-LX88 に比べて、解像度や明瞭度が若干劣りますが、ポートレート撮影で適度なソフトフォーカスが色気を醸し出すのと同じように「聞こえそうで聞こえない SR7009 の音」は、想像をかき立てる色気があります。

「DSP (DTS NEO : X Music)」

YAMAHA RX-A3040 の DSP は少し頑張った印象があり、Pioneer SC-LX88 は効きすぎて音が変わってしまいました。SR7009 の DSP が生み出す疑似サラウンドの響きは自然で違和感がありません。DSP を使っても Direct と変わらない音の細かさ、滑らかさが実現します。DSP を使った疑似サラウンドも素晴らしい SR7009 ですが、やはりその真骨頂は「ステレオ (2ch)」にあると思います。その点でサラウンドソースに重点を置いているように感じられた、SC-LX88 や RX-A3040 との明確な思想の違いを感じます。

SR7009 の芳醇なサウンドは、これまでの AV アンプにはなかったものです。

「Direct」

SR7009 には marantz がビュアオーディオ機器に採用する「HDAM」というバッファアンプが搭載されていますが、この回路が生み出す「響き」が塊になってしまった音を手くほぐして、立体的に展開させるのでしよう。SR7009 は、録音に問題があるこのソフトでも楽器の分離感、音の広がり感に違和感が生じません。

今聞いているこの音は、まさしく marantz の高級モデルのサウンドそのもののテストです。バイオリンはバイオリンらしく伸びやかでみずみずしい音で鳴っています。SC-LX88 に比べて本体重量がやや軽い SR7009 では、低音の力感や量感の不足を心配したのですがそれは全く杞憂で、チェロはチェロらしく朗々と鳴り、コントラバスの低音は力感たっぷりです。それぞれの楽器の音の特長が実に良く再現されます。音楽ソフトを聞くのであれば、SR7009 は間違いなく歴代 marantz の AV アンプで最も良い音に仕上がっています。

「DSP (DTS NEO : X Music)」

Dolby Surround は、音が中央に寄りすぎてホール感が上手く出ません。DTS NEO : X Music では前後方向の奥行きと楽器の実在感が向上し、ホールらしい雰囲気が出ます。各楽器の分離感と位置関係も改善し、ステージ上に楽器がきちんと並びます。それぞれの演奏者の身体の動きが感じられるほど濃い雰囲気感が出ました。SR7009 は、DSP を使うことでさらに音楽の楽しみをさらに広げます。

AIRBOW NR1605 Special

「Stereo」

NR1605 Special は、「Direct」だと音がストレート過ぎることがあります。そこで今回の試聴は音の響きが豊かで、艶もでる「Stereo」で行いました。イントロのピアノの響きの美しさにハッとさせられます。スリッパとしたピアノの打鍵感とグラウンドピアノらしい重厚な響きが実にリアルです。

ボーカルは力強く、細かいビブラートや息づかいの変化がしっかりと伝わります。ドラムはリズムをしっかりと刻み、シンバルは高域が綺麗に伸びて金属らしい透明な響きを奏でます。どの音も実に美しく、自然で生々しく再現されます。

「DSP (DTS NEO : X Music)」

DSP を使うと音の広がりがさらに大きくなり、楽器の響きが長く余韻を引くようになりました。ボーカルはセンターに使っている AIRBOW IMAGE11/KA12 の良さが発揮され、口元が引き締まります。ステージ上の緊張が伝わる Stereo の音が、DSP を使うことで歌手がテーブルに来てフレンドリーに歌っているようなイメージに変化しました。

「Stereo」

柔らかなシンセサイザーの響きの中に、ベルの音が驚くほど綺麗に分離して定位します。指打ちの音も人間の肌触りが伝わります。アンプのサイズを疑うほど豊かで力強い低音が出ます。SR7009 と比べて NR1605 Special が優れていると感じるのは、空間の透明感と解像度感。SR7009 はそれぞれの音に marantz らしい艶と響き加わり、真空管アンプのような趣を醸し出しました。フランス料理のようなコッテリした味わいの SR7009 に対し、よりストレートでピュアなサウンドの NR1605 Special は、ライトなイタリアンです。

「DSP (DTS NEO : X Music)」

My One And only Love でも感じましたが、NR1605 Special の Stereo モードは、「コンサート」もしくは「コンクール」を感じさせる少し緊張感を伴う音質です。同じ曲に DSP を使うと「ライブ」を感じさせるフレンドリーでより明るく楽しい音質に変化します。どちらも聴き応えのある音なので、気分に応じて使い分けられ 1 つの曲を 2 種類のアンプで聞き分けるような楽しみが生まれると思います。

「Stereo」

ヒラリー・ハーンのバッハ・コンチェルトを Direct モードで聴くと、音が上手くほぐれません。Stereo モードに変えると音場に奥行きが生まれ、音場が立体的に大きく広がります。響きも増えて、生演奏の雰囲気が出ました。コンサートマスター、バイオリン、チェロ、コントラバスの各パートの分離感も自然になります。小型薄型のアンプで薄くなりがちな弦楽器の基音部、特にコントラバスが大型アンプ並の量感で再現されるのは圧巻です。NR1605 Special が実現する弦楽器の品格は高級ビュアオーディオと等しく、演奏全体のまとまりも良好です。

「DSP (DTS NEO : X Music)」

DSP を使うと楽団の「編成」が大きくなりました。ホールのサイズも増大しますが、コンサートマスターの定位 / 分離感とそれぞれの伴奏を司る楽器の音の分離 / 広がり感、自然なスケールのまま保たれます。DSP 疑似サラウンドを使うことで、コンサートホールのベストの座席で演奏を聴いているような「直接音と間接音の絶妙なバランス」が実現しました。



試聴に使ったプレーヤーとデジタルケーブル



iPod Touch (第4世代)



audioquest USB-DIAMOND



AIRBOW UD7007 Special



audioquest HDMI-Vodka

BD プレーヤー HDMI 接続 音質テスト



iPod Touch との組み合わせで一通りのジャンルを聞いた後、AIRBOW UD7007 Special にそれぞれのディスクをセットし、iPod+USB と UD7007 Special+HDMI の音質を比較しました。ヒラリー・ハーンのバツハコンチェルトは、ハイブリッドディスクなので SACD レイヤーを聴いてみました。

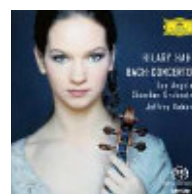
A Child is Born / Junko Mine
"My One and Only Love"

CD

Ballad Collection Mellow
/ DOUBLE "Stranger"

CD

DVD

Hilary Hearn
"Bach Concerto"

SACD

YAMAHA RX-A3040

「ステレオ」

A1040 で比較したときは、iPod より UD7007 Special の音が良く聞こえました。A3040 でも同様にプレーヤーを UD7007 Special に変えると音がさらにきめ細くなり、かなり上質なビュアオーディオ機器でこのソフトを聞くとときと同じような雰囲気が出されました。

ピアノの響きは一段と美しく深く、ボーカルもその魅力を増します。ただ、DSP エフェクト同様に iPod と UD7007 Special の差が大きく感じられないのは、A3040 のデジタル回路が A1040 よりもすぐれているので、「劣悪なデータからでも良い音が出せる」からだと思っています。

また、再生周波数帯域の上限と下限が伸びきらないように感じた A1040 と比べ、A3040 の音はビュアオーディオ機器とほとんど変わらず高域はスッキリと伸び、ピアノも重厚に鳴ります。ボーカルに艶もあり、唇の濡れたイメージが伝わります。

入力機器を変えたことで、A3040 の魅力はさらに増し、価格を超える贅沢なサウンドで My One and Only Love が鳴りました。

「CD : ステレオ」

iPod でも不満がなかったイントロのベルの音に鮮やかな色彩が出ます。空間はさらに透明感を増し、音の密度も高まります。細部は驚くほど解像度が向上し、今まで聞こえなかった細かい音や、ハーモニーの重なりがより複雑に聞き取れるようになりました。

A3040 では入力ソースの違いや DSP のあるなしでそれほど音が変わりません。その点では、接続機器や DSP プログラムでカメレオンのように音が変わった A1040 に比べると、若干「面白み」に欠ける気がしました。

「DVD : ステレオ」

ソフトを DVD に変えると CD では若干曇って感じられた高域が伸びやかになり、スッキリと見通しが良くなりました。けれど A3040 は A1040 に比べ、なぜか音が重く感じられます。肩の上に重しを載せられているように、なんだか重い感じです。

今日の天気は秋晴れで、空気もカラリと乾いているので、湿度のせいではなさそうです。なんだか、ちょっと気分が重い音です。音は細かく、性能は良いのですが・・・、ワクワクする感じがちょっと足りない感じです。

「SACD : ステレオ」

SACD では CD よりも高域がさらに伸びます。ヒラリー・ハーンの奏でるバイオリンは、伴奏と明確に分離し音が抜けてきます。ただ適度に音が整理されて、演奏の構造が感じ取りやすかった A1040 に比べると、A3040 は音の数が多すぎて、スピーカーやリスニングルームがそれを処理し切れていない感じがします。

一つずつの音を分析的に聞いて行くと、奏者一人一人の音が聞こえるのではと感ずるほど細かいところまで聞こえます。けれど主役と脇役の描き分けが浅く、そのためすべての音が一度に聞こえる感じです。もちろんそれは、使っているグラムフォンのソフトの「悪いところ」なのですが、A3040 は A1040 に比べ性能が向上している分「使いこなす」も難しくなっているのは間違いありません。A3040 の音は、YAMAHA が「頑張った感じ」が少し強い印象でした。

また、部屋の響きと上手く一体化して鳴った A1040 に比べると、A3040 はスピーカーの音を直接聞いているイメージです。ただし、A3040 を聞いている 3 号館の試聴環境は一般家庭よりも少し響きが少なく部屋の響きが生かされません。一般家庭のよりライブな環境であれば、A3040 の音質の良さが発揮されるはずです。

PIONEER SC-LX88

「Direct」

SC-LX88 で iPod Touch と AIRBOW UD7007 Special を聞き比べると、かなり上質なビュアオーディオ機器でこのソフトを聞くとときと同じような雰囲気が出されます。ピアノの響きは一段と美しく深くなり、ボーカルには艶が乗ってもその魅力が倍加します。

ディスクプレーヤーを使うことで SC-LX88 は響きと艶を増し、2ch 高級ビュアオーディオ機器に遜色ない品質感の高い音と、洗練された雰囲気を感じさせます。AV アンプを超える品位の高いサウンドで My One and Only Love が鳴りました。

「CD : Direct」

イントロのウインドベルの音が、美しく尾を引いて消えるようになります。ボーカルはまだ少し線が細いですが、艶が出て雰囲気は良くなりました。

「DVD : Direct」

DVD の音は CD よりも色彩感が濃く、雰囲気も深くなります。また、高域がスッキリと伸びると同時に、低域もしっかりします。

このソフトを RX-A3040 で聞いた時は少し雰囲気が重くなったのですが、SC-LX88 では重いのではなく「しっとりしている」ように感じられ、より魅力的です。ただ、それでも CD に比べると DVD の音が少し重くなるのは、このソフトの CD と DVD の音の違いなのだと思います。

SC-LX88+UD7007 Special では、DVD よりも CD の音の方が魅力的に感じられました。AIRBOW の AV アンプと UD7007 Special の組み合わせでは、DVD の方があらゆる部分で良く聞こえるので、この試聴結果は意外でした。

「SACD : Direct」

CD に比べ音質が改善し、音が柔らかくなります。しかし、ディスクそのものの録音の悪さが露呈して楽器の音がぼくれず、ホールで演奏されている広がり感や、楽器の音が綺麗に重なりながら消えて行く感じが出ません。

MARANTZ SR7009

「Direct」

AIRBOW 製品との組合せでは、ソースを iPod Touch から UD7007 Special で演奏する CD ディスクに変えると音質がガラリと変わりますが、SR7009 はあまり変化がありません。UD7007 Special で良くならなかったと言うのではなく、意外に iPod Touch の音が良かったという印象です。UD7007 Special にプレーヤーを変えても、音のバランスや音色や雰囲気は一切変わらないのは立派を通り越して、ちょっとした驚きです。

細かい部分を聞くのでなければ、iPod Touch は大いに健闘していました。けれどじっくりと耳を澄ますと UD7007 Special で聞く My One And only Love は、音質の生々しさリアリティーが格段に向上していることが聞き取れました。

「CD : Direct」

SR7009 の音には艶と色があって、奏でる音楽にはストーリーがあります。音のわかる大人に聞いて欲しい音です。けれど中高域の滑らかさや優しさや引き替えに SC-LX88 や RX-A3040 に比べると低域の制動がやや甘く、低音が少し膨らむ傾向を感じます。組み合わせているスピーカーの Focal 1028BE が少し低音が緩い傾向を持っているのでそのせいかも知れませんが、SR7009 はスピーカーの個性をそのまま出してくる感じです。明瞭度、高域の抜けるようなシャープさが好みならば、この音はちょっと違いますが、この穏やかな音が私は好きです。

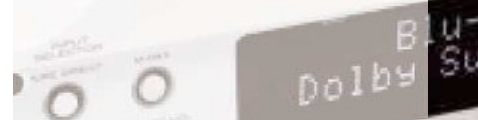
「DVD : Direct」

ストーリー性の強いこの曲には、DVD に収録される美しい PV がよく合います。映像と音楽が見事にマッチして、Double が奏でるストレンジャーの世界に引き込まれて時間を忘れます。marantz SR7009 が持つ大人のムードとこの DVD が実に良くマッチします。納得の！音質でストレンジャーが鳴りました。

「SACD : Direct」

SR7009 で聞く CD と SACD は、劇的に音が変わることがあります。しかしそれはネガティブな評価ではなく「ソースを変えても音のバランスが変わらず自然な音で鳴る」という素晴らしい能力を持っているというポジティブな評価です。

SACD は CD に比べて一段と音が細かく、楽音の分離にも優れています。この難しいソフトを「よくぞここまで見事の再生する！」という印象です。もちろん、同価格帯の CD プレーヤー + プリメインアンプには及びませんが、無理をして背伸びをしていない自然体の良さが SR7009 には感じられます。違和感なく、自然に演奏に溶け込めるよう



AIRBOW NR1605/Special

「Stereo」

NR1605 Special が鳴らす 1028BE は驚くほど細かく、上品で質の高い音で音楽を奏でます。私は「もっとすごいアンプで 1028BE を聞いた」経験から、今出ている音が Focal 1028BE の持つすべての性能が発揮されているのではないことがわかるのですが、いきなりこの音を聞かされたら 1028BE が「鳴りきっている」と感じるかも知れません。

iPod で WAV ファイルを再生したときにも感じたのですが、NR1605 Special はピアノの音が特に優れています。無駄な響きが少なく、グランドピアノらしい金属の硬質な美しさと、分厚い木の響きから生まれる響きの重厚感がピアノを実にそれらしく鳴らします。

SR7009 では iPod と UD7007 Special の音質差は思ったほどに感じられませんでした。NR1605 Special では明らかに iPod とは異なる 1 つ高い次元の音を聞かせてくれました。

「CD : Stereo」

プレーヤーを iPod Touch から UD7007 Special に変えたことで艶が濃くなり、雰囲気も深くなりました。

録音の良いこのディスクを UD7007 Special で再生すると NR1605 Special の音質はさらに向上します。こんなに小さいアンプですが、その解像度（音の細やかさ）と明瞭度は各社から発売されているフラッグシップ AV アンプを凌駕するほど素晴らしいレベルに仕上がっていることを実感できました。

「DVD : Stereo」

シンプルな回路に高音質パーツを組み合わせた結果でしょう。NR1605 Special の音は驚くほど細かく、DVD では聞こえない音の雰囲気まで再現されるほど濃密な雰囲気が実現します。その音の良さもさることながら、NR1605 Special の最大のポイントは何と言っても「AIRBOW らしい自然な雰囲気」です。

鋭く突き抜け、美しく尾を引くベルの音、唇の動きが読めるほど細やかなボーカル、揺るぎのないリズムセクション。AV アンプとは思えないほどの高音質でこのディスクが再現されました。

「SACD : Stereo」

弦楽器の音数と透明感が向上します。前後方向への広がりもさらに大きくなり、Stereo 再生でも身体の後側にまで回り込むような音の広がりや自然な立体感が実現しました。コンサートマスター、バイオリン、チェロ、コントラバスのパートの分離も完全で、それぞれのパートがまったく混じり合うことがなく、写譜できそうなほど綺麗に分離して聞き取れます。リズムの刻みも非常に正確、音がしっかり出すで少し緊張感を伴いますが、このスリリングな感じも悪くありません。



Hilary Hearn
"Bach Concerto"

WAV

i-Cat HTPC に取り込んだ WAV ファイルを DLNA（ネットワーク）経由で聞いてみました。（RX-A3040, SC-LX88, SR-7009）



AIRBOW MSS-i3/MSHD に取り込んだ WAV ファイルを DLNA（ネットワーク）経由で聞いてみました。（NR1605/Special）



YAMAHA RX-A3040

PIONEER SC-LX88

AIRBOW NR1605/Special

iPod と比べるとネットワークの音は響きが少なく、中高域はややさっぱりとした印象です。低音は揺るがず蔵のようにしっかりしています。この低音の安定感は、CD のようなふらつく回転系を持たない PC の利点だと思います（HDD の回転速度は CD と比較にならないほど速く、ジャイロ効果でディスクのふらつきがほとんどありません）。

UD7007 Special と比べると、ネットワークの音は中高域の SN が少し悪化し、空間の見通しが悪くなりますが、その音はほとんど癖がなく、音楽を聞く音と考えれば悪くありません。少なくとも i-Cat HTPC をデータストレージ（データ送り出し機）として用いれば、ネットワークを意識せずに音楽が聞ける高音質が得られると思います。

良い意味でごく普通に、ごく普通の音でヒラリー・ハーンのバッハ・コンチェルトが鳴りました。

DSP を使うことで NR1605 Special のサウンドは豊かさや優しさが増し、高音質と高い芸術性を維持したまま演奏にさらなる奥行きが醸し出されました。

響きがほとんどなく、音が切れ切れに出てくる印象です。低音は悪くないのですが、弦の音がパサついて滑らかさが足りません。響きの少ない SC-LX88 は、PC 系のオーディオとの相性はあまり良くないのかも知れません。

MARANTZ SR7009

さすがに SACD と比べると高域が濁り、解像度も落ちてきますが、決して悪い音ではありません。

YAMAHA RX-A3040 もネットワーク経由の音は結構いけたのですが、SR7009 はそれよりもさらに滑らかで暖かい音質です。それと聞かされなければ、CD を聞いているのとまったく変わらない良い音でヒラリー・ハーン バッハ・コンチェルトが聴けました。

SACD と比べると少し高域が濁り、解像度も僅かに落ちますが、ネットワーク経由の音は SR7009 と比べて NR1605 Special が圧倒的に透明で高音質です。iPod (WAV) と比べてもネットワークの音質は優れています。UD7007 Special で聞く CD の再生とほとんど聞き分けられない音質でバッハ・コンチェルトが再現されました。リラックスして自然体で音楽を聴ける音がネットワークで実現します。



GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊

BD プレーヤー
AIRBOW UD7007 Special

試聴に締めくくりに DVD のサラウンドソフトを使って、MCACC PRO の効果を試しました。試聴には DTS から無償で配布される DEMO ソフトに収録されている「GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊」使い、サブウーファーを使わない 5.0ch サラウンドで聞きくらべました。

PIONEER SC-LX88

「DTS サラウンド：手動設定」

最初は「手動設定（※設定値はこのページ右下に記載）」の音質です。

このソフトは驚くほど細かい音まで作り込まれているので、音質に優れた装置で再生すると「場の空気感」まで再現することができます。SC-LX88 はこのソフトを驚くほど細やかで、実にリアルな音で鳴らしました。冒頭のドアのベルの音、ずっと流れている低音の響き、銃を打つ音、葉が落ちる音、子供の声、あらゆる音がリアルで動きも良好です。DVD がこのクォリティーで再現されるのであれば、映画用のサラウンドアンプとしての能力は非常に高いと考えられます。

無駄な響きが少なく、音が細やかで明瞭度の高い SC-LX88 のサウンドは、サラウンドで生きてきます。

「MCACC PRO：サラウンド」

マイクを本体に繋ぐだけで、後は待っているだけですべての測定が完了するのは非常に便利です。リモコン操作のレスポンスや使い勝手に違和感を持っていただけに、その簡便さには感動しました。

測定音を聞いていると、ホワイトノイズ、バンドノイズ、パルス、高速スイープが使われているようです。比較的早くセットアップは完了し、音を出した瞬間からその効果がハッキリとわかります。手動設定でもスピーカーの位置が完全に消え、スピーカーの外側にまで大きく音を広げる事ができた SC-LX88 ですが、MCACC PRO を使うと空間の密度感が向上し、S/N 感もさらに向上します。スピーカーの存在感が完全に消えて、手にとって触れそうなくらいリアルで細かい音がシームレス（継ぎ目のない）に部屋を満たします。SC-LX86 以前の Pioneer 製 AV アンプから交換すると、その音には大いに感動されると思います。素晴らしい音でサラウンドが聞けました。

「MCACC PRO：CD ステレオ」

MCACC PRO の効果があまりにも素晴らしかったのもしやと思い、今回の試聴で最も相性の悪かった「ヒラリー・ハーンバッハ・コンチェルト」の CD を聞いてみました。

バイオリンの高音が乾き、まだすこしバサついて感じられます。また、MCACC を使わない時に比べ、高音が少しミュートされるように感じます。けれども、この曲で最も致命的だと感じられた「音の広がり」と「響きの少なさ」はいずれも大きく改善しました。テンポの早いパートではまだ音が完全にほぐれませんが、遅いパートではアンプとスピーカーの存在を忘れて楽曲に聴き入ることができました。MCACC PRO の効果は非常に大きく、サラウンドだけでなくステレオ再生でも音質が飛躍的に改善されることを確認できました。

MCACC PRO はソフトの音を若干犠牲にする印象がありますが、スピーカーの設置環境の劣悪さ、部屋の音響を一気に改善する魔法のような効果を持っています。逸品館お薦めの Real Sound 製品ほどではありませんが、MCACC PRO の効果は非常に大きく、スピーカーセッティングなどがまったくできなくても、アンプの能力をほぼ 100% 近く引き出せるので、そのありがたみは非常に大きいと思います。SC-LX88 は購入直後に「MCACC PRO」でスピーカーの自動設定を実施すべきです。

「Dolby：Atmos」

Dolby Atmos の DEMO ソフトを再生して、高音質マイクで録音してみました。その動画ファイルを YouTube 逸品館チャンネルにアップロードしています。

MARANTZ SR7009

「DTS サラウンド：手動設定」

SC-LX88 の音が素晴らしかったので、正直 SR7009 は「それに負けるだろう」と先入観を持っていた。確かに音の細やかさや明瞭度感では、SC-LX88 には及びませんが、SR7009 には SC-LX88 で少ない響きが多くて、中低音も柔らかくボリュームがあります。この芳醇なサウンドが音楽を聞いて感じたのとまったく同じ雰囲気、濃さを DVD サラウンドでも実現します。音で劣っても、雰囲気では勝るのが SR7009 の真骨頂です。

SC-LX88 の音が「アニメ / もしくは CG」なら、SR7009 の音は「実写 / もしくはフィルム」の味わいが感じられます。最新映画ではなく、フィルム時代の撮影された味のある映画を見たいのであれば、SC-LX88 よりも SR7009 の音質が確実にマッチすると思います。

「Audyssey」

SC-LX88 と同様に SR7009 もマイクを本体に繋ぐと測定が始まりますが、途中マイクを 7 回動かさなければならぬので操作がちょっと面倒です。時間も随分かかります。

測定後の音は音量の膨らみが緩和されたことから、EQ が最適化されたことはわかりますが「手動設定」と比較して、MCACC PRO ほど格別に音が良くなった印象はありません。逆にスピーカーそのものが持っていた「味わい」が薄れた用にも感じます。自動設定の効果は、スピーカーから音が出るタイミングまでもを補正する MCACC PRO (FullBand Phase Control) に Audyssey はまったく敵いません。この程度であれば、私は自動調整はいらない感じです。

「Dolby：Atmos」

Dolby Atmos の DEMO ソフトを再生して、高音質マイクで録音してみました。その動画ファイルを YouTube 逸品館チャンネルにアップロードしています。

AIRBOW NR1605/Special

「手動設定」

サラウンドでは、SC-LX88+MCACC PRO の音質がこれまでに最良でした。驚いたことに NR1605 Special の Direct サラウンドの音はそれに迫る細やかさを持つだけではなく、SR7009 の雰囲気、濃さもあわせ持っています。

冒頭の場面では、雨のしずくの音が完全に分離して聞き取り、弾丸が飛びかう場面では音の移動の素早さ、葉の落ちる音の明快さがとても鮮烈です。NR1605 Special が部分的にでも SC-LX88 を凌ぐと感じるのは、それらの音の雰囲気、リアリティです。もちろん冷静に分析すれば、超低域の量感や深さなどで大型重量級の SC-LX88 に敵わない部分があるのは当然なのですが、「聞こえる音」・「感じる雰囲気」のバランスが完璧に近く、映像と音がシンクロしながらずっと体に入るので音質という静特性的な部分が全く気にならず、ストーリーに意識が引き込まれます。

※手動設定の設定値

試聴に使ったスピーカーシステム

- ・フロント：Focal 1028BE
- ・センター：AIRBOW IMAGE11/KAI2
- ・リア：Vienna Acoustics Mozart Grand(T2G)
- ・サブウーファー：なし

スピーカーの距離はすべて [1.9m]

小型スピーカーを使うセンターのみ音量を [+1.5dB] アップでセット





AIRBOW 新製品

CLT-5

発

売

記

念

ツイーター
グレードアップ

下取りキャンペーン

2015年3月末まで

ついに登場！新型波動ツイーター



下記のモデルはさらに査定強化



AIRBOW 通常査定額

強化査定額

CLT-1 20,000 円 30,000 円 10,000 円 UP

CLT-2 30,000 円 → 40,000 円 10,000 円 UP

CLT-3 50,000 円 65,000 円 15,000 円 UP

CLT-3/FV 55,000 円 70,000 円 15,000 円 UP

※上記モデル以外の CLT シリーズも 30%UP
※掲載価格は、上限買取額となります。

通常査定額

強化査定額

PIONEER PT-R100 20,000 円 30,000 円 15,000 円 UP

JBL UT-405 30,000 円 → 40,000 円 10,000 円 UP

FOSTEX ツイーター全品 通常査定額から 30%UP

TANNOY ST シリーズツイーター 最大 20,000 円 UP

※掲載価格は、上限買取額となります。

コチラの商品もただいま下取り強化中

例 1

TAD E-1 / CE-1 / FOCAL ELECTRA1028Be /
Vienna Acoustics LISZT ヘグレードアップ

査定額増額中！

下取り強化商品

Vienna Acoustics ・ T-3G / T-3GB / T-2G / T-2GB
B&W ・ CM9 / 703 / 704 / 805 各種
QUAD ・ 22L / 22L2 / 21L / 21L2
FOCAL ・ CHORUS ARIA 各種
PMC ・ GB1 ・ FB1 ・ OB1 各種

例 2

PIONEER BDP-LX88 ヘグレードアップ

査定額増額中！

下取り強化商品

MARANTZ ・ UD9004 / UD8004
LUXMAN ・ DU-8 / DU-7
PIONEER ・ BDP-LX91
AIRBOW ・ UD8004/SP / UD7006/SP

AIRBOW グレードアップキャンペーン

例えば入門モデルから上位機種へ



LITTLE COSMOS シリーズ



SINGING BOX シリーズ

グレード UP

AIRBOW 上位モデルへの買い替えの場合
下取り査定が大幅 UP!

最大 20,000 円 UP



PM ・ SA14S1/MASTER



PM ・ SA8005/STUDIO



PM ・ CD6005/LIVE

強化商品その他多数あり、まずはご相談下さい！

逸品館だから パーフェクト 出来る！ 下取り交換システム

どこよりも
高額査定
致します！

1 まずは、お電話・メールでご相談ください



お電話
メール



パーフェクト下取り交換システムご利用詳細

◆ お問い合わせ、ご相談

ご購入品のお見積り発行と、下取り品の査定上限額をご案内いたします。
お見積り内容をご確認いただき、**ご購入品の代金を先にお支払い**いただきます。
お支払い完了後、ご購入品と下取り品回収箱をお届けいたします。

※下取り品が箱有りの場合、回収箱はお送りしません

※下取り品のサイズの上限は、1個あたり三辺の合計
170cm・重さ 30kg まで（梱包時）

※サイズ上限を超える大型品はご相談下さい

◆ お客様より下取り品のご送付

専用ケースに、下取りご依頼品を収納していただきます。
郵パックの伝票を同梱しておりますので、お電話にて回収を依頼してください。

※身分証のコピー・お振込先のメモを同送願います

最寄りの郵便局に、集荷のご依頼をお願いします

郵便ホームページもしくは、
集荷専用ダイヤル
0800-0800-111



3 下取り品を引取いたします



送料無料

電話一本でご自宅に参上！
「郵パック」で無料回収

◆ 専門のスタッフが、丁寧に査定致します

下取り品が逸品館に到着次第、買取査定を開始いたします。

※下取り品にキズやヨゴレがある場合また、欠品・故障・不具合がある場合は、減額となる場合がございます。

※CD プレーヤーなど一部の機器は、査定時間が長くなる場合がございます。

4 査定結果をご連絡。買取代金をご入金！

お電話・メール
で査定結果をお知らせします。



◆ 確定した買取査定結果をお伝えします

※万が一金額に納得いただけない場合、
下取り品はすみやかにお返し致します

買取のみの場合も、もちろん高額査定！ぜひご相談下さい！



ヘッドフォン・イヤホン
ポータブルアンプ・買取強化！

ヘッドフォン強化査定リスト		
メーカー	型番	査定上限金額
AKG	K712PRO	25,500
BEYERDYNAMIC	T1	49,000
SENNHEISER	HD650	23,000
SHURE	SRH1540	31,200
SHURE	SRH1840	26,500
SONY	MDR-CD900ST	8,700
SONY	MDR-Z1000	17,250
STAX	SR-009	200,000

イヤホン強化査定リスト		
メーカー	型番	査定上限金額
AUDIO TECHNICA	ATH-IM01	5,000
KLIPSCH	X11	12,000
KLIPSCH	X10	9,200
SHURE	SE846	52,000
SHURE	SE535	20,000
SONY	XBA-Z5	32,000
SONY	MDR-EX1000	18,000
Ultimate Ears	UE900S	23,000

上記は 2014 年 12 月現在の上限買取額です。査定価格は変動する場合がございますのでご了承ください。

査定額・商品のお問い合わせはお気軽にご相談下さい！ お電話▶逸品館 1 号館 06-6644-9101・email▶ippinkan@otoiawase.jp 84

逸品館の知って得するお買い物情報

ご注文方法のご案内

ご注文方法

(TEL・インターネットから)

お電話でのご注文は、在庫の有無や納期についてその場でご確認いただけます。
人気の高い中古品などは1点限りの商品がほとんどですので、電話でのご注文をおすすめいたします。
また、弊社ホームページではご注文申込の専用フォームがございます。
お申し込み後は、見積・納期などについて追ってご連絡いたします。

お支払い方法

振込・振替 ご入金確認後、出荷いたします。(手数料はお客様ご負担となります)

- 三菱東京UFJ銀行 / 難波駅前支店 / 普通預金 / 0088906 / 株式会社 逸品館
- ジャパンネット銀行 / 本店営業部 (001) / 普通預金 / 8788745 / 株式会社 逸品館
- ゆうちょ振替 (電信) 浪速郵便局 / 00970-7-133592 / 株式会社 逸品館

代金引換 在庫があれば即時出荷。お急ぎのお客様におすすめです。

到着時のお支払いは、商品代金 + 送料 + 手数料 (3万円未満 400円 / 3万円以上 600円)
大型商品や30万円を越える場合は、お受けできない場合がございます。

その他 ローンのお支払いもお受けしております。詳しくはお問い合わせ下さいませ。

12回まで金利手数料無料



対象商品



- AIRBOW・AET・中古品なら合わせて5万円以上
- その他の商品なら20万円以上お買い上げの場合10回払い
まで“金利無料”で分割支払いがご利用いただけます。

例えば、こんなときに便利です！

(例1) ワンクラス上の商品が欲しくなった。

- ・15万円の予算でアンプを探していたら、20万円を超える良いアンプが見つかった！
→5万円を頭金にして、足りない分だけ金利ゼロで分割払いがご利用いただけます。

(例2) 一緒に他の製品も欲しくなった。

- ・スピーカーだけを買うつもりだったけれど、アンプも一緒に欲しくなってしまった。
- ・プロジェクターだけを買うつもりだったけれど、スクリーンも一緒に欲しくなった。
- 予算を超える分だけ金利ゼロで分割払いがご利用いただけます。

逸品館グループのサイト活用法

クレジット

クレジット払いに便利
e.ippinkan.com(E 逸品館)

特に...

- AIRBOW・AET・中古品は
逸品館現金特価と同価格！

商品検索

多様な検索機能と充実した商品情報
ippinkan.jp

- 商品情報ページに
テストレポート検索機能が
搭載されました。

オリジナル

当社オリジナルブランド“AIRBOW”
ippinkan.com

- AIRBOW 製品のより詳細な情報、
お客様の声をご覧いただけます。

送料割引・駐車場割引

10万円以上のお買い上げで「送料」または「駐車場料金」一部負担させていただきます。

- 通信販売なら「送料を一部負担」 ●店頭販売なら「駐車場割引」

お買い上げ額	送料割引額	駐車場割引額
10～20万円まで	¥1,000	¥1,000
20～30万円まで	¥2,000	¥2,000
30万円以上	¥3,000	¥2,000

送料割引サービスは、逸品館より出荷される商品に限らせて頂きます。

※一部割引引きできない運送便がございます。
事前にお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。

逸品館からの メッセージ

20代からのあなたへ

もしかすると両親か、知り合いにオーディオマニアがいらっしゃるかも知れませんが、金額の張る「高級オーディオ」は見慣れない製品だと思います。逸品館はそういう高価な製品を主に販売する専門店だから、敷居が高く感じられる事でしょう。けれど臆することはありません。逸品館のポリシーは、音楽と映像を楽しむ製品をより選って販売することです。その中には、手が届く「安い」製品もあります。今一番のお勧めは、「Tannoy Reveal 402」。アンプを内蔵するこのスピーカーは、iPhone®や iPod® タッチなどに装備される「ヘッドホン端子」と接続するケーブルが同梱され、手持ちの携帯電話や携帯プレーヤーと繋ぐだけで、びっくりするくらい元気に音楽を鳴らせます。もちろん、ミニステレオ端子が装着される音響機器なら、TVやCDプレーヤーなどと組み合わせても大丈夫です。

私達が20代の頃、「こんなオーディオで音楽が聞けたらどんなに素晴らしい思い出が残せたらう」そんな思いを込めて、「Tannoy Reveal 402」をお勧めします。その価格は、驚きの「たった26,000円/ペア・税込」！手が届きます。良い音と音楽は、あなた方の未来を変える力を持っています。逸品館は、若い世代にもっと「良い音」、心に響く「感動的な音」で音楽を聞いて欲しいと願っています。

40代からのあなたへ

がむしゃらに駆け抜けた時を過ぎて、そろそろ自分の時間が持てるようになってくる世代。時間の楽しみ方は人それぞれですが、1950年から1980年のアナログ時代に録音された音楽をお聞きになられてはいかがでしょう。

1945年に第二次世界大戦が終了し、生きる喜びが吹き出した当時の音楽には、人生の喜怒哀楽が凝縮されています。そしてその頃、インドア娯楽の花形はオーディオ機器でした。「感動」と「ビジネス」ががちり手を結んで生まれた、この時期のソフトにはオーディオと映画の最良が詰まっています。最近のインスタントに作られる音楽や映画とはまた違う、深みをそこに発見するためには、「逸品館」がおすすめするオーディオ・ビジュアル機器をお使いください。家族と共に、あるいは一人でじっくりと人生を噛みしめるとき、これからの人生を夢見るとき、不朽の名作がかけえのない友になるでしょう。

60代からのあなたへ

そろそろ人生のゴールが見えてくる頃。若いとき憧れた高級オーディオを手に入れることは、人生のフィナーレを飾るに相応しい勲章です。そしてより良い音で愛聴盤を聞けば、昔は気づかなかった感動が見つかるでしょう。素晴らしいことだと思います。

けれど人生の豊かさは、単純な金銭的勝ち負けで決まりません。高価な製品が優れているというのは、より高いものを売りたい資本主義経済が生み出した幻です。安くても、決して侮れない製品があります。冒頭で紹介した Tannoy Reveal 402 もそんな製品の一つです。私が全力を傾けて作る AIRBOW も、それらに負けない感動を呼び起こしてくれるはずですよ。

話は変わります。私は車が好きで、これまでいろいろな車に乗ってきました。けれど記憶に残るのは、なぜか「Mazda 車」です。

そのマツダの最も新しいキャッチコピーが「Be a Driver.」。そのスペシャル Web のトップページには、次のように書かれています。

自分の人生の、主人公になろう。

自分の行く道を、自分の意志で選ぶ人になろう。

自由に、積極的に、人生を美しいものにしよう。

既存のルールや常識に縛られない人になろう。

自分の行く道は、自分で決めたほうが、楽しいに決まっている。

人生の、ドライバーになろう。

(MAZDA WEB TOP ページより引用。)

順風のときも、逆風のときも、Mazda は全力でマツダらしい車作りを続けてきました。彼らの作る車にその「魂」が宿るから、このコピーに胸打たれるのです。



逸品館は、音楽や映画を人生の友と考えるあなたを全力でサポートできる、そんな会社でありたいと考えています。



いい音は、逸品館から。

逸品館の電話は、ご注文の受付だけではなく、新品・中古品の価格や買取・下取り
査定、さらには音質についてのご相談にいたるまで、お客様のどんなお問合せに
も、音の専門スタッフが、納得・迅速・丁寧に対応いたします!何かございましたら、
まずはお気軽にお電話くださいませ♪

1号館

TEL:06-6644-9101

(10:30~19:30/定休日なし)